

令和7年度
事業報告

目 次

I	総括	1
II	法人運営	
第1	法人組織	4
第2	施設概要	6
第3	総務部	8
III	施設の事業概要	
第1	特別養護老人ホーム	13
第2	在宅ケア多機能センター	41
第3	ケアプランセンター	57
第4	心身障害者センター	62
第5	かみよん工房	73
第6	大橋えのき園	80
第7	下目黒福祉工房	87
第8	のぞみ寮	95
第9	みどりハイム	99
第10	西部包括支援センター	107

別紙 事業報告の附属明細書について

I 総括

当法人では、第三次経営計画に基づき、財務基盤の立て直しと感染症対策の両立を図りつつ、サービス提供体制をコロナ禍以前の水準へと回復させる取り組みを継続してまいりました。

令和7年度は、これらの取り組みが着実に軌道に乗り、さらなる利用者満足度の向上を目指す新たなフェーズへと移行した年度となりました。

深刻化する介護人材の確保については、外国人材（特定技能）の計画的な採用に注力しました。その結果、介護経験のある人材19名を採用し、4つの特別養護老人ホームへ配置しました。各施設において丁寧なOJTを実施し、早期戦力化を図るとともに、今後は国の受け入れ方針を注視しつつ、継続的な確保に努めてまいります。

経営面では、収支改善に向けて利用率の向上に取り組んだものの、ニーズの変化や周辺環境の影響を受け、目標達成には至りませんでした。これら物価高騰を含む外部環境の変化に対応し、安定的な運営を堅持するため、関係機関との調整を経て、令和8年4月より特養およびショートステイの食費・居住費を改定することといたしました。上記のほか、「第三次経営計画」で重点的な課題として掲げた4つの事項についての主な取り組みの成果については以下のとおりです。

1 個人の尊厳を大切に、満足していただける安全・安心なサービスの提供

第三次経営計画の目標に基づき、各施設・事業所では「人権尊重の理念に基づいたサービス提供」と「一人ひとりの立場や個性を大切に、自立した生活につながる支援」を継続して行いました。全事業において、定期的な人権研修の実施等を通じ、職員の人権意識の醸成とサービスの実践に努めています。昨年度の主な取り組みは以下のとおりです。

高齢者施設：全職員対象の人権研修を実施するとともに、「虐待の芽チェックリスト」等を活用して課題の把握・改善を行い、虐待防止および身体拘束適正化に向けた課題を把握・改善し、施設全体での人権意識の向上を図りました。

障害者施設：利用者の高齢化・重度化に合わせ、休憩や作業バランスの調整など個々の状況に即した支援を行うとともに、心身障害者センターでは連絡アプリ「BAND」を導入し、ご家族との連携の強化を図りました。

みどりハイム：職員と利用者が共同で「自立支援計画」を作成し、定期的な面談と見直しを通じて計画的な支援を実践しました。また、退所後も必要に応じて相談・訪問などのアフターケアを継続しました。

2 区立施設としての役割を果たすとともに、地域共生社会の実現を目指す取り組み

特別養護老人ホームでは、介護の日の講座やボランティア活動の再開により地域交流をコロナ禍前の水準へ戻すとともに、LINEなどを活用した参集・継走訓練の実施など、具体的な行動計画に基づき、地域に開かれた拠点づくりに取り組みました。

在宅ケア多機能センターでは、リサイクル活動や地域行事への参加、掲示板での情報発信等を行い、開かれた施設づくりに取り組むとともに、災害時の具体的行動計画を確認し、地域共生への取り組みを継続しました。

ケアプランセンターでは、研修受講等により得られた虐待防止に関する知見を共有し、職員の専門性の向上を図るとともに、適切な職員体制の維持と介護保険加算の取得継続により、質の高い支援体制の構築と事業運営の安定化を図りました。

心身障害者センターでは、定期的に「西部地区支援者連携会議」を開催し地域課題に対する連携・協働に向けて取り組むとともに、新たに「失語症会話パートナー等派遣事業」を開始し、失語症当事者に対する多角的な意思疎通支援を推進しました。

かみよん工房では「メグロダンスコネクション」における企業とのコラボ商品開発やイベント販売を行うとともに、区内子ども食堂への定期的な食品提供を通じ、地域貢献とフードロス削減の取り組みを推進しました。

大橋えのき園では、個々の能力や選択に応じた支援により、主体的な参加環境を整備しました。ご家族・関係機関との密な連携で支援方針の統一を図る一方、定期販売や地域行事への出店を通じ、幅広い世代に活動への理解を深めていただく機会を得ることができました。

下目黒福祉工房では、利用者の潜在能力を引き出す挑戦や、障害特性を強みとする新規作業の開拓に注力しました。企業とのコラボ商品開発や、地域のデザイン会社との「制作委託及び著作権利用許諾」契約の締結を通じて障害特性を価値（デザイン）へと転換し、利用者が楽しみながら能力を発揮できる機会を創出しました。

かみよん工房、大橋えのき園、下目黒福祉工房共通の取り組みとして、「めぐろデジタル商品券」取扱店舗の登録とキャッシュレス決済（PayPay）を導入し、顧客の利便性向上を図りました。

のぞみ寮では、関係機関への働きかけを強化することにより、ショートステイの利用率が大幅に伸びました。

みどりハイムでは、職場内研修や他施設見学を通じ、支援の質向上と施設運営の改善を図りました。また、親子行事や「母の会」の定例開催により、親子の実態把握や母親同士の交流を促進し、得られた知見を日常支援に反映させました。さらに退所者へのアフターケアや地域団体と連携した子どもの居場所づくりなど、地域のひとり親家庭への包括的な支援に取り組みしました。

西部包括支援センターでは、計画的なアウトリーチや住民懇談会を軸に、課題を抱えた方の早期発見と生活に寄り添った支援体制の構築に努めました。あわせて、多職種連携や独自広報、専門職のスキルアップを継続的に図り、地域住民が安心して相談できる円滑な包括支援センター運営を実践しました。

3 質の高いサービスを安定的に提供できる人材の確保・定着・育成

深刻化する人材不足への対策として、本年度より特定技能（介護）の在留資格を持つ外国人材の計画的な採用に注力しました。東京都の「かいごパスポート Tokyo」事業への参画や介護専門学校との連携により、令和 7 年度は計 19 名の特定技能外国人の採用実績を得ることができました。採用後は、目黒区の補助金制度を活用して「初任者研修」「実務者研修」の受講費用をサポートするなど、定着に向けた育成環境の整備を図りました。

求職者の多様なニーズへの対応として、SNS での発信や就職フェアへの出展、施設見学会の実施などの活動を継続しました。対面イベントのほか、スカウト送信、オンライン説明会や WEB 面接を併用し、求職者が応募を検討しやすい環境の維持に努めました。また、勤務条件を限定した正規職員（サービス専門職 B）の採用枠を継続して設け、多様な働き方を希望する応募者の選択肢の拡充を図りました。

上記取り組みの結果、令和 8 年 4 月 1 日付の内定者については、特定技能外国人 8 名、新卒・第二新卒 4 名を含む計 21 名となりました。

4 効率的で安定した事業運営と法人の経営基盤の強化

第三次経営計画に基づき収支改善に取り組みましたが、利用者ニーズの変化等により、高齢施設の利用率について以下の課題が生じました。

特別養護老人ホームでは、空床期間の短縮や緊急ショートステイの受け入れに注力したものの、長期入院や退所の増加に加え、従来型特養におけるショートステイ需要の減少により目標利用率には至りませんでした。

在宅ケア多機能センターでは、営業活動を強化し、新たな利用者を得られた一方で、入院や入所にもとまう解約が生じ、大変苦戦しました。今後は定期訪問や情報発信をさらに重ね、新規利用者の確保に努めます。

また、昨今の物価高騰による業務委託費の上昇に対応し、安定的な運営を維持するため、関係機関との調整を経て令和8年4月より特養・ショートステイの食費および居住費を改定することといたしました。

利用者サービスがようやくコロナ禍前の水準に戻りつつある中、引き続き経営計画を踏まえた適宜の見直しを行い、物価高騰等の環境変化に即応した安定的な経営基盤の構築を図ります。

Ⅱ 法人運営

第1 法人組織

1 法人登記

(1) 設 立 平成元年 10 月 2 日

(2) 資産総額 1,535,087,064 円 (令和 7 年 3 月 31 日変更登記現在)

2 理事会・評議員会

(法人 表 1) 理事・評議員の構成 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

区分	定数	現員	欠員
理事	6～10	7	0
監事	2	2	0
評議員	7～11	9	0

(法人 表 2) 役員名簿 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
理事長	鈴木 勝	令和 3 年 10 月 19 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 9 年度の定時 評議員会終結の時	元目黒区副区長
常務 理事	中野 愉界	令和 6 年 4 月 1 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 9 年度の定時 評議員会終結の時	目黒区社会福祉事業団 事務局長
理事	森 葉子	平成 23 年 10 月 4 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 9 年度の定時 評議員会終結の時	弁護士 (目黒区法曹会幹 事)
理事	長崎 隆	令和 3 年 10 月 19 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 9 年度の定時 評議員会終結の時	目黒区社会福祉協議会 事務局長
理事	渡邊 英章	令和 3 年 8 月 31 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 9 年度の定時 評議員会終結の時	医師 (目黒区医師会会長)
理事	坂本 勝則	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 9 年度の定時 評議員会終結の時	目黒区社会福祉事業団 ひがしがおかホーム施設長
理事	勝島 壮介	令和 7 年 6 月 19 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 9 年度の定時 評議員会終結の時	目黒区社会福祉事業団 心身障害者センター施設長
監事	橋本 知明	令和 7 年 6 月 19 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 9 年度の定時 評議員会終結の時	目黒区勤労者サービスセン ター事務局長
監事	石橋 一	平成 29 年 6 月 12 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 9 年度の定時 評議員会終結の時	税理士

(法人 表 3) 評議員名簿 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
石渡 和実	平成 29 年 4 月 1 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 11 年度の定時 評議員会終結の時	東洋英和女学院大学名誉教授
竹内 聡子	令和 7 年 6 月 19 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 11 年度の定時 評議員会終結の時	目黒区社会福祉協議会 総務課長
井手 俊文	平成 29 年 4 月 1 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 11 年度の定時 評議員会終結の時	目黒区町会連合会常任理事
出川 利郎	令和 7 年 6 月 19 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 11 年度の定時 評議員会終結の時	目黒区住区住民会議連絡協議会 委員
東川 邦昭	平成 29 年 4 月 1 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 11 年度の定時 評議員会終結の時	目黒区民生児童委員協議会 南部 第 2 地区民生児童委員協議会会長

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
脇山 博之	平成 29 年 4 月 1 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 11 年度の定時 評議員会終結の時	医師（目黒区医師会副会長）
酒井 秀士	令和 7 年 10 月 14 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 11 年度の定時 評議員会終結の時	歯科医師（目黒区歯科医師会会長）
小林 富佐子	平成 29 年 4 月 1 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 11 年度の定時 評議員会終結の時	東京商工会議所目黒支部 副会長
白鳥 千恵子	平成 29 年 4 月 1 日	令和 7 年 6 月 19 日	令和 11 年度の定時 評議員会終結の時	目黒障害者就労支援センター 副理事長

（法人 表 4）運営協議会委員名簿（令和 8 年 3 月 31 日現在）

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	所属団体等
坂元 達也	令和 3 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	芳窪町会副会長
中井 澄子	令和元年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	東山三丁目自治会副会長
高津 肇	平成 29 年 9 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	中目黒五丁目町会会長
小林 雅子	平成 29 年 9 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	八雲町会副会長
佐熊 とよ子	平成 29 年 9 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	上四町会相談役
辻 弘	令和 3 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	駒場町会副会長
二ノ宮 啓吉	平成 30 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	不動前町会会長
飯沼 敏男	令和 7 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	下二南町会副会長
廣瀬 晶久	令和 7 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	高齢者施設利用者家族
大島 良子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	施設ボランティア
小野瀬 康裕	令和 7 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
上田 あや	令和 7 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
関 賢一	令和 7 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
後藤 幸子	令和 6 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
百瀬 聡	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	北部第 1 地区民生児童委員 協議会会長
久保 ミヨ子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	目黒区竹の子クラブ連合会 女性部長
岸井 泰子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	目黒区障害者団体懇話会会計
深山 キクエ	令和 3 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	目黒女性団体連絡会会員
土方 公久	令和 4 年 7 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 9 年 6 月 30 日	目黒区職員労働組合執行委員長

第2 施設概要

1 施設の概要（令和8年3月31日現在）

（概要 表 1-1）特別養護老人ホーム

施設名称	目黒区立特別養護老人ホーム東が丘	目黒区立特別養護老人ホーム東山	目黒区立特別養護老人ホーム中目黒	さんホーム目黒
所在地	目黒区東が丘 1-6-4	目黒区東山 3-24-6	目黒区中目黒 5-7-35	目黒区目黒 3-20-8
敷地面積	3,854.33 m ²	3,728.85 m ²	1,990.12 m ²	2,921.81 m ²
建物	鉄筋コンクリート造 地上 3 階地下 1 階 (5,771.81 m ²)	鉄筋コンクリート造 地上 4 階地下 1 階 (7,396.20 m ²)	鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 1 階 (2,973.08 m ²)	鉄筋コンクリート造 地上 3 階地下 1 階 (4,454.74 m ²)
床面積	特養部分 4,523.67 m ²	特養部分 6,534.88 m ²	特養部分 2,690.07 m ²	特養部分 3,629.45 m ²
利用定員	特養:100 人 ショート:10 人	特養:130 人 ショート:10 人	特養:55 人 ショート:5 人	特養:96 人 ショート:10 人
受託年月日	平成 7 年 4 月 21 日 (開設平成 7 年 4 月 21 日)	平成 12 年 4 月 1 日 (開設平成 12 年 4 月 1 日)	平成 2 年 4 月 1 日 (開設平成 2 年 5 月 7 日)	— (開設令和 3 年 8 月 1 日)

（概要 表 1-2）在宅ケア多機能センター

施設名称	目黒区立東が丘在宅ケア多機能センター	目黒区立東山在宅ケア多機能センター
	東が丘多機能ホームあすなろ 東が丘デイホームしいの木	東山多機能ホームけやき 東山デイホームいちよう
所在地	特別養護老人ホーム東が丘に併設	特別養護老人ホーム東山に併設
敷地面積		
建物		
床面積	在宅ケア多機能センター部分 641.28 m ²	在宅ケア多機能センター部分 792.40 m ²
利用定員	あすなろ:登録 29 人 しいの木: 12 人	けやき:登録 29 人 いちよう: 12 人
受託年月日	平成 30 年 3 月 1 日 (開設平成 30 年 3 月 1 日)	平成 29 年 3 月 1 日 (開設平成 29 年 3 月 1 日)

（概要 表 1-3）ケアプランセンター（居宅介護支援事業所）

施設名称	東山ケアプランセンター	さんホーム目黒ケアプランセンター
所在地	特別養護老人ホーム東山に併設	さんホーム目黒に併設
敷地面積		
建物		
床面積	ケアプランセンター部分 68.92 m ²	ケアプランセンター部分 9.03 m ²
開設年月日	平成 28 年 4 月 1 日(自主事業化)	令和 2 年 4 月 1 日

（概要 表 1-4）心身障害者センター

施設名称	目黒区心身障害者センターあいアイ館
所在地	目黒区八雲 1-1-8
敷地面積	めぐろ区民キャンパス敷地の一部
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上 6 階地下 1 階・心障センター部分 2,775.66 m ²
利用定員	生活介護：21 人 短期入所：2 人 障害者活動訓練(デイサービスコース)：15 人 障害者活動訓練(機能訓練コース)：8 人
利用定員に定めない事業	特定相談支援(基本相談、計画相談)、訪問食事サービス、 入浴サービス(機械入浴、介助入浴、巡回入浴)
受託年月日	平成 13 年 4 月 1 日（開設平成 13 年 4 月 1 日）

(概要 表 1-5) かみよん工房

施設名称	目黒区立かみよん工房
所在地	目黒区上目黒 4-1-26
敷地面積	423.10 m ²
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上 3 階地下 1 階・796.88 m ²
利用定員	就労継続支援 B 型：40 人
受託年月日	平成 6 年 7 月 1 日（法内施設平成 8 年 8 月 1 日）

(概要 表 1-6) 大橋えのき園

施設名称	目黒区立大橋えのき園
所在地	目黒区大橋 2-19-38
敷地面積	1,141.37 m ²
建物・床面積	鉄筋コンクリート・一部鉄骨鉄筋コンクリート造地上 6 階地下 1 階の内、1 階の一部及び 2 階・大橋えのき園部分 1,040.64 m ²
利用定員	生活介護：57 人 日中一時支援：10 人
受託年月日	平成 9 年 4 月 1 日（開設平成 9 年 5 月 1 日）

(概要 表 1-7) 下目黒福祉工房

施設名称	目黒区立下目黒福祉工房
所在地	目黒区下目黒 3-10-2
敷地面積	645.4 m ²
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上 3 階塔屋付・895.54 m ²
利用定員	就労継続支援 B 型：40 人 日中一時支援：10 人
受託年月日	平成 30 年 4 月 1 日（開設昭和 63 年 5 月）

(概要 表 1-8) のぞみ寮

施設名称	目黒区立のぞみ寮
所在地	目黒区目黒 3-4-4
敷地面積	田道保育園・田道ハイムに併設
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上 3 階地下 1 階の内、3 階の一部・のぞみ寮部分 401.59 m ²
利用定員	共同生活援助：6 人 短期入所：1 人
受託年月日	令和 6 年 4 月 1 日（開設平成 6 年 6 月 1 日）

(概要 表 1-9) みどりハイム

施設名称	目黒区みどりハイム
敷地面積	1,395.24 m ² （隣接の公園含む）
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上 5 階・1,594.61 m ²
利用定員	20 世帯 60 人
受託年月日	平成 2 年 4 月 1 日（移転平成 17 年 4 月 1 日）

(概要 表 1-10) 西部地域包括支援センター

施設名称	目黒区西部包括支援センター
所在地	目黒区柿の木坂 1-28-10
床面積	70.2 m ²
受託年月日	平成 18 年 4 月 1 日

第3 総務部

総務部は、理事会及び評議員会等の開催等法人運営に関する事務のほか、各施設の小口現金管理を除く経理処理を一括して行うとともに、法人全体の財務、人事、給与及び健康管理等の管理業務を行いました。

1 令和7年度の重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 収支計画に基づき、財務運営の自立化を進めていきます	・改定後の第三次経営計画の収支計画に基づき、財務運営の自立化に向けた各取り組みを継続して実施しました。 ・事業収益の確保に向けては、各施設、事業の利用率について、経営会議において、毎月状況確認を行い、各施設の課題の共有、対応策の検討を行うなど、利用率向上による事業収入の増に努めました。 ・令和7年度から、本部補助金のうち障害者施設及び母子支援施設に係る本部補助金負担分について、各施設指定管理料へ転換しました。
(2) 事業収益による本部運営への転換を図っていきます	
(3) 将来の退職手当支払いに必要な資金を確保していきます	
(4) 業務内容に応じた適正な人員配置に努めます	財務基盤の安定化に向けて改定した「第三次経営計画」の内容に基づき移行した新組織体制を継続し効率的、効果的な事業運営に努めました。
(5) 区立特別養護老人ホームの運営において、収入の確保と経費の縮減を計画的に行っていきます	コロナ禍以前の利用率への回復を目指し利用率の向上を図るとともに、昨今の物価高騰に対応すべく施設利用料（食費・居住費等）の改定に向け区と協議を行い、令和8年度からの料金改定に繋げました。
(6) 介護人材の確保に努めます	・令和7年度より、特定技能（介護）の在留資格を持つ外国人材の計画的な採用に着手しました。 - 東京都の「かいごパスポート Tokyo」事業に参画し、交流イベントへの参加や専用サイトへの求人掲載を行いました。 ・取り組みの結果、特定技能外国人19名を正規介護士として採用することができました。 ・介護専門学校との連携を強化し、留学生を介護補助や間接業務のアルバイトとして受け入れ、そのうち1名を正規介護士として登用しました。 ・SNS活用や就職フェアへの出展を継続し、若年層への周知に努めました。対面での交流とWEB説明会・面接を併用し、求職者のニーズに合わせた柔軟な採用活動を継続しました。 ・さんホーム目黒では、東京都や目黒区の「介護職員宿舎借上げ支援事業」を活用し、職員が賃貸住宅に住む際の支援を行いました。 ・東京都の居住支援特別手当事業補助金を活用し、一定時間以上福祉事業に直接従事する職員に対し「居住支援特別手当」を支給しました。

事業計画	具体的な取り組みと結果
(7) 職員の定着・育成に努めます	・新卒や未経験者でも安心して仕事に従事できるよう、初任者・実務者研修の受講を支援しました。新規採用職員には、配属後、個々の能力に応じたOJTを行いました。 ・職層研修は、職員の職層や経験のほか年齢等に応じたプログラムを選定し、受講者のモチベーションアップや能力の向上を目指しました。オンライン又は対面形式の併用により実施し、能力向上等の他、他団体・他企業との交流の機会を創出しました。
(8) ストレスコントロール、腰痛防止など職員の心身の健康管理に努めます	・労働安全衛生法に基づきストレスチェックを実施しました。職員にストレスへの気づきを促し、チェックの結果と本人の希望を踏まえて、産業医との面談の機会を設けるなど、職員のメンタルヘルス不調の未然防止に努めました。 ・定期健診や腰痛健診を実施し、疾病の早期発見、症状の悪化防止に努めました。
(9) ホームページの活用等、情報を可能な限り提供し、タイムリーな情報の発信を行います	各施設で実施した行事の様子や施設発行の新聞、月間献立表や各種予定表など、都度情報を掲載し発信しました。
(10) 新型コロナの取り扱いが変更されることに伴う影響を検討し、適切な対応を行います	利用者の皆様が安心して利用出来るよう、新型コロナを含む感染症予防対策を適切に実施しました。
(11) 法人の経営状況・財務状況を正確に把握し、透明性の高い財務管理を行います	計算書類の作成を正確かつ迅速に行い、各事業別の経営状況等を的確に把握し、適正な財務管理を行いました。また、経営会議における収支報告を継続し、適切に予算・実績の管理を行い、財務規律の確保に努めました。

2 運営管理

(1) 理事会・評議員会等

理事会・評議員会及び運営協議会を次のとおり開催しました。

(総務 表 1-1) 理事会の開催状況

回	開催年月日	議案等
1	令和7年6月4日	議案第1号 令和6年度事業報告 議案第2号 令和6年度決算報告 議案第3号～12号 理事・監事候補者の決定 議案第13号～21号 評議員選任候補者の決定 議案第22号～24号 評議員選任解任委員会委員の選任 議案第25号 役員等賠償責任保険契約について 議案第26号 評議員会の招集
2	令和7年6月19日	議案第27号 理事長の選定 議案第28号 常務理事の選定 議案第29号 評議員選任解任委員会委員の選任

回	開催年月日	議案等
3	令和7年10月8日	議案第30号 令和7年度補正予算（第1号） 議案第31号 評議員選任候補者の決定 議案第32号 目黒区立特別養護老人ホーム東が丘運営規程の一部改正 議案第33号 目黒区立特別養護老人ホーム東山運営規程の一部改正 議案第34号 目黒区立特別養護老人ホーム中目黒運営規程の一部改正 議案第35号 さんホーム目黒運営規程の一部改正 議案第36号 評議員会の招集 報告事項1 理事長及び常務理事の職務執行状況報告 報告事項2 令和7年度施設別利用実績中間報告
4	令和8年3月9日	議案第37号 令和7年度補正予算（第2号） 議案第38号 令和8年度事業計画 議案第39号 令和8年度予算 議案第40号 定款の変更 議案第41号 目黒区心身障害者センターあいアイ館一般相談支援事業運営規程の制定 議案第42号 組織運営規程の一部改正 議案第43号 文書規程の一部改正 議案第44号 業務管理体制整備規程の一部改正 議案第45号 経理規程の一部改正 議案第46号 内部監査規程の一部改正 議案第47号 職員就業規則の一部改正 議案第48号 事案決定手続規程の一部改正 議案第49号 さんホーム目黒運営規程の一部改正 議案第50号 目黒区心身障害者センターあいアイ館運営規程の一部改正 議案第51号 目黒区心身障害者センターあいアイ館指定生活介護事業運営規程の一部改正 議案第52号 目黒区立大橋えのき園運営規程の一部改正 議案第53号 目黒区立のぞみ寮指定共同生活援助（介護サービス包括型事業所）運営規程の一部改正 議案第54号 理事候補者の決定 議案第55号 評議員会の招集 報告事項1 区立特別養護老人ホーム等の食費及び居住費の改定について 報告事項2 理事長及び常務理事の職務執行状況等報告 報告事業3 令和7年度施設別利用実績中間報告
5	決議の省略（決議があったものとみなされた日 令和8年3月26日）	議案第56号 総務部長の任命 議案第57号 東山ケアプランセンター所長の任命 議案第58号 評議員選任・解任委員会委員の選任

（総務 表 1-2）評議員会の開催状況

回	開催年月日	議案等
1	令和7年6月19日 （定時評議員会）	議案第1号 令和6年度事業報告 議案第2号 令和6年度決算報告 議案第3号～第12号 理事・監事の選任

回	開催年月日	議案等
2	令和7年10月17日	議案第13号 令和7年度補正予算（第1号） 報告事項1 令和7年度施設別利用実績中間報告
3	令和8年3月26日	議案第14号 令和7年度補正予算（第2号） 議案第15号 令和8年度事業計画 議案第16号 令和8年度予算 議案第17号 定款の変更 議案第18号 理事の選任 報告事項1 令和7年度施設別利用実績中間報告

（総務 表 1-3）運営協議会の開催状況

回	開催年月日	内容
1	令和7年7月31日	令和6年度の事業報告及び令和7年度事業計画、意見交換
2	令和8年2月6日	令和7年度の事業実施状況と令和8年度の予定、意見交換

（2）監事監査

（総務 表 2）監事監査の状況

開催年月日	内容
令和7年5月19日	・令和6年度事業に関する事項及び理事の職務執行の状況
令和7年5月23日	・令和6年度決算に関する事項（会計監査人の会計監査報告）

（3）会議

事業運営の一体性を確保し施設間相互の調整等円滑な事業執行を図るため、経営会議を基本的に月1回定例で開催しました。

（4）経理

本部に集中化した会計処理については、取り扱いの共通化や本部と施設の連携の取り組みを継続し、効率的に処理を行いました。

また、高齢者施設における利用料金の収納に伴う請求書、領収書の作成、発送等を行いました。

3 職員育成・管理

（1）研修（職層研修）

職員が自らの役割と法人からの期待を正しく理解し、各職層にふさわしいスキルと役割認識を醸成することを目的に、下表の職層研修を実施しました。

実施にあたっては、内容や状況に応じて外部講師の活用や公開講座への派遣を行い、受講形式についてもオンラインと対面を併用して柔軟に対応しました。

（総務 表 3）研修実施状況

研修名	内容	対象
新人職員研修	経営理念並びに事業団職員の役割及び組織人としての在り方	新規採用者 前年度中途採用者
入社2年目研修	目標管理・被考課者研修 ビジネスマナー研修	採用2年目及び2年目研修 未受講者
総合職転換研修	仕事の進め方研修	総合職転換者
中堅職員研修	中堅職員の能力向上研修 主体性の発揮 キャリアデザイン研修（30代40代50代向け）	サービス専門職4年目 総合職一般4年目 サービス専門職7年目

研修名	内容	対象
	中堅職員向けオーナーシップ研修 問題解決研修	総合職一般 7 年目 サービス専門職 9 年目
指導職研修	OJT 指導者研修 組織のタイムマネジメント研修 コーチング研修 現場マネージャー研修	指導職 2 級昇格者 指導職 2 級 5 年目 指導職 1 級昇格者 指導職 1 級 3 年目
管理職研修	管理職向け課題整理研修	管理職 2 級 3 年目

(2) 職員の福利厚生（健康診断）

（総務 表 4）健康診断実施状況

種別	対象者	実施時期
定期健康診断	全職員	6 月
婦人科健診	女性職員	8 月～11 月
夜勤者健康診断	夜勤に従事している職員	12 月
腰痛健診	介護士・生活支援員	6 月、12 月
ストレスチェック	週 30 時間以上勤務の全職員	9 月

(3) 職員の採用・退職状況（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

（総務 表 5）採用・退職状況（人数）

職種 区分別		介護士	看護師 保健師	生活 支援員	PT OT ST	包括	幹部	その他	計
採用	正規	35	1	13	0	0	1	6	56
	契約	3	1	0	0	1	0	2	7
退職	正規	23	4	6	0	1	0	5	39
	契約	1	3	1	1	0	1	1	8

4 介護・福祉人材育成事業

区内介護事業所の職員を対象に、「介護職員のためのスキルアップ研修」をオンライン(Zoom)による開催に加え実技を対面型にて開催し、予定どおり全 11 回実施することができました。

研修の主な内容としては、腰痛予防や認知症利用者への接し方等、介護職員として必要となる知識について学ぶものをテーマに実施しました。

また、区内介護事業所の職員を対象に、介護技術に関する内容や職場での悩みなどの相談を受け付けました。

（総務 表 6）「介護職員のためのスキルアップ研修」参加状況（人数）

	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開催方法	オ	実	オ	オ	実	オ	オ	実	オ	オ	オ	
参加人数	28	16	24	11	30	14	29	16	19	11	10	208

注 1) 開催方法 オ…オンライン研修 実…対面型による実技研修

Ⅲ 施設の事業概要

第1 特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム（以下、「特養」という。）は、介護保険法に基づく指定介護老人福祉施設として施設サービスを提供するとともに、指定短期入所生活介護事業を行いました。

新型コロナウイルス感染症の制限が緩和され、行事や地域交流が再開されましたが、施設では、手指消毒、マスク着用など基本的な感染予防策は継続して事業運営に取り組みました。

1 令和7年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1)利用者の人権を守るため、チームによる介護・相談・支援を徹底します	・利用者の人権を守るため、リーダー層を含め全職員対象に人権研修を実施しました。 ・「人権・サービス評価表」及び「虐待の芽チェックリスト」を活用し、人権委員会等（高齢者虐待防止、身体的拘束適正化含む）において、人権・高齢者虐待防止・身体的拘束適正化に向け課題の把握と改善を図り、施設内でも情報を共有し、人権意識の向上を図りました。
(2)地域交流スペースを有効活用し、地域に開かれた施設づくりに取り組みます	・11月11日（介護の日）には、区民を対象に「特養ホームでの暮らし」についての講座及び施設見学会の実施、地域のボランティアの方の協力によるクラブ活動の再開など、コロナ禍以前に近い状態で地域交流活動を行うことが出来ました。
(3)大規模災害時に計画に基づいて行動できるように継続して取り組みます	・「大規模災害対策計画」及び「新型コロナウイルス感染症等対応業務継続計画」を基に具体的な行動計画を作成し、訓練を実施しています。 ・災害時の参集、職員継走訓練ではLINEやe-mailを活用した訓練を実施しています。
(4)利用率の向上などにより事業収益を確保していきます	・利用率向上のため、利用者の入院等による空床ベッドをショートステイで活用するなど取り組みましたが、長期入院者が多かったことに合わせ、退所者が多かったこともあり、現状では、特養中目黒のみ目標を達成しています。 ・ショートステイは、個室や新しい施設の希望も多く、東が丘と東山については、申込数が減少し利用率が低下しました。
(5)質の高いサービスを安定的に提供できる人材の定着と育成に勤めます	・限定的な勤務や雇用形態等の正規職員の他、外国人の介護士を積極的に採用しました。 ・職員のスキルアップに欠かせない研修や腰痛予防への取り組みを実施しています。 ・衛生委員会では、職員と産業医との個別面談を定期的又は必要時に実施しています。 ・採用した外国人の介護士に対しては、個別に研修を行った他、資格取得のための支援体制づくりにも取り組んでいます。

(特養 表 1) 利用率 (%)

施設別 年度別	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
令和7年度	93.4 (93.6)	95.8	94.3 (94.5)	96.5	94.9 (98.1)	100.0	94.1 (94.4)	99.1
令和6年度	94.0 (94.5)	96.2	91.7 (92.5)	96.3	91.0 (93.3)	98.4	94.5 (94.8)	98.6
令和5年度	94.1 (94.9)	98.4	93.4 (93.8)	97.8	90.2 (91.6)	99.8	85.7 (85.7)	97.0

注 1) () は短期入所の空床利用を含む利用率

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

(1) 東が丘

改善事項	具体的な取り組みと結果
安心してその人らしい生活が送れるよう、希望を確認しながら支援します	・事前に本人・家族から意向の確認を介護支援専門員が行い意向に基づいたサービス計画書を作成し、サービス担当者会議で確認を行いました。サービス担当者会議には、家族の参加を依頼し、利用者本人も参加可能であれば同席してもらいました。
定期的なボランティアの方を受け入れて、地域の方と触れ合える機会を拡充します	・めぐろボランティア・区民活動センターと連携して、お話しボランティア、裁縫ボランティア、清掃ボランティア等個別の生活ボランティアの受け入れを再開しました。地域の行事、祭礼に希望のあった利用者が参加し、施設内で行った地域はつらつセミナー、町内会・消防と連携した防災訓練に、利用者の方が参加されました。

(2) 東山

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者のホームでの様子を個々の家族に知らせる方法を工夫します	・面会にお越しになれないご家族には、居室担当からの一筆箋を加えてお知らせ等と一緒に郵送し、近況を伝えるようにしました。
パンフレットやホームページで情報を発信しているところ、今後はホームページにて迅速に情報を提供します	・ひがしやま通信を毎月発行し、ご家族や利用者に配布しましたが、ホームページにも掲載し、広くお知らせできるようにしました。

(3) 中目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者が「大切にされている」と感じて生活できるようにします	・計画的に施設内研修（人権・接遇マナー、身体拘束防止、虐待防止）を実施し、職員の接遇の向上に努めました。 ・毎月「人権・サービス評価表」を活用し、適切なサービスを提供できているか確認し、課題についてはサービス向上委員会を中心にフロア会議で検討、改善の取り組みを行いました。年末に行われた第三者評価での利用者アンケートでは 95%の方が職員の対応についてとても良いとお答えいただいています。

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者が楽しく生活できるような取り組みを行っています	・やりたいこと、楽しめることをケアプランに反映させ、実践に取り組んでいます。またモニタリングを実施し、継続的に実施できるように努めました。 ・行事等のボランティアを積極的に受け入れました。定期的な保育園交流、コーラスクラブ、演奏会、朗読クラブ等に加え、新たな保育園との交流や音楽レク、アロマハンドマッサージ等のボランティアを受け入れ、楽しみの場を増やすことができました。

(4) さんホーム目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
ユニットケアの特性を活かし、小さな単位での個別ケアに取り組めます	・日常的な聞き取りや一日の生活の流れを示す「24 時間シート」の活用を進め、個々の意向や嗜好、生活リズムを把握し、その方に合った活動を提案し、実施しました。 ・ユニットごとの活動や、行事を実施しました。
家族等及び地域とのつながりが深まるよう取り組みます	・ホームページに日々の様子や行事の様子を定期的に更新し、ホームを知っていただく発信をしました。 ・地域交流セミナーを開催する際は、町会の掲示板などに掲示していただき参加を募り、地域の方に参加していただきました。 ・さんホーム目黒で開催した秋祭りでは、地域のボランティアのご協力をいただき、にぎやかに開催することができました。

3 特養のサービス

介護保険法に基づく指定介護老人福祉施設として、令和 7 年度事業計画に沿って施設サービスを提供しました。

(特養 表 2) 入退所状況及び利用状況

[東が丘] 定員：100人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	3	0	2	2	2	2	1	3	2	3	4	26
退所者数	2	2	0	2	3	1	3	3	1	5	2	4	28
理由	死亡	2	1	0	1	2	0	2	3	1	3	2	21
	長期入院	0	1	0	1	1	1	0	0	2	0	0	7
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者数	98	99	99	99	98	99	98	96	98	95	96	95	
延利用可能床数	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	2,800	3,100	36,500
特養利用床数	2,737	2,915	2,875	2,886	2,942	2,825	2,901	2,903	2,829	2,884	2,499	2,910	34,106
利用率(%)	91.2	94.0	95.8	93.1	94.9	94.2	93.6	96.8	91.3	93.0	89.3	93.9	93.4
空床利用数	0	0	0	0	0	6	0	3	27	6	0	3	45
延利用床数	2,737	2,915	2,875	2,886	2,942	2,831	2,901	2,906	2,856	2,890	2,499	2,913	34,151
空床利用を含む利用率(%)	91.2	94.0	95.8	93.1	94.9	94.4	93.6	96.9	92.1	93.2	89.3	94.0	93.6

[東山] 定員：130人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	6	4	4	5	2	2	6	1	6	1	1	1	39
退所者数	5	3	6	2	2	7	0	4	3	1	1	1	35

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
理由	死亡	5	2	5	2	1	5	0	2	3	1	0	0	26
	長期入院	0	1	1	0	1	2	0	2	0	0	1	1	9
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者数		127	128	126	129	129	125	130	127	130	130	130	130	
延利用可能床数		3,900	4,030	3,900	4,030	4,030	3,900	4,030	3,900	4,030	4,030	3,640	4,030	47,450
特養利用床数		3,731	3,787	3,612	3,749	3,809	3,586	3,746	3,604	3,829	3,865	3,522	3,887	44,727
利用率(%)		95.7	94.0	92.6	93.0	94.5	91.9	93.0	92.4	95.0	95.9	96.8	96.5	94.3
空床利用数		0	0	0	0	0	6	0	20	35	5	0	33	99
延利用床数		3,731	3,787	3,612	3,749	3,809	3,592	3,746	3,624	3,864	3,870	3,522	3,920	44,826
空床利用を含む利用率(%)		95.7	94.0	92.6	93.0	94.5	92.1	93.0	92.9	95.9	96.0	96.8	97.3	94.5

[中目黒] 定員：55人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数		1	2	2	1	2	2	1	1	2	1	1	3	19
退所者数		1	2	2	2	1	2	1	3	1	2	2	2	21
理由	死亡	1	2	2	1	1	1	1	3	1	2	2	2	19
	長期入院	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者数		54	53	54	53	54	54	54	52	53	52	51	52	
延利用可能床数		1,650	1,705	1,650	1,705	1,705	1,650	1,705	1,650	1,705	1,705	1,540	1,705	20,075
特養利用床数		1,615	1,599	1,602	1,602	1,600	1,573	1,674	1,586	1,590	1,588	1,436	1,584	19,049
利用率(%)		97.9	93.8	97.1	94.0	93.8	95.3	98.2	96.1	93.3	93.1	93.2	92.9	94.9
空床利用数		43	80	30	52	49	60	29	36	75	54	56	78	642
延利用床数		1,658	1,679	1,632	1,654	1,649	1,633	1,703	1,622	1,665	1,642	1,492	1,662	19,691
空床利用を含む利用率(%)		100.5	98.5	98.9	97.0	96.7	99.0	99.9	98.3	97.7	96.3	96.9	97.5	98.1

[さんホーム目黒] 定員：96人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数		0	2	1	2	2	0	2	1	3	1	2	0	16
退所者数		2	3	2	0	1	0	2	3	1	2	3	2	21
理由	死亡	2	3	1	0	0	0	1	3	1	0	2	2	15
	長期入院	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	5
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者数		94	93	93	94	95	95	95	93	95	94	93	91	
延利用可能床数		2,880	2,976	2,880	2,976	2,976	2,880	2,976	2,880	2,976	2,976	2,688	2,976	35,040
特養利用床数		2,753	2,763	2,645	2,838	2,899	2,770	2,824	2,676	2,774	2,787	2,533	2,700	32,962
利用率(%)		95.6	92.8	91.8	95.4	97.4	96.2	94.9	92.9	93.2	93.6	94.2	90.7	94.1
空床利用数		0	13	11	12	0	5	8	0	0	3	12	51	115
延利用床数		2,753	2,776	2,656	2,850	2,899	2,775	2,832	2,676	2,774	2,790	2,545	2,751	33,077
空床利用を含む利用率(%)		95.6	93.3	92.2	95.8	97.4	96.4	95.2	92.9	93.2	93.8	94.7	92.4	94.4

注 1) 延利用可能床数：定員×各月の日数

注 2) 特養利用床数：各月の特養利用者延べ数

注 3) 利用率(%)：特養利用床数÷延利用可能床数×100

注 4) 空床利用数：特養利用者の入院等による空きベッドを短期入所として活用した数

注 5) 延利用床数：特養利用床数＋空床利用数

注 6) 空床利用を含む利用率(%)：延利用床数÷延利用可能床数×100

(特養 表 3) 平均入所期間

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
令和7年度	3年 8月	3年 1月	1年 1月	2年 5月
令和6年度	3年 5月	3年 1月	0年 8月	2年 0月
令和5年度	3年 2月	3年 2月	0年10月	1年 5月

(1) 入所前の事前説明

入所後安心した生活ができるように、入所に際して、施設が提供できるサービス内容及びサービス提供体制等説明を行いました。

(2) 施設サービス計画の立案

介護支援専門員とサービス提供職員が連携し、利用者個々の心身の状態に応じた自立支援と生活の質の向上の観点から、本人の要望、課題、目標、サービス内容と達成時期を設定した施設サービス計画原案を作成し、各専門職が参加するサービス担当者会議において施設サービス計画を決定しました。

施設サービス計画について利用者と家族等に説明し、同意を受けサービスを提供し、サービス提供後にはモニタリング(評価)を実施しました。退院時や利用者の状況に変化があった場合は、随時、計画を見直しました。

(3) 介護

介護にあたっては人権に配慮し、施設サービス計画に沿って、入浴・排泄・食事・移動等の必要なサービスを提供しました。自立支援の観点から、利用者で行える行為は利用者自身が行うように支援し、残存能力の維持回復に努めました。

① 入浴の介護

プライバシーや同性介助に十分配慮し、利用者の状態に応じて、個々の施設サービス計画に基づき週2回以上の入浴サービスを提供しました。

② 排泄の介護

プライバシーや同性介助に十分配慮し、利用者の状態に応じて、個々の施設サービス計画に基づき排泄ケアを実施しました。

③ 食事の介護

利用者の嚥下能力に応じて、安全に自立して食事ができるように、個々の施設サービス計画に基づき食事の援助を実施しました。

管理栄養士が定期的に開催する食事懇談会や、個別に聞き取った利用者の嗜好に関する情報を献立に反映させ、季節感があり楽しめる変化に富んだ食事づくりを心がけました。

行事食に加え、イベント食や選択食の日を設けるなど、利用者の食生活の充実を図りました。

(特養 表 4) 利用者の要介護状態区分 (令和8年3月31日現在)

施設別 介護区分	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
要介護1	0	0.0	6	4.6	0	0.0	5	5.3
要介護2	2	2.1	3	2.3	0	0.0	4	4.2
要介護3	10	10.5	21	16.2	4	4.2	17	17.9
要介護4	44	46.3	45	34.6	27	55.4	42	47.3
要介護5	39	41.1	55	42.3	21	40.4	23	25.3
合計	95	100.0	130	100.0	52	100.0	91	100.0

(特養 表 5) 利用者の平均介護度の推移 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
令和7年度	4.3	4.1	4.3	3.7
令和6年度	4.3	4.0	4.4	3.7
令和5年度	4.3	4.1	4.3	3.7

(特養 表 6) 利用者の年齢構成 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

施設別 年齢層別	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	男	女	男	女	男	女	男	女
60～64歳	0	0	1	0	0	0	0	0
65～69歳	0	0	2	0	0	0	1	0
70～74歳	0	0	2	1	0	0	1	3
75～79歳	2	6	4	4	3	2	3	1
80～84歳	5	5	5	18	1	4	3	11
85～89歳	5	12	7	28	3	12	5	14
90～94歳	6	30	3	29	3	16	3	21
95～99歳	0	11	4	14	0	8	1	22
100歳～	0	13	0	8	0	0	0	2
合 計	18	77	28	102	10	42	17	74
最低年齢	76	75	61	73	76	76	69	71
最高年齢	94	106	97	104	94	99	96	102
平均年齢	86.0	92.0	83.0	90.0	85.8	90.2	84.0	90.0
	91.0		88.0		89.4		89.0	

注 1) 平均年齢は小数点第 2 位四捨五入

(特養 表 7) 入退所者数の推移 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

施設別 年度別	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入 所	退所
令和7年度	26	29 (22)	39	35 (27)	19	21 (19)	16	21 (18)
令和6年度	30	28 (19)	41	43 (32)	19	16 (12)	20	16 (13)
令和5年度	26	28 (20)	40	41 (33)	28	22 (18)	43	21 (15)

注 1) () 内は死亡退所者数で内数

(特養 表 8) 利用者の日常生活動作等の状況 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

施設別 区分・状況		東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
食 事 介 助	自立	38	40.0	72	55.4	21	40.3	21	23.1
	一部介助	19	20.0	25	19.2	24	46.2	47	51.6
	全介助 (経管栄養含む)	38	40.0	33	25.4	7	13.5	23	25.3

施設別 区分・状況		東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
口腔ケア	自立	6	6.3	27	20.8	11	21.2	10	11.0
	一部介助	52	54.8	50	38.4	29	55.7	47	51.6
	全介助	37	38.9	53	40.8	12	23.1	34	37.4
入浴介助	自立	2	2.1	1	0.8	0	0.0	0	0.0
	一部介助	35	36.8	51	39.2	32	61.5	39	42.9
	全介助	58	61.1	78	60.0	20	38.5	52	57.1
入浴方法	一般浴	3	3.2	9	6.9	0	0.0	6	6.6
	機械浴	49	51.6	61	46.9	19	36.5	17	18.7
	リフト浴	43	45.2	60	46.2	33	63.5	68	74.7
体位交換	自立	29	30.5	57	43.8	25	48.1	39	42.9
	一部介助	29	30.5	13	10.0	13	25.0	18	19.8
	全介助	37	39.0	60	46.2	14	26.9	34	37.3
移乗介助	自立	5	5.3	23	17.7	2	3.8	5	5.5
	一部介助	42	44.2	54	41.5	31	59.6	49	53.8
	全介助	48	50.5	53	40.8	19	36.6	37	40.7
	内 リフト使用者	(37)	(38.9)	(43)	(33.1)	(15)	(28.9)	(3)	(3.3)
着脱介助	自立	1	1.1	12	9.2	1	1.9	2	3.6
	一部介助	41	43.2	55	42.3	35	67.3	56	61.5
	全介助	53	55.7	63	48.5	16	30.8	33	34.9
排泄介助	自立	2	2.1	18	13.8	1	1.9	4	4.4
	一部介助	26	27.4	21	16.2	33	63.5	45	49.5
	全介助	67	70.5	91	70.0	18	34.6	42	46.1
	内 オムツ使用者	(93)	(97.9)	(95)	(73.0)	(35)	(67.3)	(86)	(94.5)
認知症日常生活自立度	自立	1	1.1	1	0.8	0	0.0	1	1.1
	I (ほぼ自立)	6	6.3	7	5.4	3	5.8	7	7.7
	II (見守りが必要)	17	17.9	26	20.0	9	17.3	22	24.2
	III (介護が必要)	48	50.4	62	47.7	21	40.4	35	38.4
	IV (常時介護)	22	23.2	31	23.8	17	32.7	25	27.5
	M (専門医療が必要)	1	1.1	3	2.3	2	3.8	1	1.1

(特養 表 9) 利用者の年間外泊件数の推移

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
令和7年度	1	3	0	14
令和6年度	0	2	1	17
令和5年度	0	0	0	0

(特養 表 10) 利用者の年間面会者数の推移

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
令和7年度	6,049	7,138	3,599	5,885
令和6年度	5,994	5,887	3,102	4,968
令和5年度	4,270	3,408	2,409	2,767

(4) 栄養ケアマネジメント

栄養ケア計画に基づき、低栄養状態の利用者に対しては高栄養食等の付加食の提供、摂食・嚥下困難な利用者に対してはソフト食やゼリー食等で対応することにより栄養状態の改善に努めました。

また、疾病による食事の指示が医師より出された利用者へは療養食の提供を行いました。

(特養 表 11) 利用者の食事形態と療養食の状況 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

施設別 区分・種類		東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
主食	米飯	29	30.5	46	35.4	16	31.4	27	29.7
	全粥	30	31.6	45	34.6	16	31.4	34	37.3
	全粥ミキサー	20	21.1	19	14.6	12	23.5	21	23.1
	パン	4	4.2	4	3.1	3	5.9	2	2.2
	パン粥・ミキサー	4	4.2	5	3.8	2	3.9	4	4.4
副食	常食	11	11.6	28	21.5	12	23.5	18	19.8
	刻み	19	20.0	42	32.3	9	17.6	24	26.4
	極刻み	33	34.7	27	20.8	16	31.5	19	20.8
	ミキサー食	24	25.3	22	16.9	12	23.5	27	29.7
経管栄養		8	8.4	11	8.5	2	3.9	3	3.3
療養食		6		2		1		2	

注 1) 副食のミキサー食にはソフト食、ペースト食が含まれる

注 2) 療養食：糖尿病、腎臓病等を考慮した食事（介護報酬の療養食加算対象）

注 3) 食事を食べていない方：看取り対象者及び栄養補助食品摂取者

(5) 健康管理

嘱託医師（内科・精神科）及び看護師が専門性を活かし、利用者の状態に応じた健康管理を行いました。

- ① 全ての特養において夜間看護師1名を配置し医療的ケアの必要な利用者が安心して生活できるよう対応しました。
- ② 定期健康診断を実施し疾病の早期発見に努めました。
- ③ 感染症予防及び発生時の適切な対策を実施するために「感染症・食中毒の予防蔓延防止に関する指針」に基づき、定期的に感染症対策のための会議を開催しました。また、利用者・職員等に感染症が発生した場合、マニュアル等に基づき対応を行いました。
- ④ インフルエンザの感染予防及び発病時の軽症化を図るために、利用者と職員を対象に予防接種を実施しました。
- ⑤ 新型コロナに対する予防対策や感染症対策を「新型コロナウイルス感染症等対応事業継続計画」に基づき実施を徹底しました。

新型コロナのワクチン接種を希望する利用者、接種を実施しました。

- ⑥ 協力病院と連携して、利用者の緊急対応や入院・通院の便宜を図りました。

(特養 表 12) 利用者の受診科目状況 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

施設・ 区分 科目	東が丘				東山				中目黒				さんホーム目黒			
	通 院		往 診		通 院		往 診		通 院		往 診		通 院		往 診	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
歯 科	0	0	108	660	1	2	41	335	1	10	22	197	2	5	65	1,199
内 科	44	76	0	0	36	46	0	0	20	54	0	0	30	71	0	0
神 経 科	2	9	0	0	5	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外 科	1	1	0	0	11	17	0	0	2	4	0	0	20	43	0	0
整 形 外 科 (形 成 含)	8	14	0	0	45	47	0	0	6	22	0	0	17	33	0	0
眼 科	12	18	0	0	5	10	0	0	3	7	0	0	6	22	0	0
皮 膚 科	13	19	73	230	4	7	21	54	1	3	14	52	7	13	42	82
耳 鼻 科	3	3	0	0	5	9	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
泌尿器科	8	26	0	0	15	82	0	0	10	44	0	0	8	44	0	0
婦 人 科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精 神 科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0
救命救急	17	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	9	18	0	0	27	75	0	0	3	3	0	0	1	1	0	0
合 計		204		890		306		389		148		249		241		1,281

注 1) 「実」は実人員、「延」は延人数

(特養 表 13) 利用者の入院状況推移

施設別 年度別	東が丘			東山			中目黒			さんホーム目黒		
	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数
令和7年度	53	78	1,574	74	114	2,043	17	18	305	56	75	1,332
令和6年度	53	74	1,119	78	130	2,532	41	29	1,018	37	57	1,006
令和5年度	43	61	1,285	62	89	1,938	34	50	1,003	51	66	1,077

(特養 表 14) 利用者のうち医療的ケアの必要者数 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

施設別 種別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
経管栄養	8	11	3	3
常時吸引	9	5	2	2
バルーンカテーテル留置	6	9	3	2
人工肛門	0	4	1	1
ペースメーカー	3	4	2	1
褥そう処置者	1	1	3	1
インスリン	1	4	1	1
難病	2	9	1	3
在宅酸素	0	2	1	0
その他	0	0	0	0

(特養 表15) 感染症の発生状況 (延人数)

種類別	施設別		東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
新型コロナ	0	0	11	1	0	0	19	2		
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0		
ノロウイルス	0	0	7	0	0	0	0	0		
疥癬	0	0	0	0	0	0	0	0		
結核	0	0	0	0	0	0	0	0		

(特養 表 16) 職員の新型コロナ感染症発生状況 (延人数)

施設名	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
件数	1	4	3	14

(6) 口腔ケア・マネジメント

歯科医や歯科衛生士と連携して、利用者の口腔機能や嚥下機能に応じた口腔ケア計画を作成し、個別の口腔ケアを実施しました。歯科衛生士による口腔ケア指導を特養東が丘、特養東山及びさんホーム目黒では月2回実施、特養中目黒は月1回実施しました。

(7) 看取りケア

「看取りケア指針」に基づいて、利用者・家族等の意向に沿った看取りケア計画を作成し、「その人らしい尊厳のある看取り」を実施しました。

(特養 表 17) 看取りケア実施実績 (施設でご逝去された件数)

施設別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
令和7年度	5	17	18	9
令和6年度	4	16	7	7
令和5年度	10	16	14	15

(8) 機能訓練

利用者の意向と生活状況を踏まえて個別機能訓練計画を作成し、機能訓練指導員と多職種が共同・連携し生活場面で以下の機能訓練(生活リハビリ)を行いました。

- ① 心身機能と生活能力の維持に努めました。
- ② 利用者の持つ生活能力を活かした自立支援を行いました。
- ③ 行事への参加や利用者に合わせてコミュニケーション等、精神面及び生活の活性化を図りました。
- ④ 安心して過ごせるように居室のベッド周辺や車いす等の生活環境の調整をしました。

(特養 表 18) 機能訓練の実施人数および割合 (%) (令和 8 年 3 月 31 日現在)

施設・実施者区分 機能訓練の目的・主な実施内容		東が丘 (在籍95人)		東山 (在籍130人)	
		多	機	多	機
関節拘縮の進行を予防し、安楽に着替えや排泄の介助を受けられる	・ 関節可動域訓練	90 (94.7)	88 (92.6)	93 (71.5)	80 (61.5)
離床して、生活リズムを維持する 居室から出て周囲の人と交流する	・ 座位訓練	92 (96.8)	88 (92.6)	112 (86.2)	74 (56.9)
安全に食事が出来るように座位姿勢を整える	・ 嚥下訓練	62 (65.3)	56 (58.9)	110 (84.6)	94 (72.3)
食事や移乗、トイレ等、生活場面で出来る事を自分で行う	・ ADL訓練 ・ 移乗訓練 ・ 筋力訓練 ・ 立位訓練 ・ バランス訓練	78 (82.1)	75 (78.9)	98 (75.4)	87 (66.9)
歩行する機会をもつ	・ 歩行訓練 ・ 筋力訓練 ・ バランス訓練	15 (15.8)	37 (38.9)	23 (17.7)	57 (43.8)
自発的に交流を広げる	・ グループ訓練	94 (98.9)	33 (34.7)	107 (82.3)	0 (0.0)
その他	・ 発声発語訓練 など	78 (82.1)	62 (65.3)	116 (89.2)	98 (75.4)

施設・実施者区分 機能訓練の目的・主な実施内容		中目黒 (在籍52人)		さんホーム目黒 (在籍91人)	
		多	機	多	機
関節拘縮の進行を予防し、安楽に着替えや排泄の介助を受けられる	・ 関節可動域訓練	22 (42.3)	35 (67.3)	91 (100.0)	90 (98.9)
離床して、生活リズムを維持する 居室から出て周囲の人と交流する	・ 座位訓練	52 (100.0)	34 (65.4)	90 (98.9)	86 (94.5)
安全に食事が出来るように座位姿勢を整える	・ 嚥下訓練	48 (92.3)	48 (92.3)	45 (49.5)	42 (46.2)
食事や移乗、トイレ等、生活場面で出来る事を自分で行う	・ ADL訓練 ・ 移乗訓練 ・ 筋力訓練 ・ 立位訓練 ・ バランス訓練	46 (88.5)	45 (86.5)	80 (87.9)	58 (63.7)

施設・実施者区分 機能訓練の目的・主な実施内容		中目黒 (在籍52人)		さんホーム目黒 (在籍91人)	
		多	機	多	機
歩行する機会をもつ	・歩行訓練 ・筋力訓練 ・バランス訓練	11 (21.2)	16 (30.8)	28 (30.8)	37 (40.7)
自発的に交流を広げる	・グループ訓練	25 (48.1)	48 (92.3)	69 (75.8)	0 (0.0)
その他	・発声発語訓練 など	51 (98.1)	51 (98.1)	71 (78.0)	71 (78.0)

注1) 多：介護士、看護師、管理栄養士、機能訓練指導員等多職種協働で実施

注2) 機：機能訓練指導員で実施

(9) 身体拘束

利用者の人権を尊重するとともに、生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束は行わないサービスの提供に取り組みました。

(特養 表 19) 身体拘束件数

施設別 年度別	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
令和7年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度	0	0	1	0	0	0	0	0
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0	0

(10) レクリエーション等

感染症予防対策を実施したうえで、行事等でのイベントボランティア、クラブ活動ボランティアを積極的に受け入れ、利用者を楽しんでいただきました。

(特養 表 20) 主な実施行事

月	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒	行事食
4	・創立記念日 (祝い膳、おやつ)	・お花見	・お花見	・お花見	・お花見御膳
5	・端午の節句 (菖蒲湯)	・端午の節句 (香り湯) ・風船バレーボール大会	・端午の節句 (菖蒲湯) ・創立記念日	・端午の節句 (菖蒲湯) ・母の日	・端午の節句膳
6	・お買い物サロン	・映画鑑賞会 ・お好み焼きを食べる会	・おやつ作り	・父の日	
7	・七夕飾り ・お盆供養 (迎え火・送り火) ・保育園等交流会	・七夕 ・お盆供養 (迎え火・送り火)	・七夕交流会 ・お盆供養 (迎え火・送り火)	・七夕 ・お盆供養 (迎え火・送り火)	・七夕メニュー ・土用の丑の日
8	・リラクゼーションバスタイム	・映画鑑賞会 ・昭和週間		・開所記念日	・夏祭りメニュー
9	・敬老会 (各フロア開催) ・秋祭り ・花火大会	・敬老会 ・花火を楽しむ会	・敬老会 ・花火を楽しむ会	・敬老会 ・花火 ・月見の会	・敬老祝い膳

月	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒	行事食
10	・運動会 (各フロア開催) ・お買い物サロン	・映画観賞会 ・風船バレーボール大会 ・手作りプリンを食べる会 ・秋祭り ・貝塚まつり参加	・秋祭り	・秋祭り (お神輿)	
11	・アウトリーチコンサート	・焼き芋会 ・アウトリーチコンサート	・お寿司の日 ・おやつ作り	・お寿司の日 ・映画会 ・運動会	
12	・望年会 ・柚子湯 ・デザートバイキング ・大晦日	・望年会 ・柚子湯 ・映画鑑賞会 ・クリスマスケーキ ・大晦日	・望年会 ・柚子湯 ・大晦日	・望年会 ・柚子湯 ・クリスマス ・大晦日	・望年会メニュー ・年越しそば
1	・お正月 ・七草 ・初詣(浄真寺) ・新年会	・お正月 ・七草	・お正月 ・初詣(ホーム内) ・七草 ・鏡開き	・お正月 ・書初め会 ・初詣(ホーム内) ・七草 ・鏡開き	・おせち料理 ・七草粥 ・お汁粉
2	・節分(豆まき)	・節分(豆まき) ・お好み焼きを食べる会	・節分(豆まき)	・節分(豆まき)	・福内膳
3	・桃の節句 (雛人形飾り) ・リラクゼーションバスタイム ・お花見ドライブ	・桃の節句 (雛人形飾り) ・お花見ドライブ	・桃の節句 (雛人形飾り) ・お花見	・桃の節句 (雛人形飾り) ・映画会	・桃の節句膳

(特養 表 21) ホーム喫茶等の行事

東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
・利用者集会(毎月) ・選択食(毎月) ・イベント食(毎月) 「季節の行事食」 ・新茶を楽しむ会 ・ミルクを味わう会	・利用者集会(毎月) ・選択食(毎月) ・イベント食(毎月) 「季節の行事食」 ・手作りプリンを食べる会 ・焼き芋を食べる会 ・お汁粉を食べる会 ・お好み焼きを食べる会 ・桃の節句 ・桃を食べよう会 ・スイカを食べよう会 ・ケーキバイキング	・利用者集会(毎月) ・選択食(毎月) ・イベント食(毎月) 「花想い寿司」 ・おやつ作り (フルーツポンチ・きんつば) ・ホーム喫茶(毎月) ・保育園交流会	・誕生会(ユニット毎) ・選択食(毎月) ・イベント食(毎月) 「花想い寿司」 ・コーヒーを楽しむ会 (随時) ・おやつ作り (かき氷・きんつば・おにぎりを食べる会等)

(特養 表 22) クラブ活動の実施状況

東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数
コーラス	20～30	コーラス	10～20	コーラス	23	フルーツと歌う	34
パック手芸	7	音楽		朗読	15		

注 1) 参加者数は 1 回の活動の参加者

(11) 生活相談

生活相談員が中心になり、利用者やその家族に介護に関する相談をはじめ日常生活全般に関する相談に応じ、適切な助言・援助を行いました。

(12) 利用者・家族等の声を反映

利用者及び家族の生活に対する意向を聴き、施設サービス計画書に反映させました。

- ① 利用者集会、食事懇談会等を開催し、利用者の意見・要望を直接聴きました。
- ② 利用者及び家族等に満足度調査を実施しました。
- ③ 家族懇談会を年度中に2回以上実施しました。

(13) その他生活支援

希望される利用者に対してサービスの提供や手続の代行を行いました。

・理美容サービス ・行政手続きなどの代行 ・日用品などの購入

(14) 預貯金などの保管及び管理

利用者本人又は家族等において利用者の預貯金等の保管を行うことが困難な場合、申し出により必要な範囲で預かり、出納管理を行いました。

(特養 表 23) 利用者預り金等の管理状況 (令和8年3月31日現在)

施設名	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒	合計
人数 (人)	2	0	0	0	2
総額 (千円)	3,227	0	0	0	3,227

4 短期入所生活介護事業 (ショートステイ)

短期入所生活介護(ショートステイ)の介護サービスは一部を除き、特養と同様に提供しました。
緊急ショートステイについては、できる限り断らず積極的に受け入れるようにしました。

また、特養の利用者の入院等で生じた空床を利用した受入れも実施しました。

新型コロナ発生時においても事業を休止せず、ご利用者やご家族の意向を踏まえ、感染症対策を講じ受入れを継続しました。

(特養 表 24) 短期入所の要介護度別利用状況 (空床利用分を含む) (令和8年3月31日現在)

施設別 年度別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	延人数	割合 (%)	延人数	割合 (%)	延人数	割合 (%)	延人数	割合 (%)
非該当	28	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
要支援1	0	0.0	7	0.2	0	0.0	0	0.0
要支援2	11	0.3	11	0.3	72	2.9	43	1.2
要介護1	360	10.7	379	10.8	256	10.4	531	14.3
要介護2	500	14.9	818	23.3	443	18.0	1,223	32.8
要介護3	1281	38.2	769	21.8	701	28.4	431	11.5
要介護4	519	15.5	748	21.3	503	20.4	708	19.0
要介護5	656	19.6	782	22.3	492	19.9	788	21.2
合 計	3,355	100.0	3,514	100.0	2,467	100.0	3,724	100.0
平均介護度	3.15		3.20		3.14		2.97	

注1) 平均介護度計算：要支援1、2は0.375として算出

（特養 表 25）短期入所の利用状況

〔東が丘〕定員：9人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	43	44	39	46	46	48	46	49	49	45	42	49	
送迎件数	69	80	65	83	78	80	83	82	79	69	64	79	911
延利用可能床数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3,285
延利用床数	263	241	257	237	269	270	254	270	279	279	232	279	3,130
利用率(%)	97.4	86.4	95.2	84.9	96.4	100.0	91.0	100.0	100.0	100.0	92.1	100.0	95.3

〔東山〕定員：9人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	42	38	33	40	40	41	40	44	43	46	42	42	
送迎件数	74	79	57	70	68	86	87	83	83	91	79	82	939
延利用可能床数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3,285
延利用床数	267	252	208	272	277	270	275	270	279	279	241	279	3,169
利用率(%)	98.9	90.3	77.0	97.5	99.3	100.0	98.6	100.0	100.0	100.0	95.6	100.0	96.5

〔中目黒〕定員：5人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	26	28	30	27	30	28	27	28	31	29	29	29	
送迎件数	48	54	57	55	53	53	54	52	53	51	45	55	630
延利用可能床数	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1,825
延利用床数	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1,825
利用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

〔さんホーム目黒〕定員：10人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	59	65	62	61	58	61	57	57	53	55	53	69	
送迎件数	97	110	104	102	97	103	98	96	89	92	82	114	1,184
延利用可能床数	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310	3,650
延利用床数	300	310	300	310	308	300	309	295	285	310	280	310	3,617
利用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	99.4	100.0	99.7	98.3	91.9	100.0	100.0	100.0	99.1

〔東が丘 緊急ショートステイ〕定員：1人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	2	4	1	3	1	3	4	3	1	1	3	4	30
送迎件数	0	7	1	5	0	5	5	3	1	1	5	4	37
延利用可能床数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用床数	16	17	18	22	7	13	22	14	6	16	7	22	180
利用率(%)	53.3	54.8	60.0	71.0	22.6	43.3	71.0	46.7	19.4	51.6	25.0	71.0	49.3

〔東山 緊急ショートステイ〕定員：1人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	4	4	4	5	7	4	7	6	6	5	4	6	62
送迎件数	2	3	3	2	10	4	6	7	6	5	5	6	59
延利用可能床数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用床数	18	16	13	22	24	17	29	23	21	25	20	18	246
利用率(%)	60.0	51.6	43.3	71.0	77.4	56.7	93.5	76.7	67.7	80.6	71.4	58.1	67.4

注 1) 延利用可能床数：定員×各月の日数

注 2) 延利用床数：各月の利用者延べ数（空床利用は除く）

注 3) 利用率（％）：延利用床数÷延利用可能床数×100

(特養 表 26) 空床利用の状況 (延利用床数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東が丘	0	0	0	0	0	6	0	3	27	6	0	3	45
東山	0	0	0	0	0	6	0	20	35	5	0	33	99
中目黒	43	80	30	52	49	60	29	36	75	54	56	78	642
さんホーム目黒	0	13	11	12	0	5	0	0	0	3	12	51	107

5 緊急一時保護

目黒区からの緊急の保護の要請により、その家庭で介護を受けることが困難な在宅の高齢者を積極的に受け入れました。

(特養 表 27) 緊急一時保護受入件数

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒	合 計
令和7年度	9	13	8	0	30
令和6年度	10	13	7	1	31
令和5年度	5	8	8	1	22

6 地域との連携

地域に開かれた施設となるよう近隣の保育園、小中学校等や地元町会と連携するとともに、地域行事に参加しました。また、施設行事にご家族も参加していただきました。

(1) ボランティア

① ボランティアの受け入れ状況

感染予防対策を講じて、めぐろボランティア・区民活動センターと連携し、ボランティアを積極的に受け入れました。

(特養 表 28) ボランティアの受け入れ状況

施設別 種別	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
生活支援	6	41	1	20	9	119	3	116
クラブ活動支援	0	0	10	140	12	228	1	34
技術支援	4	37	6	132	3	72	4	36
定例行事支援	1	1	1	1	2	2	1	47
行事支援	0	0	0	0	1	7	6	6
有償ボランティア (スケッター)	3	3	1	1	8	10	1	1
合計	14	82	19	294	35	438	16	240

注 1) 生活支援：散歩、話し相手、清掃、洗濯たたみ等

注 2) 技術支援：理美容等

注 3) 定例行事支援：夏祭り等

② ボランティア懇談会

今年度の懇談会は、新型コロナの影響により中止としました。

(2) 地域貢献活動

地域包括ケアシステムの一翼を担い、地域との連携を深めると共に、特別養護老人ホームの特徴を生かして地域に必要とされ、地域に貢献できる施設運営に努めました。

① 地域交流サロン(いきいきサロン)・会食サービス事業の実施

週1回、地域交流スペースを地域に開放し、希望するひとり暮らし等高齢者に食事を提供する地域交流サロン(いきいきサロン)、会食サービス事業を目黒区からの委託事業として各施設で実施しました。

(特養 表 29) いきいきサロン延べ参加者数

施設名	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
開催曜日	金曜日	木曜日	火曜日	水曜日
令和7年度	365	868	775	576
令和6年度	157	746	788	502

(特養 表 30) 会食サービス延べ参加者数(登録人数)

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
前期	245 (14)	168 (9)	326 (16)	343 (16)
後期	244 (16)	244 (14)	330 (17)	263 (13)

② 地域はつらつセミナー

地域交流スペース活用の一環として、各施設が持つ資源を地域に還元するために、介護・福祉・医療に関する講座や交流を目的としたアクティビティなどのセミナーを開催しました。

(特養 表 31) 地域はつらつセミナー延べ参加者数

施設名	東が丘	東 山	中目黒	さんホーム目黒
開催日 講座名 参加人数	10月31日 特殊詐欺について 13人	5月1日 福祉用具の紹介 (転倒予防・水周りの危険) 13人	11月18日 おなか元気教室 18人	8月6日 夏を元気に乗り 切ろう 18人
	12月12日 身近な防災について 8人	6月5日 防災講話 「突然来る!救急・地震 ・火災などへの備え」 16人	3月31日 ちょこっと脳トレ 教室 17人	11月11日 施設見学会 6人
		9月4日 健康増進イベント 「血管年齢・骨ウェーブ の測定」 13人		1月28日 成年後見制度の 基礎知識 15人
		11月6日 特養東山見学会 18人		
		11月27日 訪問看護について 23人		
		12月4日 防犯講話 19人		

③ 「ふれあいの居場所」(なかめぐろホーム)

再開に向けボランティアグループと検討を行いました、再開に至りませんでした。

④ 目黒区の「めぐろシニアいきいきポイント事業」

同事業のサポーターに、各施設において活動の場を提供しました。

(特養 表 32) めぐろシニアいきいきポイント事業サポーターの受入れ状況

施設名	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
受入れ人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
	0	0	2	19	1	15	1	34

⑤ 実習生、研修生、中学生の体験学習等の受入れ

各施設において、実習生、研修生及び中学生の体験学習等を感染症対策を講じたうえで可能な限り受入れました。

(特養 表 33) 実習生等の受入れ状況

〔東が丘〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会（各大学）	教員免許介護等体験	5	25
東京医療保健大学	老年介護学	11	44
合計		16	69

〔東山〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
ウェルテック専門学校	介護福祉士	5	120
東京医療保健大学	老年看護学	19	38
東京都社会福祉協議会（各大学）	教員免許介護等体験	5	25
日本福祉教育専門学校	介護福祉士	1	15
合計		30	198

〔中目黒〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会	教員免許介護等体験	5	25
東京医療保健大学	老年看護学	14	112
上智大学	社会福祉士	1	23
合計		20	160

〔さんホーム目黒〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京医療保健大学	看護学実習	16	98
合計		16	98

⑥ 家族介護教室

在宅で高齢者を介護する家族や援助者及び介護技術や知識の習得を希望される地域の方などに対し感染症防止対策を講じたうえで開催しました。

(特養 表 34) 家族介護教室の実施状況

開催場所	開催日	内容	定員	実参加人数	延参加人数
東が丘	10/25 (土)	午前：車椅子介助のポイント	10	6	15
		午後：楽しく安全な食事介助	10	9	
	12/14 (日)	午前：認知症と対応方法	10	10	19
		午後：在宅で安心・安全に暮らしていくためのワンポイント	10	9	
東山	11/9 (日)	午前：移動・移乗介助	10	7	18
		午後：排泄・更衣介助	10	11	
	1/24 (土)	午前：楽しく安全な食事介助	10	12	25
		午後：入浴・保清介助のポイント	10	13	
中目黒	2/15 (日)	午前：「着替え・オムツ交換のポイント」実技	10	17	30
		午後：「体位変換・ベッドからの移乗介助」実技	10	13	
さんホーム 目黒	11/29 (土)	午前：介助に活かせる福祉用具の活用と介助のコツ	10	7	14
		午後：高齢者の食事と介助のコツ	10	7	

⑦ 施設見学会

例年 11 月 11 日の介護の日にちなみ施設を見学できるよう、目黒区民を対象にした「高齢施設見学会」を計画しています。従来型とユニット型の比較ができるよう、なかめぐろホームとさんホーム目黒の見学会を実施しました。ひがしやまホームでは、地域はつらつセミナーとして実施しました。

(特養 表 35) 施設見学会参加人数

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
令和7年度	—	18	6	6
令和6年度	—	—	13	13
令和5年度	—	—	22	6

⑧ 講師派遣

施設に配置している福祉・医療の専門職員を、地域で開催される講座等に講師として派遣しました。

(特養 表 36) 講師派遣実績表

講座名等	実施日	テーマ	主催	派遣職員
スキルアップ研修	12/19	食べる楽しみ 安全な食事への支援	目黒区	管理栄養士

⑨ 地域交流スペース貸出支援事業

地域住民を対象とした「手ぬぐい体操クラブ（毎週）」の実施グループや目黒区主催のスキルアップ研修、みどりハイムの「ママのためのヨガ教室」の会場等に貸し出しをしました。

⑩ 車いす貸出事業

施設資源を地域に提供するため、1回1週間を原則として車椅子を無料で貸出しています。

（特養 表 37）車いす貸出回数

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
令和7年度	3	0	4	0
令和6年度	15	1	2	1
令和5年度	5	3	4	2

7 運営管理

（1）会議

利用者サービスと合理的な施設運営を円滑に行うため、各職種間、職員相互間で必要に応じて各種会議を開催しました。施設間の会議はWEBも活用し開催しました。

（特養 表 38-1）施設合同会議

会議名	内容	開催回数
施設長連絡会議	特養3施設の運営について共通課題の検討、情報の交換をしました。	年4回
特養担当者的会議	特養4施設共通の課題の検討、外国人介護士の採用や研修等について検討しました。	年6回

（特養 表 38-2）施設共通会議

会議名	内容	開催回数
サービス担当者的会議	利用者のニーズに基づいて施設サービス計画の立案と決定、評価をしました。	月2～6回
課長会議	事業計画の方針、実施結果の評価など施設運営全般に関する事項を協議、決定しました。	月1～2回
施設運営会議	施設運営全般に関する事項の具体的な審議、事業計画・方針に基づく具体的な内容の検討をしました。	月1回
特養会議	新規入所者調整、各職種間の連携調整及びサービス提供における懸案事項の検討・計画・実施・評価をしました。	月1回
防災会議	防災訓練の計画立案・実施・評価をしました。 施設内の防災点検を実施しました。	月1回
感染症対策会議	感染症の予防対策と発生時の対応を検討しました。定期的、臨時に会議を開催し、感染症拡大を未然に防ぐ為の対策を検討し実施しました。	3月に1回
介護サービス課・係長会議 （ユニットリーダー会議）	課の課題の把握と改善策の検討並びにサービス提供状況の確認・検討及び職員や業務の管理をしました。	月1回
介護サービス課職員会議 （ユニット会議）	サービス提供の進捗管理、課題の検討、連携・チームワーク強化、業務見直し及び評価、連絡調整などを実施しました。	月1回

（２）委員会

施設サービスの向上と業務の見直しをするために各種の専門委員会を設置し、問題解決に向けて各委員会の担当職員が主体的に検討・企画・実施しました。

（特養 表 39）特別養護老人ホームの委員会活動（共通）※開催回数は、施設毎で設定

委員会名	内容
サービス向上委員会	利用者サービスの向上を図るため、サービス内容の見直しや点検、企画と環境整備等の検討・実施・評価をしました。
行事委員会	利用者の声を聞き取りニーズに合った年間計画を作成し、企画・実施・評価をしました。
研修委員会	年間計画に基づき、施設内研修を実施、参加者に対して研修アンケートを実施、次年度の研修計画に反映しました。各フロアでの課題からチーム研修を計画し実施、今年度の実施状況から実施方法など評価しました。
実習生・新人育成委員会	新人職員の育成を効果的に実施するために、委員が個別の育成計画を作成しOJTを実施しました。新たに外国籍人材のための育成計画を検討作成しOJTを実施しました。実習生は年間受入計画を作成し計画に基づいて受入れました。受入れマニュアルを見直しました。
事故防止委員会	発生した事故やヒヤリハットを分析し、介護事故防止のための対策を検討し、防止策を周知・実施し再発防止に努めました。
人権委員会	身体拘束、高齢者虐待、個人情報など人権に関して検討しました。
苦情解決委員会	申し出のあった苦情・要望について調査し、改善案を検討・実施しました。
褥瘡予防委員会	褥瘡予防策の検討並びに褥瘡治療中の利用者の把握と改善策を検討しました。
広報委員会	利用者、家族、地域の方に向けた広報誌を発行しました。
省エネ委員会	施設における省エネ対策を検討し実施しました。
衛生委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討実施しました。産業医の健康相談を実施しました。
医療ケア委員会	介護職員が喀痰吸引等を安全に行うための施設内の実施体制の整備、喀痰吸引業務の実施計画や実施状況の管理を行いました。
腰痛予防対策委員会	厚労省「職場における腰痛予防対策指針」（改訂版）に基づき、介護現場における腰痛リスクを低減するために、介護方法の見直し、福祉機器の活用方法、職員への腰痛予防の啓発を行いました。
身体的拘束適正化委員会	身体拘束等の適正化のための対策や、身体的拘束につながる不適切な対応がないか等を検討しました。

（３）研修

職員の資質向上のため、施設内で年間研修計画を作成し、感染症予防対策を講じて計画的に研修を実施するとともに、日常の業務を通してのOJTを実施しました。都、目黒区及び東京都社会福祉協議会、その他関係団体が実施する外部の研修(WEB研修を含む)に参加しました。

また、当事業団が例年行う職層研修へは、対象職員が参加しました。

(特養 表 40-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
東京都認知症介護実践者研修	東京都福祉局高齢者施策推進部	2
自立支援のための環境調整	東京都高齢者福祉施設協議会	1
令和7年度第3回特定給食管理講習会 日本人の食事摂取基準2025年版の給食施設における活用	目黒区保健所	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB研修) 「介護のための医学の基礎」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「紙おむつの上手な選び方・使い方」	目黒区	2
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB研修) 「コミュニケーション事故の防止」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB研修) 「口腔衛生の管理」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB研修) 「認知症のよくある困難事例と対応方法」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「言語聴覚士が伝える食事介助の基本」	目黒区	1
高齢者糖尿病と糖尿病足病変のケア	東京共済病院地域連携セミナー	1
認知症の基礎知識	東京共済病院地域連携セミナー	1
難しい患者にどう対応するか5	東京共済病院地域連携セミナー	1
介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修	東京都福祉保健財団	1
意思決定支援研修	東京都福祉保健財団	1
特別養護老人ホーム経営実態調査 フォローアップ研修	東京都高齢者福祉施設協議会	1

〔東山〕

研修名	主催者	参加人数
介護職員のためのスキルアップ研修 「紙おむつの上手な選び方・使い方」	目黒区	2
感染症対策研修・訓練	メディカル・コンセル ジュ感染症研修・訓練 事業	7
社会福祉事業従事者人権研修 (I) (WEB研修)	東京都福祉局生活福祉課	4
高齢者における結核対策 (WEB研修)	結核対策特別促進事業	1

研修名	主催者	参加人数
東京都感染症対策リーダー養成研修（WEB研修）	東京都保健医療局感染対策部	1
看取りの介護のエッセンス	東京都社会福祉協議会	1
機能訓練指導員のための情報交換会 （機能訓練指導員は何をするべきか）	東京都社会福祉協議会	1
特定給食管理講習会	目黒区保健所	2
施設職員向け福祉用具講習会（実践型）	東京都福祉保健財団	2
患者さんのもしもの時を考える	三宿病院	2
介護と医療の意見交換会	三宿病院	4
介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修 （WEB研修）	東京都福祉保健財団	1
デジタル福祉 IN TOKYO25	東京都社会福祉協議会	1
東京都病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修（WEB研修）	東京都看護協会	1

〔中目黒〕

研修名	主催者	参加人数
令和7年度第1回特定給食管理講習会	目黒区	1
令和7年度第2回特定給食管理講習会	目黒区	1
令和7年度第3回特定給食管理講習会	目黒区	1
令和7年度第1回食支援講習会	目黒区	1
令和7年度「利用者の重度化にも対応したポジショニング、シーティング研修会」	東京都社会福祉協議会	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「紙おむつの上手な選び方・使い方」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB研修） 「コミュニケーション事故の防止」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB研修） 「口腔衛生の管理」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（対面研修） 「介護職員のための腰痛予防」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB研修） 「認知症のよくある困難事例と対応方法」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「言語聴覚士が伝える食事介助の基本」	目黒区	1

研修名	主催者	参加人数
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB研修） 「ハラスメントのない職場を目指して！」	目黒区	2
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB研修） 「事例検討の進め方」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修（WEB研修） 「メンタルヘルスケアのためのコミュニケーション」	目黒区	1
日本版BPSDケアプログラム	目黒区	2

〔さんホーム目黒〕

研修名	主催者	参加人数
介護職員初任者研修	三幸カレッジ	3
介護実務者研修	三幸カレッジ、沖縄カレッジ	5
生産性向上への取り組み～独自技術を取り入れた業務改善～	東京都社会福祉協議会	1
医療機関・フットケア（専門看護師）	東京共済病院	1
医療機関・介護施設での感染症予防（実践編）	厚生中央病院	1
ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	2
介護職員のためのスキルアップ研修 「介護のための医学の基礎」	目黒区	2
介護職員のためのスキルアップ研修 「介護職員のための腰痛予防」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「認知症のよくある困難事例と対応法」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「言語聴覚士が伝える食事介助の基本」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「事例検討会の進め方」	目黒区	1

（特養 表 40-2）主な施設内研修

〔施設内研修〕実施回数（回）

研修名	研修内容	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
新規職員研修	人権、個人情報、接遇マナー、認知症、事故防止、プライバシー保護	個別2	4	5	6
	他職種研修（移乗・ポジショニング、自立支援、腰痛予防、栄養、感染症、ケアプラン作成）	0	0	2	1
職層研修	中堅職員研修、指導職員研修、管理職員研修	3	2	2	1
人権研修	人権・虐待防止・個人情報保護、ハラスメント	4	4	5	4

研修名	研修内容	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
身体的拘束適正化研修	身体的拘束の適正化、指針に基づいた研修内容	3	2	2	2
リスクマネジメント研修	事故防止・大規模災害、苦情対応等	5	2	2	2
感染症予防研修	食中毒予防、感染性胃腸炎やインフルエンザへの対応	4	3	2	2
介護技術研修	口腔ケア、自立支援、「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」研修、サービスマナー研修	2	1	2	4
看取り研修	看取りの対応について	2	2	1	2
緊急対応研修	緊急対応（事例検討含む）	0	0	0	1

〔専門研修〕実施回数（回）

研修名	研修内容	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
職員の健康管理研修	メンタル・腰痛予防・産業医研修	1	0	5	1
ユニットリーダー研修	ユニットリーダーについて	0	0	0	2
ユニットケア研修	ユニット型特養について	0	0	0	2
サブリーダー研修	サブリーダーの役割等について	0	2	0	0

（特養 表 40-3）法人研修（人）

研修名	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
新任職員研修	0	3	0	2
入社2年目研修	0	5	1	0
サービス専門職A4年目研修	3	4	0	3
サービス専門職A7年目研修	2	3	0	0
サービス専門職A9年目研修	1	1	1	0
総合職7年目研修	1	0	0	0
指導職1級3年目研修	1	0	1	0
指導職2級昇格者研修	2	3	0	2
指導職2級5年目研修	1	0	1	1
指導職1級昇格者研修	0	0	1	0
管理職2級昇格者研修	0	1	0	0
管理職2級3年目研修	0	0	0	1
総合職転換者研修	0	1	0	0

(4) 施設間評価

施設間評価を例年実施してきましたが、従来の実施方法では評価が形骸化していることから、新たな評価方法や実施方法を検討するため休止としました。

(5) 苦情・要望

施設ごとに、苦情の窓口及び責任者を設置し、申し出があった場合、調査のうえ苦情解決委員会等で検討し、規程に基づき速やかに対応し、内容を施設内に掲示しました。

なお、「権利擁護センターめぐろ」等の外部機関に相談できることを重要事項説明書や掲示物にて示しています。

(特養 表 41) 苦情・要望の件数 (短期入所含む)

施設別 区分	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
苦情件数	1	2	0	1	4	0	0	0
処理件数	1	2	0	1	4	0	0	0
要望件数	1	0	0	1	0	0	5	0

(6) 拘束をしない事故防止対策と事故発生時の緊急対応

各施設において、身体拘束することなく事故防止に努めました。また、「事故防止指針」に基づいて、事故防止のための定期的な委員会の開催、研修の実施等により事故の分析、防止に努めました。事故発生時は速やかに緊急対応を実施しました。

(特養 表 42) 事故等の状況

施設別 区分	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
事故総数	566 (5)	37 (2)	400 (11)	44 (4)	108 (2)	15 (2)	401 (15)	34 (1)
ヒヤリハット	535	31	311	22	33	12	578	48

注 1) () 内は事故総数のうち通院に至った事故

注 2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(7) 個人情報保護

当事業団における個人情報保護規程に基づいて、個人情報の利用目的を明示し全利用者に対して説明のうえ、同意を得て個人情報を取り扱いました。

また、個人情報保護について研修を行い、基本的な知識・取り扱い方法を周知徹底するように努めました。

(特養 表 43) 個人情報開示実施数 (短期入所含む)

施設別 区分	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
個人記録	0	0	0	5	2	0	0	0
その他	0	0	6	0	2	0	3	0

注 1) 「その他」：健康診断結果等

(8) 情報発信

- ① 施設毎に広報誌を作成しました。また、ホームページ上で施設のPRに努めました。

(特養 表 44) 広報誌発行実績 (回)

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
令和7年度	5	12	18	24
令和6年度	5	13	12	24
令和5年度	6	12	9	24

② 介護サービス情報の公表

介護サービス情報公表制度の調査を受け、インターネットで施設の情報を公表しています。

(9) 防災対策

消防法の規定により策定した消防計画に基づき、感染症対策を行い、職員及び利用者による避難、通報、消火等の訓練を行いました。

また、地元の町会・自治会、消防署、消防団等の参加による総合訓練を行いました。

消防署と区内特養ホームが防災対策等について連携していくための防災連絡協議会は、WEB会議で行いました。

(特養 表 45) 防災訓練実施状況 (回)

施設別 訓練別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
総合訓練	3	1	2	1
避難訓練	4	2	7	4
火災想定訓練	3	12	7	6
地震想定訓練	2	2	5	2
夜間 (想定) 訓練	2	8	6	1
通報訓練	4	1	2	1
図上訓練	1	9	2	1
その他の訓練	9	10	3	2
その他の訓練の内容 (各施設の状況に応じ実施)	防災設備・自火報設備について、継走網訓練・地震体験・煙体験・AED操作訓練・備蓄品紹介・避難経路実踏・BCP等			

(10) 衛生管理

居室の清掃、消毒を実施し、衛生的な環境を提供しました。

また、寝具は週1回の交換を原則とし、年に1回のマット消毒と合わせ、清潔な寝具環境を提供しました。

新型コロナの感染予防のためマニュアル等に基づいた対応を行いました。

(11) 職員の健康管理

衛生委員会を定期的に行い、職員のメンタル面を含めた健康管理の向上に努めました。

(12) 福祉サービス第三者評価

質の高い利用者サービスの実現に向けて、指定管理施設は各施設において 3 年毎に第三者評価を受審、さんホーム目黒は毎年度受審しています。

評価結果については下表のとおりで、内容の分析を行い、指摘事項の改善に取り組みました。

(特養 表 46-1) なかめぐろホーム 評価結果

特に良い点	・ 看護師を24時間配置して医療ニーズの高い新規利用者を受け入れたり、嘱託医や協力病院と協力することで急変対応や看取りケアに備えている。 ・ 四季折々の年間行事で季節を感じてもらったり、保育園児やボランティアなどと交流し、楽しく過ごせるよう工夫している。 ・ 利用者・家族等からの要望・苦情に対し、組織として対応する体制を整え、利用者の人権を尊重するサービスを提供している。
更なる改善点	・ 人材育成計画に沿って人材育成を図っているが、職員のモチベーション向上のため、現在休止中の人事考課制度にも期待する。 ・ 今後感染症が落ち着いてきたら、多くの利用者が定期的に外出できるように工夫するとよい。 ・ 福祉用具はチェック表を作り、定期的に点検、管理をして利用者が安全で快適な生活が送れるようにするとよい。

評価実施機関： 特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

(特養 表 46-2) さんホーム目黒 評価結果

特に良い点	・ 施設の機能を活かして地域貢献に取り組んでいる。 ・ 利用希望者等にはホームページやパンフレット、施設の外壁の掲示板や町会の掲示板などでわかりやすく情報提供している。 ・ 入居者の意向を反映したレクリエーションや、ユニット玄関に季節を感じる飾りつけをするなど、笑顔が絶えない施設作りに取り組んでいる。
更なる改善点	・ 職員のキャリアパスに対する理解が深まるように説明の仕方を工夫するとよい。 ・ 各種記録はパソコン内に記録して共有しているが、閲覧確認ができないので閲覧確認ができるようにするとよい。 ・ ユニットを「隣近所、町会、まち関係」としメリハリをつけながら、各ユニットの入居者同士がかかわり、楽しみながら交流できるとよい。

評価実施機関： 特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

第2 在宅ケア多機能センター

在宅ケア多機能センターでは、介護保険法に基づく指定事業所として、小規模多機能型居宅介護サービス（以下、「多機能」という。）及び認知症対応型通所介護サービス（以下、「認知デイ」という。）を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の制限が緩和され、行事や地域交流が再開されましたが、施設では、手指消毒、マスク着用など基本的な感染予防策は継続して事業運営に取り組みました。

1 令和7年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 利用者の人権を守るため、チームによる介護・相談・支援を徹底します	全職員を対象に人権指針等を基に人権研修を年2回実施しました。人権・虐待防止・身体的拘束については、各委員会で、「人権・サービス評価表」で日頃のケアを振り返りました。全職員が「虐待の芽チェックリスト」を行い、その結果から課題を把握したうえで研修を行いました。
(2) 地域交流スペースを有効活用し、地域に開かれた施設づくりに取り組みます	会議だけでなく、日常的な地域との繋がりを意識し、電池や切手のリサイクル活動に参加しました。施設内での地域交流サロンの活動内容により、利用者の希望を伺い参加しました。関係機関だけでなく、センターの予定やPRの一言を施設外の掲示板に掲示して、近隣の方にもPRしました。感染予防対策を実施しながら、可能な限り地域の行事に参加させていただきました。
(3) 大規模災害時に計画に基づいて行動できるように継続して取り組みます	大規模災害計画や就業規則を元に、指導職を中心に大規模災害発災時の具体的な行動を話し合い、紙面でも確認しました。
(4) 利用率の向上などにより事業収益を確保していきます	居宅介護支援事業所及び関係機関への営業活動を強化しましたが、現利用者の入院や特養ホーム等への施設入所による契約終了が増加し、利用率は低迷しています。
(5) 質の高いサービスを安定的に提供できる人材の定着と育成に努めます	センター内で起きた事故や課題など具体的事例を通して、今後の対応や防止策などを検討しました。また、衛生委員会を活用し、職員のメンタルヘルスにも取り組みました。

（在宅表1）構成施設と定員

施設別 項目	東が丘在宅ケア多機能センター		東山在宅ケア多機能センター	
各施設名	東が丘多機能ホーム あすなろ	東が丘デイホーム しいの木	東山多機能ホーム けやき	東山デイホーム いちよう
利用定員	登録定員 29人 通い定員 18人 泊り定員 7人	12人	登録定員 29人 通い定員 18人 泊り定員 7人	12人

2 令和7年度の利用実績

(在宅表2) 利用率(%)

年度別	施設別	東が丘		東山	
		多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
令和7年度		54.5	57.5	75.9	55.8
令和6年度		61.7	54.2	71.4	48.3
令和5年度		79.7	65.8	78.6	58.3

注1) 多機能は登録定員に対する1日あたりの登録者数の割合

(在宅表3) 新規契約者数と契約終了者数(人)

区分	施設別	東が丘		東山	
		多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
新規	介護	4	10	16	17
	予防	0	0	1	0
終了	介護	6	11	12	14
	予防	0	0	0	0

3 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

(1) 東が丘多機能ホームあすなろ(多機能)

改善事項	具体的な取組みと結果
利用者・家族が安心してサービスを利用できるように報告・連絡の体制を強化します	・食事や水分が摂れず体調悪化傾向の利用者について、家族に報告して栄養補助食品の提案を行い、主治医の指示を仰いで対応することができました。 ・サービスの変更や追加の希望に対して、現場職員で可否を返答し送迎等の必要な対応をとることができました。
利用日以外でも催し物を楽しめる機会を増やします	・ポスター掲示やお知らせの配布によって行事やお楽しみ会の告知を行い、希望者にはスケジュールを調整して参加していただくことができました。

(2) 東が丘デイホームしいの木(認知デイ)

改善事項	具体的な取組みと結果
楽しい時間を過ごせるようにデイサービスでの過ごし方、活動内容等を工夫していきます	・定期的に特技ボランティアによる活動を再開することで、職員が普段行えないレクリエーションや活動を利用者に提供することができました。
デイサービスでの様子を知ってもらい機会を作り、ご家族が気軽に相談できるようにします	・デイサービスでの様子は連絡ノートだけでなく送迎時に口頭でも伝えることでご家族との関係強化を図りました。また、家族懇談会を開催した際は、実際の活動の様子を見学し、活動を実体験してもらうことで直接的に職員とご家族との関係強化を図ることができました。

(3) 東山多機能ホームけやき (多機能)

改善事項	具体的な取組みと結果
地域の子どもや住民との協働した行事やイベントに取り組みます	・地域の幼稚園児と敬老会、ハロウィン、クリスマス、お正月など季節行事の際は、施設に子供たちが遊びに来てくれました。こちらからは利用者が手作りしたコースターを利用者がラッピングしてプレゼントしたり、チラシで作成したごみ箱を幼稚園の先生方の作業用に持参いたしました。このような活動を継続して行うことで定期的に交流することができました。
在宅生活を継続するための支援の能力を向上します	・利用者から聴き取った今困っていることや、好きなこと、やりたいことを、利用者が話した言葉をそのまま記録に残すことで利用者の思いを共有し、サービスに反映させました。また、一人暮らしの認知症の方の対応には、生活環境や近隣住民との関係を把握し、必要なサービスを提供しました。

(4) 東山デイホームいちょう (認知デイ)

改善事項	具体的な取組みと結果
利用者一人ひとりに楽しんでいただけるように活動を充実し、個別性も大切にします	・楽しく心地よく利用していただけるよう、利用者の方からのご意見を聞きながら、五感を使ったレクリエーション（歌唱、玉入れ、魚釣りゲーム、外出等）や活動など毎日のプログラムを工夫して実施しました。 ・一人ひとりに合わせたプログラム（個別訓練、外出、塗り絵、間違い探し等）を提供しました。集団活動が苦手な方へ個別プログラム（散歩等）を提供しました。
ご家族が相談しやすく、いつでも利用しやすいデイホームにします	・月 1 回いちょうだよりを発行し、ご利用時の連絡帳のやりとりや家族懇談会、見学会等を通じて、デイホームでの様子をご家族にお伝えしました。 ・体調不良や日々の変化などは、ご家族だけでなく他機関とも情報を共有し、包括的な取り組みを進めました。

4 在宅ケア多機能センターの事業

多機能のサービス提供に当たっては、居宅サービス計画書及び小規模多機能型居宅介護計画書を作成し、利用者（家族等）に内容を説明、確認の上、サービスを提供しました。

また、認知デイのサービス提供に当たっては、居宅介護支援事業者または利用者（家族等）が作成した居宅サービス計画書に基づき認知症対応型通所介護計画書を作成し、利用者（家族等）に内容を説明、確認の上、サービスを提供しました。

(在宅 表 4) 小規模多機能の利用状況

[東が丘多機能] 登録定員：29 人・通い定員：18 人・泊まり定員：7 人

項目 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
登録者数	19	17	17	17	16	15	17	17	16	16	15	16	198
延登録者数	492	527	509	517	485	450	520	489	496	451	392	439	5,767
1日平均登録者数	16.4	17.0	17.0	16.7	15.7	15.0	16.8	16.3	16.0	14.6	14.0	14.2	15.8
登録率 (%)	56.6	58.6	58.5	57.5	54.0	51.7	57.8	56.2	55.2	50.2	48.3	48.8	54.5

項目 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通い利用者数	16	16	16	17	15	14	16	16	15	15	14	15	185
延通い利用者数	295	305	299	299	279	263	323	302	317	270	245	267	3,464
1日平均通い利用者数	9.8	9.8	10.0	9.6	9.0	8.8	10.4	10.1	10.2	8.7	8.8	8.6	9.5
通い利用率 (%)	54.4	54.4	55.6	53.3	50.0	48.9	57.8	56.1	56.7	48.3	48.9	47.8	52.8
宿泊利用者数	10	10	10	11	9	9	11	12	11	10	10	10	123
延宿泊利用者数	161	168	164	158	144	131	174	175	175	153	133	139	1,875
1日平均宿泊利用者数	5.4	5.4	5.5	5.1	4.6	4.4	5.6	5.8	5.6	4.9	4.8	4.5	5.1
宿泊利用率 (%)	77.1	77.1	78.6	72.9	65.7	62.9	80.0	82.9	80.0	70.0	68.6	64.3	72.9
訪問利用者数	6	7	7	7	6	7	8	6	6	6	6	7	79
延訪問回数 (回)	71	79	84	87	66	75	85	60	75	69	72	86	909
短期入所者数	1	3	3	1	3	1	0	0	1	1	1	1	16
延短期利用日数	3	8	6	3	26	28	0	0	2	4	4	4	88

[東山多機能] 登録定員：29人・通い定員：18人・泊まり定員：7人

項目 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
登録者数	24	24	25	23	20	22	23	24	24	27	26	26	288
延登録者数	670	639	645	646	620	630	620	630	681	783	725	721	8,010
1日平均登録者数	22.3	20.6	21.5	20.8	20.0	21.0	20.0	21.0	22.0	25.3	25.9	23.3	22.0
登録率 (%)	77.0	71.1	74.1	71.9	69.0	72.4	69.0	72.4	75.8	87.1	89.3	80.2	75.7
通い利用者数	23	23	21	20	20	22	23	24	25	26	25	26	278
延通い利用者数	417	452	410	414	443	440	422	410	429	473	447	499	5,256
1日平均通い利用者数	13.9	14.6	13.7	13.4	14.3	14.7	13.6	13.7	13.8	15.3	16.0	16.1	14.4
通い利用率 (%)	77.2	81.1	76.1	74.4	79.4	81.7	75.6	76.1	76.7	85.0	88.9	89.4	80.0
宿泊利用者数	12	12	9	10	8	10	9	9	10	12	11	12	124
延宿泊利用者数	187	192	155	142	135	178	194	172	163	198	188	204	2,108
1日平均宿泊利用者数	6.2	6.2	5.2	4.6	4.4	5.9	6.3	5.7	5.3	6.4	6.7	6.6	5.8
宿泊利用率 (%)	88.6	88.6	74.3	65.7	62.9	84.3	90.0	81.4	75.7	91.4	95.7	94.3	82.9
訪問利用者数	13	14	12	11	9	10	12	14	13	14	16	15	153
延訪問回数 (回)	193	207	227	172	195	189	250	273	303	331	321	343	3,004
短期入所者数	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
延短期利用日数	0	0	0	0	0	14	0	0	4	0	0	0	18

注1) 登録者数：各月内に有効な登録期間が1日でも含まれていた登録者の数

注2) 延登録者数：各月の開所日ごとの登録者の月の延べ数

注3) 1日平均登録者数：延登録者数÷開所日数

注4) 登録率 (%)：1日平均登録者数÷登録定員×100

注5) 利用者数：各サービスを各月に1日でも利用した利用者の数

注6) 延利用者数：各サービスの各日の利用者の月の延べ数

注7) 1日平均利用者数：各サービスの延べ利用者数÷開所日数

注8) 利用率 (%)：1日平均利用者数÷定員×100

注9) 延訪問回数：各月に訪問サービスを行った延回数

注10) 介護予防小規模多機能居宅介護の利用者含む

(在宅 表 5) 認知デイの利用状況

[東が丘認知デイ] 定員：12 人

項目 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
契約者数	25	24	25	25	27	25	24	26	25	24	24	24	298
延契約者数	243	257	264	274	290	259	261	263	286	260	241	244	3,142
1日平均契約者数	8.1	8.3	8.8	8.8	9.4	8.6	8.4	8.8	9.2	8.4	8.6	7.9	8.6
利用者数	23	23	24	24	26	25	23	24	21	24	24	23	284
延利用者数	199	220	229	233	226	208	209	197	189	221	201	176	2,508
1日平均利用者数	6.6	7.1	7.6	7.5	7.3	6.9	6.7	6.6	6.1	7.1	7.2	5.7	6.9
利用率 (%)	55.0	59.2	63.3	62.5	60.8	57.5	55.8	55.0	50.8	59.2	60.0	47.5	57.5

[東山認知デイ] 定員：12 人

項目 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
契約者数	25	26	27	27	28	29	29	29	28	27	30	29	334
延契約者数	217	221	224	235	228	259	292	260	261	272	259	288	3,016
1日平均契約者数	7.2	7.1	7.5	7.6	7.4	8.6	9.4	8.7	8.4	8.8	9.3	9.3	8.3
利用者数	24	26	27	24	25	27	28	28	28	28	26	28	319
延利用者数	178	196	184	182	189	225	228	203	217	202	208	223	2,435
1日平均利用者数	5.9	6.3	6.1	5.9	6.1	7.5	7.4	6.8	7.0	6.5	7.4	7.2	6.7
利用率 (%)	49.2	52.5	50.8	49.2	50.8	62.5	61.7	56.7	58.3	54.2	61.7	60.0	55.8

注 1) 契約者数：各月内に有効な契約期間が 1 日でも含まれていた契約者の数

注 2) 延契約者数：各月の開所日ごとにその日を利用日とする契約者の月の延べ数

注 3) 1 日平均契約者数：延契約者数÷開所日数

注 4) 利用者数：各月に 1 日でも利用をした利用者数

注 5) 延利用者数：各日の利用者の月の延べ数

注 6) 1 日平均利用者数：延べ利用者数÷開所日数

注 7) 介護予防通所介護の利用者はいない

注 8) 利用率 (%)：1 日平均利用者数÷定員×100

(在宅 表 6) 利用者の年齢構成 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

施設別 年齢層別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	男	女	男	女	男	女	男	女
40～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0	0	0	0	2
65～69歳	0	0	0	0	1	0	0	1
70～74歳	1	0	0	4	1	1	0	0
75～79歳	0	1	1	1	0	1	4	1
80～84歳	1	1	3	2	1	4	3	0
85～89歳	0	2	2	2	2	4	2	4
90～94歳	0	10	2	3	1	4	1	3
95～99歳	0	0	0	3	0	3	1	5
100歳～	0	0	0	0	0	3	1	1
合計	2	14	8	15	6	20	12	17

施設別 年齢層別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	男	女	男	女	男	女	男	女
最低年齢	71	79	79	73	68	70	77	61
最高年齢	83	94	94	97	91	103	105	100
平均年齢	77.0	90.1	86.0	85.1	81.2	89.5	85.1	86.8
	88.5		85.4		85.3		86.1	

（在宅 表 7）利用者の要介護状態区分（令和 8 年 3 月 31 日現在）

施設別 区分別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
現在申請中	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
要支援1	1	6.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
要支援2	1	6.3	0	0.0	3	11.6	0	0.0
要介護1	2	12.5	3	13.1	6	23.0	2	7.0
要介護2	4	25.0	5	21.7	3	11.6	1	3.5
要介護3	3	18.7	5	21.7	4	15.4	8	27.5
要介護4	2	12.5	2	8.7	4	15.4	9	31.0
要介護5	3	18.7	8	34.8	6	23.0	9	31.0
合計	16	100.0	23	100.0	26	100.0	29	100.0

（在宅 表 8）平均介護度の推移

施設別 年度別	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
令和7年度	2.7	3.3	2.7	3.8
令和6年度	2.4	3.5	2.6	3.7
令和5年度	2.3	4.0	2.4	3.6

注 1) 平均介護度計算：要支援 1、2 は 0.375 として算出

（1）介護サービス

利用者の心身の状況に応じた援助を行いました。

（在宅 表 9）日常生活動作等の状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

施設別 年度別		東が丘				東山			
		多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
登録・契約者数		16		23		26		29	
内訳		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
食事 介助	自立	11	68.7	10	43.0	16	61.0	18	62.0
	見守り等	3	18.8	3	13.0	4	15.0	0	0.0
	一部介助	0	0.0	2	9.0	3	12.0	8	28.0
	全介助	2	12.5	8	35.0	3	12.0	3	10.0

施設別 年度別		東が丘				東山			
		多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
登録・契約者数		16		23		26		29	
内訳		人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
口腔ケア	自立	14	87.5	7	30.4	12	46.2	14	48.3
	一部介助	0	0.0	8	34.8	11	42.3	3	10.3
	全介助	2	12.5	8	34.8	3	11.5	12	41.4
入浴介助	自立	0	0.0	0	0.0	1	3.8	0	0.0
	一部介助	13	81.2	5	21.8	17	65.5	9	31.0
	全介助	2	12.5	17	73.9	3	11.5	18	62.1
	入浴なし	1	6.3	1	4.3	5	19.2	2	6.9
	(リフト浴)	(1)	(6.3)	(14)	(60.9)	(2)	(7.7)	(2)	(6.9)
移動介助	自立	5	31.25	1	4.3	11	42.3	0	0.0
	見守り等	2	12.5	11	47.8	2	7.7	7	24.1
	一部介助	5	31.25	2	8.7	6	23.1	9	31.0
	全介助	4	25.0	9	39.2	7	26.9	13	44.9
	(車椅子使用者)	(6)	(37.5)	(10)	(43.0)	(7)	(26.9)	(17)	(59.0)
移乗介助	自立	7	43.6	1	4.4	15	57.7	1	3.4
	見守り等	1	6.3	9	39.1	2	7.7	6	20.7
	一部介助	5	31.3	3	13.0	7	26.9	6	20.7
	全介助	3	18.8	10	43.5	2	7.7	16	55.2
着脱介助	自立	4	25.0	1	4.3	5	19.2	2	6.9
	見守り等	3	18.8	6	26.1	5	19.2	4	13.8
	一部介助	7	43.7	7	30.5	13	50.1	10	34.5
	全介助	2	12.5	9	39.1	3	11.5	13	44.8
排泄介助	自立	7	43.7	3	13.1	15	57.7	2	7.0
	見守り等	2	12.5	7	30.4	1	3.8	5	17.2
	一部介助	5	31.3	5	21.7	8	30.8	7	24.1
	全介助	2	12.5	8	34.8	2	7.7	15	51.7

注 1) 食事介助：胃ろうの方は全介助に含む

注 2) 入浴介助：入浴サービス利用契約者による値

(2) 入浴サービス

入浴を希望される利用者に週 1～2 回実施しました。入浴ではプライバシーに配慮し、利用者の障害や健康状態に応じて、機械浴・リフト浴・一般浴により行いました。

(3) 食事サービス

食事は、管理栄養士が作成したメニューに基づき、常食のほか、主食では粥・ミキサー食等、副食では刻み食・極刻み食・ミキサー食等、利用者の咀嚼（そしゃく）機能、消化・吸収機能等の身体状況に合わせて提供しました。

なお、アレルギーなどで食べられない食品がある場合は、他の食品に代えて提供しました。

(在宅 表 10) 利用者の食事形態 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

施設別 形態別		東が丘		東山	
		多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
主食	米飯	12	15	21	17
	全粥	2	5	4	9
	パン	1	0	0	0
	パン・粥ミキサー	1	2	1	0
副食	常食	10	14	15	3
	刻み	4	2	8	21
	極刻み	1	4	1	2
	ミキサー食	1	2	2	0
経管栄養		0	1 (0)	0	3 (1)
その他 (持参)		0	0	0	0

注 1) 糖尿病・腎臓病等については別に個別対応

注 2) 経管栄養()内は経口摂取可能な利用者数

(4) 機能訓練サービス

利用者が日常生活を営むのに必要な筋力の維持・向上を図るための訓練を実施し、在宅で主体的な生活を送り、また社会参加ができるよう援助を行いました。

機能訓練指導員は、機能訓練計画書を作成し定期的に評価、見直すことで機能訓練の質の向上を図りました。

(5) アクティビティサービス

レクリエーション・趣味活動・体操・行事などの活動を通して、利用者相互の交流を深め、生きがいのある快適で豊かな日常生活を送れるよう支援しました。活動内容については利用者にアンケートを実施し、利用者自身が活動を選択して希望の活動に参加することにより、精神的満足度を高められる体制を整えました。感染症予防対策は継続していますが、積極的にボランティアを受け入れ、地域の活動などにもできる限り参加しました。

(在宅 表 11) 主な実施行事

月	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
4	・お花見 ・中庭散歩	・お花見 ・中庭散歩	・お花見 ・お花見弁当 ・目黒区文化祭春の部 ・防災訓練 ・バイオリンコンサート ・目黒ふれあいフェスティバル	・お花見 (東山公園) ・目黒ふれあいフェスティバル ・おやつ作り
5	・菖蒲湯 ・中庭散歩	・菖蒲湯	・香り湯 ・端午の節句 ・園芸 ・仁愛太鼓演奏 ・せたがや環境フェスタ ・防災訓練 ・和文化与ふれあう会	・菖蒲湯

月	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
6	- 外出（あじさい祭り）（東根小盆踊り） - お楽しみ会（三線演奏会）	- 歌声喫茶 - おやつ作り	- だれでも食堂ひがしやま - 防災訓練 - 民謡祭り - かみよん工房仕事フェス	- 避難訓練 - おやつ作り - 家族懇談会
7	- 七夕 - ほたる祭り	- 七夕 - 歌声喫茶 - 保育園児との交流	- 七夕ウィーク - バイオリンコンサート - 防災訓練 - 代々木深町公園建物見学 - 古民家で七夕行事 - 遊び場づくり - 東山小学校盆踊り	七夕
8	夏祭り	- 夏祭り - 歌声喫茶	- 夏祭り（2日間） - 防災訓練 - 目黒歴史資料館 - 子ども神輿	納涼祭
9	- 敬老会 - 花火	- 敬老会 - 歌声喫茶 - 御神輿	- 敬老週間 - バイオリンコンサート - 防災訓練 - 花火 - 古民家でお月見 - 目黒区展	敬老会
10	- 運動会 - 東根住区祭り	- 運動会 - 歌声喫茶	- 貝塚祭り - 防災訓練 - 目黒区音楽祭 - 日本舞踏大会 - 目黒区敬老福祉大会 - 目黒区民祭り - バイオリンコンサート - 中目黒公園祭り - 東山幼稚園運動会 - 地域福祉のつどい	東山貝塚まつり
11	- 秋の音楽会 - 総合防災訓練	- 歌声喫茶 - おやつ作り	- 運動会 - 天空公園収穫祭 - 防災訓練 - 活動見学会 - 合唱祭 - 文化祭 - 防災食試食会 - 近隣住宅訪問 - 社協館祭り - 近隣住宅訪問 - 東山小学校運動会 - バイオリンコンサート	- 運動会 - 活動見学会 - 避難訓練
12	- ゆず湯 - 望年会 - お楽しみ会（ハンドベル）（三線演奏会）	- ゆず湯 - 望年会 - 歌声喫茶	- ゆず湯 - 望年会 - 料理レク - 防災訓練 - 誰でも食堂東山 - バイオリンコンサート	- ゆず湯 - 望年会 - ケーキ作り
1	- 新年会 - 初詣ドライブ - 書き初め	- 初詣 - 新年会 - 歌声喫茶	- 初詣（祐天寺） - 田道ふれあい館祭り - 新春バイオリンコンサート	- 初詣外出（祐天寺） - 池尻大橋商店街餅つき

月	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
(1)			・防災訓練 ・遊び場づくり ・目黒歴史資料館 「昔の暮らしと道具展」	
2	・節分 ・河津桜花見 ・さくらさくみらい 保育園児と交流 ・お楽しみ会 (バイオリンとピアノ)	・節分 ・歌声喫茶	・節分 ・バイオリンコンサート ・防災訓練	・節分
3	・ひな祭り ・お花見 ・お楽しみ会 (シャンソンの会)	・ひな祭り ・お花見ドライブ ・歌声喫茶	・ひな祭り ・防災訓練 ・お花見ウィーク	・ひな祭り ・家族懇談会 ・お花見 (東山公園)

(6) 生活相談

利用者・家族が安心して在宅生活を継続できるよう、認知デイでは居宅介護支援事業所のケアマネジャー等とも連携を図り、介護、健康、栄養等について個別に助言を行い相談に応じました。

(7) 健康状態の確認

活動前のバイタルチェック、月1回の体重測定を実施しました。

また、利用中の体調変化等の疾病の早期発見に努め、健康状態に変化があった場合は家族へ連絡しました。

(在宅 表 12) 新型コロナ感染症発生状況(延人数)

区分 \ 施設別	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
利用者	0	3	0	0
職員	1	1	0	0

(8) 家族との連携の充実

在宅介護の支援と情報提供を行うとともに、連絡ノート等を活用し利用者の在宅生活の状況や体調変化を共有できるよう家族との連絡を密にしました。

(在宅 表 13) 家族懇談会等実施状況

施設別 \ 項目	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	回数	参加	回数	参加	回数	参加	回数	参加
家族懇談会	0	0	1	3	0	0	2	3
活動見学会	0	0	0	0	1	2	1	2

(9) 利用率向上の取り組み

多機能、認知デイともに利用率の向上に向け、居宅介護支援事業所、医療機関等の関係機関に対し、毎月空き情報等のお知らせの送付や訪問を重ねるなどPR活動に努め一定の利用者獲得はできましたが、一方で当センターを利用中の方が特養ホーム等への入所のため契約を終了される事例もあり、事業所によっては利用率が低下してしまいました。

5 運営管理

(1) 会議・委員会

特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所等が併設されている施設機能を有効に活用し、職員相互の理解と協力により利用者のニーズに応えるとともに、合理的な施設運営を行うための意見交換並びに検討の場として各種会議・委員会を開催しました。

施設間の会議については、感染症予防対策のため WEB 会議も活用しながら開催しました。

(在宅 表 14) 各種会議・委員会

施設合同会議		
会議名	内容	開催回数
在宅担当者会議	2施設共通の課題の検討、事業の報告等を実施しました。	年5回 (紙面・WEB・対面を活用)
課長会議	事業計画の方針、実施結果の評価など施設運営全般に関する事項を協議、決定しました。	月1～2回
施設運営会議	施設運営全般に関する事項の具体的な審議、事業計画方針に基づく具体的な内容の検討をしました。	月1回
防災会議	毎月1回防災巡回を実施し、改善点の検討、訓練の具体的な内容の検討、意見調整等を行い、効果的な訓練を実施	月1回
感染症対策会議	感染症の予防対策と発生時の対応を検討しました。 定期的、臨時に会議を開催し感染症拡大を未然に防ぐための対策を検討・実施	3月に1回
多機能会議	利用者サービス・業務に関すること	月1回
デイホーム会議(認知デイ)	利用者サービス・業務に関すること	月1回
ケース会議	通所介護計画の作成・検討・評価	月1～2回
サービス担当者会議	小規模多機能居宅介護計画書の作成・検討・評価	月1～2回
研修委員会	研修開催についての検討実施	2月に1回
苦情解決委員会	苦情要望の内容について検討実施	月1回
衛生委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討・実施	月1回
虐待防止検討委員会 人権委員会	虐待防止・個人情報保護・成年後見人について実施	月1回
事故防止委員会	発生した事故やヒヤリハットを分析し、介護事故防止のための対策を検討し、防止策を周知・実施	2月に1回
腰痛予防委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討・実施	2月に1回
省エネ委員会	施設における省エネ対策を検討・実施	年3回

(2) 研修

職員の資質向上のため、施設内で年間研修計画を作成し、感染症予防対策を講じて計画的に研修を実施するとともに、日常の業務を通しての OJT を実施しました。

また、東京都社会福祉協議会等、他の関係機関、団体が実施する外部の研修(WEB 研修を含む)に参加しました。

事業団が毎年委託にて実施する職層研修は、今年度も予定通り実施され対象職員が参加しました。

(在宅 表 15-1) 外部研修

[東が丘]

研修名	主催等	参加人数
介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修	東京都福祉保健財団	2
意思決定支援研修	東京都福祉保健財団	2
介護事業者向けカスタマーハラスメント対策説明会	東京都福祉局高齢者施策推進部介護保険課	1
30代向けキャリアデザイン研修	インソースセミナー	1
現場マネージャー研修	インソースセミナー	1
「令和8年度介護報酬改定」の詳細と「令和9年度介護保険制度改正」の全容と対策	東京都高齢者福祉施設協議会	1
介護職員のためのスキルアップ研修	目黒区	1
西部地区認知症についての地域研修会	西部包括支援センター	1

[東山]

研修名	主催等	参加人数
在宅療養研修	北部包括支援センター	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「緊急時の介護 とっさの症例判断・対応」	目黒区	1
認知症講座「こころがけたい睡眠」	松沢病院	1
社会参加へ向けた支援について～病院・地域の視点から	日産厚生会玉川病院	1
北部地区高齢者虐待防止研修	北部包括支援センター	1
問題解決研修～ビジネス上の問題を解決する	インソースセミナー	1
認知症介護実践者研修	東京都福祉人材センター研修室	1
認知症講座特別企画「認知症のケア」	松沢病院	1

(在宅 表 15-2) 法人研修 (再掲)

研 修 名	参加人数	
	東が丘	東山
新任職員研修	0	0
入社2年目研修	0	0
サービス専門職A4年目研修	0	0
サービス専門職A7年目研修	1	1
サービス専門職A9年目研修	0	0
指導職2級昇格者研修	0	0
指導職1級昇格者研修	0	0
指導職1級3年目研修	1	0
管理職2級昇格者研修	0	0
管理職2級3年目研修	0	0

(在宅 表 15-3) 主な施設内研修実施回数 (全職員対象)

研修名	研修内容	参加人数	
		東が丘	東山
職層研修	中堅職員研修、指導職員研修、管理職員研修	1	0
人権研修	虐待防止、個人情報保護、ハラスメント	7	18
身体的拘束適正化研修	身体的拘束の適正化、指針に基づいた研修内容	3	21
リスクマネジメント研修	事故防止・大規模災、苦情対応害等	2	1
感染症予防研修	食中毒予防、感染性胃腸炎やインフルエンザへの対応、吐物処理方法	10	21
介護技術研修	サービスマナー研修、ポジショニング研修、食事介助・栄養研修・入浴介助	14	0
緊急対応研修	緊急対応 (事例検討含む)	0	0
認知症研修	認知症についての理解、周辺症状等について	9	12
レクリエーション研修	各状況に応じたレクリエーションの紹介、各フロアでの情報交換等	0	0
個人情報保護研修	個人情報保護について	0	6
申し送り・報連相研修	マニュアルを使用しポイントを確認する	0	0

(3) 苦情・要望

事業所ごとにサービス内容に関する相談や苦情の窓口及び責任者を設置し、規程により要望・苦情等に速やかに対応できる体制を整えています。

(在宅 表 16) 苦情・要望の件数

区分 \ 施設別	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
苦情件数	2	0	0	0
処理件数	2	0	0	0
要望件数	0	0	0	2

(4) 安心・安全なサービス提供

各施設において身体拘束を行うことなく、また、事故の防止に努め安心で安全な環境を提供しました。

高齢者を介護・支援する過程においては、事故が起こる可能性が常にあるため、安全な環境かどうか常に見直しを行い、介助方法の統一を図りケアプランに基づいた安心・安全なサービス提供を行いました。

(在宅 表 17) 事故件数

区分 \ 施設別	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
事故総数（転倒・外傷等）	16 (0)	1 (0)	11 (4)	14 (0)
ヒヤリハット	5	8	1	13

注 1) () 内は事故総数のうち、通院し医療機関で治療検査受けかつ目黒区に届け出た件数

注 2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(5) 個人情報保護

当事業団における個人情報保護規程に基づいて個人情報の利用目的を明示し、全利用者に対して説明の上、同意を得て個人情報を取り扱いました。

情報開示については、事業団の情報開示規程に基づき行いました。

(在宅 表 18) 情報開示申請数

申請数 \ 施設別	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
情報開示申請数	0	0	0	0

(6) 利用前の事前説明

利用にあたっては、利用前に自宅へ訪問し、契約書・重要事項説明書、サービス内容やサービス提供体制などについて、理解していただけるように説明しました。

また、小規模多機能型居宅介護計画書や認知症対応型通所介護計画書の作成にあたっては、利用者の要望に沿って作成し、丁寧に説明を行い利用者の承諾を得る等、利用に際して意思決定がスムーズにできるように支援しました。

小規模多機能型居宅介護の利用開始にあたっては、サービスに関しての説明を十分に行い、

利用がスムーズに移行できるように、利用前のケアマネジャーや利用事業所からの引継ぎ等を密に行い、居宅サービス計画書を作成しました。

(7) 防災対策

消防法の規定により策定した消防計画に基づき、職員及び利用者による避難、通報、消火等の訓練を定期的に行いました。

(8) 地域との交流・ボランティアの受入れ

感染症予防対策は継続し、理・美容、バイオリン演奏や夏体験ボランティアなど積極的に受入れました。また、地域の活動や行事などにも可能な限り参加しました。

(在宅 表 19) ボランティアの受入れ状況

施設別 内容別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
生活支援	2	2	1	2	0	0	6	6
クラブ活動支援	10	41	10	40	6	18	0	0
技術支援	1	25	1	24	1	36	0	0
定例行事支援	15	30	7	9	25	47	25	47
行事支援	13	17	1	2	5	13	4	4
スケッター	0	0	0	0	0	0	0	0

注 1) 生活支援…散歩、話し相手、清掃、洗濯たたみなど

注 2) 技術支援…理美容

(9) 実習生、研修生、中学生の体験学習等の受入れ

各施設において、実習生、研修生及び中学生の体験学習等の受入れを新型コロナの感染状況を見極め、可能な限り受入れを行いました。

(在宅 表 20) 実習生等の受入状況

〔東が丘〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会（各大学）	教員免許介護等体験	21	105
合計		21	105

〔東山〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会（各大学）	教員免許介護等体験	46	230
合計		46	230

(10) 運営推進会議

施設を地域に開かれたものとし、サービスの質の向上を図ることを目的として、多機能は2か月に1回、認知デイは6か月に1回開催しました。ご家族をはじめ、地域の方や目黒区、包括支援センター職員に出席いただき、事業所のサービス向上につながるようにしました。

(在宅 表 21) 運営推進会議の開催状況

[東が丘多機能]

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
5月15日	3	2	1	2	2	利用者状況、運営状況、事故や苦情の説明、意見、情報交換、外部評価(1・3月)
7月17日	3	2	0	2	2	
9月18日	3	2	2	1	2	
11月20日	4	2	1	2	2	
1月22日	3	2	1	1	2	
3月19日	1	2	1	2	2	

[東山多機能]

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
5月22日	2	0	4	2	3	利用者状況、運営状況、事故や苦情の説明、意見、情報交換、外部評価(11・1・3月)
7月24日	3	0	3	2	3	
9月25日	2	0	4	1	3	
11月27日	2	0	4	2	4	
1月22日	5	0	4	2	3	
3月26日	3	0	4	2	4	

[東が丘認知デイ]

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
5月15日	2	0	2	2	2	運営状況、事業計画説明(5月)、事故や苦情等の説明、意見、情報交換
11月20日	2	0	1	2	2	

[東山認知デイ]

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
7月24日	0	0	4	3	0	利用者状況、運営状況、事故や苦情等の説明、意見、情報交換
1月22日	0	0	4	3	0	

第3 ケアプランセンター

各ケアプランセンターで、介護保険法に基づく指定居宅介護支援事業所として居宅サービス計画（ケアプラン）の作成等を行うとともに質の高いケアマネジメントの実施に取り組みました。新型コロナ等の感染予防対策は、継続して実施しました。

1 令和7年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1)人権意識の徹底を図り、虐待防止に取り組めます	・包括支援センターの虐待防止研修を受講した職員が、その内容を他の職員に周知し共有しました。 ・併設の特別養護老人ホームと共に、月1回「虐待セルフチェックシート」を作成し、職員自らの行動を振り返る機会を継続しています。
(2)収益の改善に向け取り組みを強化します	・収支の改善のため、職員体制の維持充実、介護保険の体制加算取得を継続しました。
(3)研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります	・各職員の状態に応じた研修に参加し、対人援助、介護支援専門員としてのスキルをさらに向上させました。 ・毎日のミーティングをはじめ、ケース会議、センター会議とおし、職員間の連携を図り専門性を高めました。

（ケア表1）利用率（％）

施設別 年度別	東山		さんホーム目黒	
	介護	介護予防	介護	介護予防
令和7年度	90.2	32.0 (135)	87.0	37.5 (186)
令和6年度	88.8	25.3 (100)	95.3	47.1 (229)
令和5年度	92.8	41.5 (173)	95.3	73.6 (236)

注1）（ ）は延べ委託契約件数

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

（1）東山

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者や家族との連絡方法の検討、より効果的な相談援助の手段について考え取り組みます	・利用者アンケートの結果、9割以上の利用者から大変満足、満足との評価を頂きました。 ・利用者や家族より要望のあったメールやLINE等を活用した連絡方法を所内で調査・検討し、令和8年度に試行予定です。

（2）さんホーム目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者の不安や迷いに寄り添った支援を継続する	・利用者アンケートの結果、9割以上の利用者から大変満足、満足との評価を頂きました。 ・ケアマネ専用アプリを入れたタブレット端末を訪問時に持参し、迅速に対応できるように活用しています。

3 居宅介護支援事業

（1）居宅サービス計画の作成

居宅サービス計画（ケアプラン）作成においては利用者宅を訪問し、利用者及び家族に面接し

て要望・意見を聞き取り、支援するうえで解決すべき課題の把握及び分析を行い、介護保険法の自立支援の観点に立って作成しました。

また、毎日のミーティングでケース報告を丁寧に時間をかけて行い、作成したケアプランが「自立支援」に資する適切なものであるか、運営基準、解釈通知に適合しているかを職員相互で検証しました。

(2) サービス事業者との連絡調整

当該地域における居宅サービス事業の内容を把握するために、事業者連絡会に積極的に参加し、情報収集に努めるとともに、サービスを安定して提供できるように事業者との連絡調整を丁寧に行いました。

特に併設のサービス事業所（認知症対応型通所介護・短期入所生活介護等）と、その利点を活かし、利用者の状態等の共有を積極的行いました。

(3) 居宅サービス計画の実施状況把握

居宅サービス計画作成後においても、利用者宅を訪問して課題把握を行い、居宅サービス計画の実施状況把握に努めました。把握した課題について所内の職員ミーティングにて検討し、他職員からの助言や意見を活かし改善に努めました。

(4) サービス担当者会議の開催

居宅サービス計画を効果的なものとするために、必要に応じてサービス担当者会議を開催し、広く利用者・家族及びサービス担当者、関係者から意見を求めました。

(5) サービス提供方法の説明等

制度やサービスの内容については、パンフレット等を活用し分かりやすい説明に努めました。

利用者が複数のサービス事業者紹介やサービス事業者等の選定理由の説明を求めることができることを契約書に記載し、利用者に説明しました。

(ケア 表 2) ケアプラン作成件数 (要介護のみ)

〔東山〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約件数(月末)		134	133	133	137	137	137	139	139	137	138	135	127	
介護給付実績件数	要介護1	41	45	44	47	51	53	51	48	48	50	49	51	578
	要介護2	33	35	31	30	31	29	32	31	32	32	32	28	376
	要介護3	29	32	31	34	32	31	29	30	27	23	23	24	345
	要介護4	8	7	8	4	9	4	5	8	9	7	13	9	91
	要介護5	9	9	10	10	12	11	13	12	11	9	8	10	124
	合計	120	128	124	125	135	128	130	129	127	121	125	122	1,514
	利用率(%)	85.7	91.4	88.6	89.3	96.4	91.4	92.9	92.1	90.7	86.4	89.3	87.1	90.1
新規契約件数		7	5	3	7	3	2	4	4	2	5	1	1	44
契約終了件数		1	6	3	3	3	2	2	4	4	4	4	9	45
契約終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援へ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	施設入所	1	2	1	2	2	0	1	1	2	2	4	3	21
	長期入院	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	4
	死亡	0	2	1	0	0	1	0	1	0	1	0	2	8
	その他	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	4	11

〔さんホーム目黒〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約件数(月末)		142	143	145	144	142	153	153	161	165	166	162	158	
介護給付実績件数	要介護1	52	52	52	47	48	54	64	65	62	56	56	57	665
	要介護2	38	42	38	39	40	40	38	44	44	45	46	39	493
	要介護3	20	20	21	18	18	25	21	19	23	23	19	25	252
	要介護4	18	17	16	16	18	20	14	15	16	19	20	20	209
	要介護5	10	10	11	10	11	12	9	9	9	8	11	9	119
	合計	138	141	138	130	135	151	146	152	154	151	152	150	1,738
	利用率(%)	82.6	84.4	82.6	77.8	80.8	90.4	87.4	91.0	92.2	90.4	91.0	89.8	86.7
新規契約件数		6	3	4	3	6	14	7	9	7	5	1	3	68
契約終了件数		8	2	2	4	8	3	7	1	3	5	5	7	55
契約終了理由	非該当へ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	要支援へ	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4
	施設入所	2	0	0	2	5	2	2	1	1	3	2	4	24
	長期入院	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	4
	死亡	4	1	1	0	3	1	2	0	0	1	2	0	15
	その他	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	2	7

注1) 利用率(%)＝介護給付実績件数÷介護支援専門員担当数合計(35件(時短:27件)×職員数)

注2) 月遅れ請求の場合は、国保連へ請求した月に計上

4 介護予防支援事業

包括支援センターとの委託契約に基づき、依頼のあった利用者に対し、利用者本位の自立した生活が送れるよう計画を作成し支援しました。

(ケア 表3) 予防プラン作成件数(要支援のみ)

〔東山〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託件数(月末)		9	10	10	10	10	11	12	12	12	13	13	9	
予防給付実績件数	要支援1	1	3	4	6	4	4	4	5	5	5	5	5	51
	要支援2	8	6	6	6	6	8	7	7	7	8	8	8	85
	合計	9	9	10	12	10	12	11	12	12	13	13	13	136
	利用率(%)	28.1	28.1	31.3	37.5	31.3	37.5	34.4	37.5	37.5	40.6	40.6	40.6	35.4
新規受託件数		1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	7
受託終了件数		0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	6
受託終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護へ	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3

〔さんホーム目黒〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託件数(月末)		18	18	18	18	18	17	17	19	21	21	20	20	
予防給付実績件数	要支援1	7	7	7	7	7	7	7	6	8	7	8	8	86
	要支援2	9	9	12	8	10	7	7	8	8	8	7	7	100
	合計	16	16	19	15	17	14	14	14	16	15	15	15	186
	利用率(%)	42.1	42.1	50.0	39.5	44.7	36.8	36.8	36.8	42.1	39.5	39.5	39.5	40.8
新規受託件数		1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	7

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託終了件数		1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	5
受託終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護へ	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	4
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注 1) 利用率(%)＝予防給付実績件数÷介護支援専門員担当上限数合計 (8 件(時短:6 件)×職員数)

注 2) 月遅れ請求の場合、国保連へ請求した月に計上

5 介護保険認定調査

目黒区との契約に則り、介護保険認定調査を行いました。

(ケア 表 4) 介護保険認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
東山	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
さんホーム目黒	2	2	1	3	2	2	2	2	2	2	2	2	24

6 運営管理

(1) 会議・委員会

利用者サービス向上と施設運営を円滑に行うため、必要に応じて各種会議を開催しました。

また、併設する特別養護老人ホームとは、施設環境や防災体制の整備に協同で取り組みました。

(ケア 表 5) 各種会議〔東山・さんホーム目黒共通〕

会議名	内容	開催回数
ケアプランセンター 担当者会議(WEB開催)	ケアプランセンター事業運営全般の検討・調整、重点項目、改善事項についての進捗報告、危機管理に関する こと、苦情に関すること	1回/2か月
ケアプランセンター 所長会	業務の見直し及び評価、連絡調整、情報交換(WEB開催)	1回/2か月
ケアプランセンター 会議	業務の見直し及び評価、連絡調整、情報交換	第1・3週
ケース会議	ケースにかかる課題分析・解決策の検討 利用者のニーズに基づくケアプランの作成・検討・評価	月1回

注 1) さんホーム目黒におけるケアプランセンター会議及びケース会議の開催は、適宜での開催

(2) 研修

職員の資質向上のため、東京都、目黒区その他の関係団体が実施する外部の研修に積極的に参加したほか、部内・センター内でも職場研修を実施しました。

また、これらの研修のほか、日常の職務を通しての OJT に努めました。

(ケア 表 6-1) 外部研修

研修名	主催者	東山	さんホーム 目黒
目黒区主任介護支援専門員連絡会研修	目黒区	2	8
目黒区認定調査員現任研修	目黒区	1	0

研修名	主催者	東山	さんホーム 目黒
地区高齢者虐待防止研修	包括支援センター	1	1
地区認知症地域支援連絡会	包括支援センター	1	1
地区多職種研修	包括支援センター	1	0
事業者連絡会全体研修（年5回）	目黒区事業所連絡会	5	5
事業者連絡会ケアマネ研修（年4回）	目黒区事業者連絡会 ケアマネ分科会	12	10
介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修	東京都	0	0
東京都介護支援専門員更新研修	東京都	1	1
東京都主任介護支援専門員更新研修	東京都	該当無	1
東京都主任介護支援専門員研修	東京都	該当無	該当無
特定事業所合同研修・事例検討会	地区特定事業所	1	1
目黒区介護支援専門員現任研修	目黒区介護保険課	2	4
目黒区主任介護支援専門員研修	目黒区介護保険課	2	2

（ケア表6-2）法人包括・施設部内・センター内研修

研修名	主催者	東山	さんホーム 目黒
人権研修	施設部内講師・所長	1	1
センター内研修	施設部内講師・職員	12	11

（3）苦情・要望

（ケア表7）苦情・要望の件数

	令和7年度		令和6年度	
	東山	さんホーム 目黒	東山	さんホーム 目黒
苦情件数	0	0	0	0
要望件数	0	0	0	0

（4）防災対策

大規模災害発生時に備え、利用者安否確認名簿を作成・更新し、安否確認への備えを行うとともに、併設する特別養護老人ホームと連携し、防災訓練、継走訓練及び感染症対策など、災害発生時に備えました。

（5）実習生・研修生等の受け入れ

（ケア表8）実習生等の受入状況

実習名	実習者	東山	さんホーム 目黒
介護支援専門員実務研修実習	介護支援専門員実務研修受講者	1	1
合計		1	1

第4 心身障害者センター

障害にかかわる各種相談、デイサービス等の生活支援など、心身障害者に対して総合的なサービスを提供しました。

新型コロナの感染予防対策は継続して実施しました。

1 令和7年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 区と連携し指定特定相談支援の充実化を図ります（継続）	世帯単位で支援しなければならないケースが増え、複合的なニーズを抱えるケースを連携、協働で対応していくために令和7年度から西部包括支援センター、社会福祉協議会 CSW（コミュニティーソーシャルワーカー）と毎月1回、事例から地域課題を抽出していく試みや困難ケースの連携、協働に向けた取り組みを話し合う西部地区支援者連携会議を実施しました。今年度は、連携と協働の仕組み作りの一歩として連携シートを作成しました。
(2) 区と連携し失語症等利用者への意思疎通支援事業の推進を図ります	失語症当事者向け「ことばの集い」、区民向け「失語症会話パートナー養成講座」の開催を継続したほか、今年度から新たに「失語症会話パートナー等派遣事業」を開始するなど、失語症者向け意思疎通支援事業の推進を図りました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
より分かりやすい情報提供に努めます	生活介護事業において、コミュニケーションアプリ「BAND」を新たに導入し、日々の活動状況の報告や緊急時の送迎バスの運行状況の伝達などに活用することで、利用者、家族とよりスムーズかつ密な連携を図ることができました。

3 サービス内容

(1) 障害者総合支援法に基づく事業

① 特定相談支援事業

ア 計画相談支援

相談支援専門員が、障害福祉サービス利用に関するサービス等利用計画の相談、作成等に対応しました。

(心障 表 1-1) 計画相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	575	552	540	606	579	612	720	505	558	563	546	552	6,908

(心障 表 1-2) 計画相談内容件数（重複計上）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	161	158	153	154	137	161	270	141	160	170	150	164	1,979
重度訪問介護	35	43	22	22	5	12	30	21	9	11	5	15	230
同行援護	1	2	3	0	1	2	0	0	1	0	0	0	10
行動援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
療養介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活介護	29	7	16	21	28	12	21	19	18	22	14	21	228

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
短期入所	25	39	28	47	40	20	24	24	18	27	19	20	331
重度障害者等包括支援	0	0	4	0	0	0	2	0	0	1	0	1	8
グループホーム	69	61	70	82	83	52	70	60	64	92	60	75	838
施設入所支援	9	6	5	5	13	11	21	13	14	21	17	19	154
自立訓練	12	9	6	9	0	19	18	9	12	12	10	7	123
就労移行支援	25	27	17	18	35	27	27	8	22	16	31	17	270
就労継続支援	81	78	56	55	113	92	88	50	85	102	91	85	976
就労定着支援	9	7	8	9	11	10	11	8	12	6	8	7	106
自立生活援助	0	0	0	0	0	4	10	0	0	1	0	4	19
その他	214	158	224	199	205	260	265	209	223	214	201	213	2,585
計	670	595	612	621	671	682	857	562	638	695	606	648	7,857

(心障 表 1-3) 計画作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	7	2	2	2	1	4	2	1	4	1	3	33
継続契約者件数	17	12	17	13	15	16	15	12	13	13	11	13	167
計	21	19	19	15	17	17	19	14	14	17	12	16	200

(心障 表 1-4) モニタリング件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	3	3	1	0	2	4	0	0	1	0	0	14
継続契約者件数	46	46	43	33	49	39	45	35	41	46	39	39	501
計	46	49	46	34	49	41	49	35	41	47	39	39	515

イ 基本相談支援

リハビリテーション科医師、相談支援員等がリハビリやサービス利用に関する相談等に
対応しました。

(心障 表 2-1) 基本相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	8	19	10	13	24	18	16	25	22	29	28	29	241

(心障 表 2-2) 基本相談内容件数(重複計上)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障害福祉サービス利用	9	17	7	8	19	14	12	17	16	20	21	28	188
地域活動支援センター利用	2	1	1	3	0	0	1	0	1	1	1	1	12
配食サービス利用	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	1	1	8
福祉機器相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学的相談	2	2	2	2	2	3	2	2	3	3	2	2	27
対人関係	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
金銭管理	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
健康管理	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4	1	0	7
生活設計	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	4
その他	1	1	5	2	0	3	2	6	2	8	3	7	40
計	15	22	15	20	24	20	19	31	22	36	29	39	292

② 短期入所事業

心身に障害があり、保護者が緊急な事情等で一時的に保護が必要な時や、自立のための生活体験を希望される時、宿泊を伴う介助・支援を行いました。

(心障 表 3) 短期入所利用状況 定員：2 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
提供日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	31	28	31	364
契約者数	24	20	23	24	19	18	18	21	20	18	17	22	
内訳	男	13	13	15	17	10	13	11	13	12	9	11	13
	女	11	7	8	7	9	5	7	8	8	9	6	9
延利用者数	79	67	74	79	72	73	71	72	59	43	44	61	794
1日平均利用者数	2.6	2.2	2.5	2.5	2.3	2.4	2.3	2.4	2.0	1.4	1.6	2.0	2.2

③ 生活介護事業

重度の肢体不自由及び重度の知的障害がある利用者に対し、日常生活援助、生産活動、社会参加活動、ストレッチ等の身体活動などを行い、あわせて医療的ケアを要する利用者の受け入れについて、対応の安定に努めました。

また、宿泊行事について、医療的ケアを要する利用者から参加の希望がなかったため、日帰り外出を企画し、実施しました。

(心障 表 4) 生活介護事業利用状況 定員：21 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242
契約者数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	
内訳	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	女	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	
延利用者数	234	224	238	248	230	206	232	203	232	218	195	239	2,699
1日平均利用者数	11.1	11.2	11.3	11.3	11.5	10.3	10.5	11.3	11.6	11.5	10.8	11.4	11.2

(心障 表 5) 生活介護事業活動内容

グループ	主な活動
ぷらたなす	マットで体操、身体機能・感覚機能に働きかける活動、レクリエーション、園芸、散歩など
けやき	体操、織物作業、園芸、レクリエーション、外出、図書館など

(心障 表 6) 生活介護事業の主な実施行事

月	けやきグループ	ぷらたなすグループ
4	歓迎会	歓迎会、外出(買い物)
5	鯉のぼり会、家族懇談会、 目黒市民コンサート、避難経路確認	鯉のぼり会、家族懇談会 目黒市民コンサート、散歩
6	防災訓練、バスドライブ(じゃがいも掘り)、半日外出(ウエスティンホテル)	防災訓練、園芸、避難経路確認
7	七夕会、健康診断、外出(買い物)	七夕会、健康診断
8	スイカ割り、バスドライブ(織戸農園)	スイカ割り、外出(買い物)
9	外出(買い物)、家族懇談会	外出(買い物)、家族懇談会

10	宿泊体験(舞浜)、外出(買い物)	宿泊体験(舞浜)、日帰り外出(グランベリ ーパーク・スヌーピーミュージアム)
11	外出(買い物)、パーシモンホールアウト リーチプログラム、あいアイまつり	買い物、パーシモンホールアウトリーチプ ログラム、あいアイまつり、外出(パティ スリーナオキ)
12	クリスマス会、家族懇談会	クリスマス会、家族懇談会、外出(パティ スリーナオキ)
1	新年会、初詣(氷川神社)	新年会、初詣(氷川神社)
2	節分会、	節分会、外出(二子玉川ライズ)
3	雛祭り会、外出(目黒区長室訪問)、家族懇 談会、お花見、終了式	雛祭り会、家族懇談会、お花見、終了式

※年間を通して、園芸活動、外出(図書館)を行いました。

(心障表7) 時間外受入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数	0	0	1	1	0	1	0	1	0	2	0	0	6
利用時間数	0	0	1.0	1.0	0	1.5	0	1.5	0	3.0	0	0	8.0

④ 障害者活動訓練事業

ア デイサービスコース

病気や事故等により身体に障害を有することとなった方に対し、生活のリズム作りと心身機能維持を目的として、個別の支援計画を立て、グループでの運動や趣味・生きがい活動、外出等のサービスを提供しました。

また、利用者個々のニーズに応える活動として「ショートリハビリテーション」等、全般に満足度向上につながりました。

(心障表8) デイサービスコース利用状況

〔Aコース(月・水・金)〕定員:15人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	13	12	13	12	12	12	13	10	12	11	10	12	142
契約者数	14	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	
内訳	男	9	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	
	女	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
延利用者数	152	157	165	136	133	133	144	125	142	120	104	140	1,651
1日平均利用者数	11.7	13.1	12.7	11.3	11.1	11.1	11.1	12.5	11.8	10.9	10.4	11.7	11.6

〔Bコース(火・木)〕定員:15人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	8	8	8	10	8	8	9	8	8	8	8	8	99
契約者数	10	10	11	11	11	11	11	13	13	13	13	13	
内訳	男	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	
	女	4	4	5	5	5	5	6	6	6	6	6	
延利用者数	51	55	52	65	43	49	50	54	58	57	60	70	664
1日平均利用者数	6.4	6.9	6.5	6.5	5.4	6.1	5.6	6.8	7.3	7.1	7.5	8.8	6.7

(心障 表 9) デイサービスコース活動内容

コース	主な活動
A コース (月・水・金)	体操、口の体操、歌、散歩、レクリエーション、趣味活動（頭の体操、塗絵、レジン、ビーズ創作、草履作り、パソコン、ゲーム、カラオケ、映画等）、一日外出、半日外出、季節行事、ショートリハビリテーション、個別の言語障害・認知障害への取り組み、歩行練習、ペダル漕ぎ、個別相談（看護師、心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士）
B コース (火・木)	体操、頭の体操、レクリエーション、趣味活動（レジン、ゲーム、パソコン、麻雀、映画等）、一日外出、半日外出、季節行事、ショートリハビリテーション、ペダル漕ぎ、個別の言語障害・記憶障害への取り組み、個別相談（看護師、心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士）

(心障 表 10) デイサービスコース主な実施行事

月	A コース行事	B コース行事
4	オリエンテーション	オリエンテーション
5		
6		
7		
8	スイカ割り	季節を楽しむ会
9		
10	半日外出	
11	あいアイまつり	あいアイまつり、半日外出、パーシモンホールアウトリーチプログラム
12	年末バスボム作り	年末茶話会
1	書き初め、一日外出	書き初め
2	一日外出	活動見学会、一日外出
3	お花見、修了会（コースター作り）	お花見、修了会（茶話会）

イ 機能訓練コース

主に脳血管障害、外傷等の中枢神経障害（脊髄損傷含む）の方に対し、機能維持・向上を目的として集団体操等を行いました。

また、活動アンケートを行い、利用者個々のニーズを聞き取り、創作活動、ミニグループのレクリエーション、一部利用者のデイサービスの午後の創作活動への参加等の実施につなげました。その結果、高い満足度となりました。

なお、相談窓口を通じての車椅子等の作製に係る評価や助言等も行いました。

(心障 表 11) 機能訓練コース利用状況

[A コース (月・水・金)] 定員：8人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	13	12	13	12	12	12	13	10	12	11	10	12	142
契約者数	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	10	10	
内訳	男	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	
	女	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	
延利用者数	54	44	46	40	42	38	52	35	49	36	39	45	520
1日平均利用者数	4.2	3.7	3.5	3.3	3.5	3.2	4.0	3.5	4.1	3.3	3.9	3.8	3.7

〔B コース（火・木）〕 定員：8 人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		8	8	8	10	8	8	9	8	8	8	8	8	99
契約者数		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	
内訳	男	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
延利用者数		26	23	23	31	24	23	29	25	26	25	28	33	316
1日平均利用者数		3.3	2.9	2.9	3.1	3.0	2.9	3.2	3.1	3.3	3.1	3.5	4.1	3.2

（心障 表 12）機能訓練コース活動内容

コース	主な活動
A コース （月・水・金）	はじめの会、体操(マット、椅子)、創作活動(水引、レジン、革細工等)、歩行練習、ストレッチ、ホットパック、個別活動計画面談、外出、ショートリハビリテーション、個別ST、屋外歩行
B コース （火・木）	はじめの会、体操（マット、椅子、立位）、個別活動計画面談、外出、ショートリハビリテーション、集団ST、歩行練習

（心障 表 13）機能訓練コース主な実施工事

	A コース行事	B コース行事
4		
5		
6		
7		
8	テイクアウト交流会	テイクアウト交流会
9		
10		
11	あいアイまつり	あいアイまつり
12	クリスマス交流会	クリスマス交流会
1		
2	外出交流会	外出交流会
3	外出交流会、終了式	外出交流会、終了式

⑤ 施設入浴サービス事業

身体に障害のある方で自宅での入浴が困難な方に、施設において機械浴槽または一般浴槽による入浴支援を行いました。

また、季節湯を実施しました。

（心障 表 14）施設入浴サービス事業利用状況

〔機械入浴〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数		26	26	26	26	26	26	26	27	27	25	24	24	
内訳	男	7	7	7	7	7	7	7	8	8	7	7	7	
	女	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	17	17	
延利用者数		101	99	92	108	97	92	99	86	93	93	93	99	1,152

〔介助入浴〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数		26	25	25	26	27	27	26	26	27	26	27	27	
内訳	男	17	16	16	17	18	18	17	17	18	17	17	17	
	女	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	
延利用者数		90	89	79	99	78	94	78	77	80	83	71	92	1,010

（心障 表 15）季節湯実施状況

内容	期間
菖蒲湯	4月29日～5月5日
ゆず湯	12月16日～12月22日

⑥ 巡回入浴サービス事業

身体に障害のある方で自宅での入浴が困難な方に、自宅において巡回入浴車による入浴支援を行いました。

（心障 表 16）巡回入浴サービス事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数		10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	
内訳	男	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	女	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
延利用者数		35	38	35	30	32	30	31	28	24	29	27	31	370

（2）その他法令に基づく事業

① 訪問食事サービス事業

心身に障害があり、一人暮らし等で調理が困難な方に昼食を提供するとともに、安否確認を実施しました。

（心障 表 17）訪問食事サービス事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス提供日数		22	22	21	23	21	22	23	20	20	20	20	22	256
契約者数		20	19	19	19	19	19	19	19	18	17	17	17	
内訳	男	13	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	
	女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	
延利用者数		153	146	150	161	133	152	157	133	131	131	130	147	1,724
1日平均利用者数		7.0	6.6	7.1	7.0	6.3	6.9	6.8	6.7	6.6	6.6	6.5	6.7	6.7

② 心身障害者に関する啓発

心身障害者に関する啓発のための講座や地域との協力事業等各種事業を実施しました。

（心障 表 18）心身障害者に関する啓発実施状況

実施日	内容	参加人数	場所
12月5日	障害施設見学バスツアー	10	心身障害者センター他

③ 失語症会話パートナー等事業

失語症者の意思疎通支援事業を充実及び推進するため、失語症会話パートナー等事業を実施しました。

ア ことばの集い

言語による意思疎通に障害がある方を対象に、その方の持っている機能を活かし、より良い言語生活を営むことができるよう、言語機能維持のための集団プログラムと社会参加の場を提供することを目的に失語症当事者等サロンの場を提供しました。

(心障 表 19-1) ことばの集い実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数	3	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	3	49
登録者数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
内訳	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
延利用者数	19	31	26	26	30	21	30	25	25	26	25	18	302

イ 失語症会話パートナー養成講座

失語症を理解し、適切な会話技術を用いることで、失語症当事者のパートナーとして情報保障や地域社会との懸け橋となる人材を育成することを目的に、失語症会話パートナー養成講座を開催しました。

(心障 表 19-2) 失語症会話パートナー養成講座実施状況

実施日	内容	主催者・講師	参加人数	場所
10月4日	あいアイ講座「失語症会話パートナー養成講座」(基礎講座)	心身障害者センター NPO 法人和音他	6	心身障害者センター
10月18日	あいアイ講座「失語症会話パートナー養成講座」(実技講座)	心身障害者センター NPO 法人和音他	5	心身障害者センター
11月～3月	あいアイ講座「失語症会話パートナー養成講座」(実習)	心身障害者センター 地域当事者団体	3	心身障害者センター、 地域当事者団体

ウ 失語症会話パートナー等派遣事業

失語症当事者に対する意思疎通支援に係る派遣コーディネート業務を行うとともに、失語症会話パートナー養成講座にて要請した失語症会話パートナーの活躍の場を開拓、事業の周知啓発を促進しました。

(心障 表 19-3) 失語症会話パートナー等派遣事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延派遣者数	3	6	6	5	8	6	8	5	6	7	8	9	77

④ 心身障害者団体が活動を行う場の提供

団体交流室を開放し、心身障害者団体の活動を支援しました。

⑤ 会議室等の貸出し

心身障害者関係団体、区民団体（登録団体、一般団体）、その他団体等に対し、集会施設予約システムにより会議室、視聴覚室及び言語訓練室の貸出しを行いました。

4 運営管理

(1) 会議

運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当学会議を設置し、計画的に業務を進めました。

(心障 表 20- 1) 障害 5 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 5 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

(心障 表 20-2) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
運営会議	施設運営全般に関する事項の検討・協議	毎月
安全衛生担当者会議	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生に関し、産業医の助言を受けて検討実施	年 1 回
給食会議	給食サービスにかかる検討・調整	毎月
医療担当者会議	医行為、医療的ケア等にかかる検討・調整	毎月

(2) 委員会

(心障 表 21) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
安全対策委員会	事故及びヒヤリハット事例の分析、再発防止策の検討	年 6 回
食事委員会	食事に関する事項の検討	毎月
虐待防止委員会	利用者の人権擁護対策の検討・実施	毎月
身体拘束適正化委員会	身体拘束等の適正化に取り組むため、事例の報告・適正化策の検討及び従業者への周知	年 4 回
防災委員会	施設の防災対策の検討、消防訓練の企画実施	随時
バス委員会	送迎バスコース編成、課題の検討・対応 祝日入浴バスコース編成	毎月
あいアイまつり実行委員会	あいアイまつりの企画・立案・実施	随時

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。また、職場内研修も実施しました。

(心障 表 22-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
第 68 回重症障害児 (者) 医療看護師講習会	心身障害児総合医療療育センター	1
摂食・嚥下指導 (基礎・実習) 講習会	心身障害児総合医療療育センター	3
ファシリテーションスキル研修	基幹相談支援センター	1
知的発達障害者のくらしとお金	目黒区手をつなぐ親の会	1
令和 7 年度東京都相談支援従事者現任研修	東京都	1
チーム SV	目黒区	7
第 48 回てんかん基礎講座	公益財団法人日本てんかん協会	1
第 1 回高次脳機能障害者相談支援研修会「高次脳機能障害の基礎知識」	東京都心身障害者福祉センター	1
介護職員のためのスキルアップ研修 第 5 回「介護職員のための腰痛予防」	目黒区	1
令和 7 年度東京都サービス管理責任者更新研修	東京都	1
令和 7 年度多職種研修会「高次脳機能障害の理解を深め共に生きる社会を目指す」	目黒区西部包括支援センター	2

研修名	主催者	参加人数
第 5 回障害児者施設・事業所療育職員講習会	心身障害児総合医療療育センター	1
令和 7 年度東京都強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	東京都	2
精神障害者計画相談支援従事者等養成研修	東京都	1
事例検討会	基幹相談支援センター	1
「作ってみよう！介護保険移行プラン・障害者支援併用プラン」	ケアマネ分科会	1
高次脳機能障害支援者養成研修（基礎研修）	東京都	1
社会福祉法人・施設会計「会計実務研修会（基礎編）」	東京都社会福祉協議会	1
防災講演会	目黒区障害者団体懇話会	1
第 18 回目黒区高次脳機能障害者支援セミナー	目黒区	11
令和 7 年度身障部会従事者会学習会「【支援記録】これだけは知っておきたい支援記録の不適切語・要注意語」	東京都社会福祉協議会 身体障害者福祉部会 従事者会	1
令和 7 年度東京都相談支援従事者主任研修	東京都	1

（心障 表 22-2）法人研修(再掲)

研修名	参加人数
入社 2 年目研修	6
サービス専門職 A7 年目研修	3
サービス専門職 A9 年目研修	2
総合職転換者研修	4
指導職 2 級昇格者研修	2
指導職 1 級昇格者研修	2

（心障 表 22-3）施設内研修

研修名	講師	参加人数
新任職員 OJT 研修	チーフリーダー、担当者	3
紙おむつについての勉強会（全 4 回）	王子製紙株式会社	通所サービス課職員
感染症対策研修	株式会社サラヤ	全職員
虐待防止研修「障害者虐待について考える」	明治学院大学講師	全職員

（4）苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知するとともに、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

（心障 表 23）苦情件数

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
苦情	1	2	0
要望	0	0	2

（5）事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策シート・ヒヤリハットシートを活用し、事故やヒヤリの発生時は、翌日朝礼での全体周知とともに、送迎・給食等の委託業者との情報交換など情報の周知徹底を図り、事故の再発防止に努めました。

また、安全対策委員会を通じて、事故の記録を分析し、研修会を実施しました。

(心障 表 24) 事故・ヒヤリハット件数

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
事故件数	9(0)	14(1)	13(0)
ヒヤリハット件数	2	6	8

注1) () 内は事故総数のうち医療機関受診に至った事故

注2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(6) 防災対策

消防計画に基づき、避難、通報、消火等の訓練及び総合訓練を2回実施し、その他事業ごとに避難路確認等の防災対策を行いました。

また、災害時への対策として、防災用品や備蓄品の整備確認を行いました。

(7) 防犯対策

不審物・不審者対策として、「不審物・不審者対応マニュアル」を作成するとともに、年1回警察署の協力を得て職員を対象とした防犯訓練(3月)を実施しました。

(8) 利用者・家族の声を反映

家族懇談会を4回開催し、利用者ご家族との緊密な連携を行いました。

また、サービス向上検討委員会を2回開催し、サービスの質の向上に努めました。

(9) 地域との交流

あいアイまつりなど各種イベントを通じて、地域との交流を図りました。

(10) ボランティアの活動

(心障 表 25) 日常活動ボランティアの受入れ状況

内容	人数
1日外出付き添い、デイサービス活動補助、けやき作業補助	152

(心障 表 26) 学校等団体からのボランティア体験受入れ実績

体験依頼校等	延人数
田園調布雙葉高等学校	13
普連土学園高等学校	6
トキワ松学園中学校	3
合計	22

(11) 実習生・研修生の受入れ

(心障 表 27) 実習生等の受入れ状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
アルファ医療福祉専門学校	社会福祉士実習	3	40
東洋英和女学院大学	保育実習	1	12
合計		4	52

(12) 職員の健康管理

職員の健康管理の維持向上に努めるとともに、メンタルヘルスに関しては産業医による個別相談を実施しました。

また、感染症対策として、全職員にマスクの提供とインフルエンザ予防接種を実施しました。

第5 かみよん工房

障害者総合支援法に基づく指定障害者福祉サービス事業所として、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上を目標とした支援を実施しました。

新型コロナの感染予防対策は、継続して実施しました。

1 令和7年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
新たな作業を確保し、安定した作業提供を行います	ホームページ等による情報発信を積極的に行った結果、地元企業等から複数の問い合わせがあり、食品部の定期販売および企業部の作業部の作業受注の新規取引先拡大につながりました。
地域の方々に喜ばれる販売方法の工夫に取り組みます	メグロダンスコネクションでは、企業とのコラボレーション商品の開発に取り組み、当日イベントにおいて販売を行いました。 また、「めぐろデジタル商品券」取扱店舗の登録とキャッシュレス決済（PayPay）を導入し、顧客の利便性の向上を図った結果、売上の増加につながりました。
高齢化・重度化も含め、幅広い層の利用者に対し、一人ひとりの特性に合ったサービス提供に努めます	個々の利用者の強みや経験を活かす視点を持ち、作業班および作業種との適切なマッチングを図りました、また、一部の利用者については、作業部の所属に拘らない交流を推進しました。
地域の方が参加しやすいイベントを実施し開かれた施設運営に努めます	区内のこども食堂へ製造した食品を定期的に提供し、地域貢献およびフードロス削減の取り組みを推進しました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
事業所全体の活動内容を見られるようホームページの内容を充実化させるとよい	効果的な情報発信を目的に施設ホームページのサイトマップを見直し、月予定・広報誌・献立表の定期発行物や時事情報を中心に掲載を行いました。

3 サービス内容

(1) 利用者数

(かみよん 表1) 利用状況 定員：40人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
提供日数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242
契約者数	30	30	30	30	30	30	29	28	28	27	27	27	
内訳													
男	18	18	18	18	18	18	18	17	17	16	16	16	
女	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	
延利用者数	535	505	529	541	467	484	547	436	466	447	418	471	5,846
1日平均利用者数	25.5	25.3	25.2	24.6	23.4	24.2	24.9	24.2	23.3	23.5	23.2	22.4	24.2

(2) サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業支援、就労支援及び生活支援を通じて、利用者の作業技術の向上と就労に必要な社会性が身につくように支援しました。次年度の個別支援計画作成にあたっては、個別支援計画会議を実施しました。

(3) 作業支援

(かみよん 表 3) 作業活動内容

作業部名	活動内容
食品部	自主生産品として、パンおよび焼き菓子の製造・販売を行いました。販売見込み数に応じて計画的に商品を製造するとともに、こども食堂への食品提供を通じて、地域貢献およびフードロス削減に取り組みました。
企業部	企業から受注した飴のシール貼りおよびECサイトで取り扱う商品の梱包、ランドリー洗剤の箱詰め、ドライフルーツの袋入れなどに取り組みました。また、新規作業としてオーディオ機器の部品検品および美容サロンで使用するタオル縫製の作業を受注しました。
開発部	目黒区や地元企業から清掃作業・植栽作業を受託し作業を行いました。猛暑の時期も空調服の活用およびこまめな水分補給等によって体調管理に留意し、作業を継続しました。

(かみよん 表 4) 食品部販売先状況

販売先／納品先	備考
かみよん工房店舗販売	平日毎日
さんまるしえ委託販売	平日毎日
COHANA 委託販売	月曜日以外の平日
区役所販売	週 1 回
パーシモンホール販売	月 3～4 回
田道高齢者センター	月 2 回
ジャックス池尻販売	隔月 1 回
かみよん工房給食	週 1 回
大橋えのき園給食	週 1 回
あいアイ館給食	週 1 回
下目黒福祉工房給食	週 1 回
桑の実中目黒保育園給食	週 1～2 回
ウエルミー上目黒給食	週 2 回
ダイケンビルサービス納品	月 1 回
臨海斎場納品	月 1 回
喫茶イエローリボン納品	週 2 回
日本公認会計士協会目黒会納品	随時
目黒保護司会納品	随時
たけのこの会納品	随時
あじさいまつり（東が丘福祉工房）販売	6 月
かみよんまつり（お仕事フェス）販売	7 月
田道高齢者センター納涼祭販売	8 月
桜修館中等教育学校記念祭販売	9 月
キラキラワールド（烏森住区）販売	10 月
目黒区民まつり販売	10 月
東根住区まつり納品	10 月

販売先／納品先	備考
えのきまつり（大橋えのき園）販売	10 月
愛育まつり納品	10 月
東山教育館まつり納品	10 月
菅刈公園まつり納品	11 月
目黒天空庭園収穫祭納品	11 月
エコまつり・めぐろ販売	11 月
あいアイまつり（心身障害者センター）納品	11 月
あすなろまつり（下目黒福祉工房）販売	11 月
障害者週間記念事業販売	12 月
まると食堂納品	12 月
田道高齢者センター館まつり販売	1 月
さくらフェスティバル納品	3 月
メグロダンスコネクション販売	3 月
その他個人注文販売	随時

（ かみよん 表 5 ） 企業部受注作業受託先

受注先企業名	作業内容
宮川製菓	飴袋シール貼り、贈答用セット梱包
マーチフォース	だるまシール貼り
Virtuous circle	岩塩の仕分け
あそ商事	洗剤の箱詰め
ローランズ	ドライフルーツの袋入れ
BIDLAG	商品の仕分け
Astra Maze	オーディオ機器部品の検品
サードウェイハウス	タオルの縫製

（ かみよん 表 6 ） 開発部清掃作業受託先

受注先企業名	作業内容
目黒区みどりと公園課	上四児童遊園・蛇崩川緑道・東山公園清掃
サッポロ不動産開発	草取り作業

（ かみよん 表 7 ） 工賃支給状況（円）

月	支払総額	最高額	最低額
4 月分	453, 950	22, 300	6, 600
5 月分	431, 650	21, 050	8, 650
6 月分	491, 150	29, 300	6, 750
7 月分	490, 400	27, 600	4, 800
8 月分	469, 300	28, 050	6, 300
9 月分	479, 250	30, 550	9, 150
1 0 月分	467, 500	23, 400	7, 659

月	支払総額	最高額	最低額
1 1 月分	339,800	16,950	1,950
1 2 月分	408,550	21,100	300
1 月分	375,250	17,200	5,250
2 月分	366,400	16,450	5,700
3 月分	423,550	19,450	2,150
調整手当	4,992,488	215,521	87,155
合計	10,189,238	平均工賃月額(※)	35,087

※平均工賃月額 算出方法：支給総額計÷1日平均利用者数(24.2人)÷12か月

(4) 就労支援

(かみよん 表8) 就労支援実績

内容	利用者数	期間・回数	就労先・実施内容など
就労体験(定期販売)	14	週1回	区役所、パーシモンホール、田道ふれあい館等
就労体験(不定期販売)	7	不定期	メグロダンスコネクション、桜修館中等教育学校文化祭、烏森住区祭り、障害者記念事業等

(5) 生活支援

社会生活を営むうえで必要な能力の習得を目的に、身だしなみ、調理、外出、社会資源の見学、グループでの話し合い等行いました。

(6) 余暇支援

毎月2回実施するクラブ活動を通じて、趣味活動の充実と社会経験を積む支援を行いました。

(かみよん 表9) クラブ活動

クラブ名	内容
カラオケ	カラオケを楽しむ。
アトリエ	絵を描くことを楽しむ。

(かみよん 表10) 主な行事

月	行事名
4	家族懇談会、防災訓練
5	
6	防災訓練
7	かみよんまつり(仕事フェス)、サービス向上委員会、健康診断
8	
9	家族懇談会、防災訓練
10	
11	宿泊体験、給食試食会、サービス向上委員会
12	
1	一日外出(企業部、開発部)、健康診断

月	行事名
2	一日外出（食品部）、サービス向上委員会、防災訓練
3	家族懇談会

（７）食事サービス

栄養士の指導管理の下に、調理委託業者との連携を図り実施しました。栄養バランスに留意しながら、季節行事食や利用者の希望による選択食をとり入れ、利用者に喜ばれる食事の提供を行いました。

また、利用者を対象にした栄養相談や給食委員会を実施し、利用者の栄養管理と給食サービスの向上に努めました。

（８）健康管理

利用者の健康に配慮して、年２回の定期健康診断、年２回の体重・体脂肪測定、月１回の精神科医によるカウンセリングを実施しました。

４ 運営管理

（１）会議

施設の決定機関として運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当学会議を設置し、計画的に業務を進めました。

（かみよん 表 11-1）障害５施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害５施設の運営に関する事項の検討・協議	月１回

（かみよん 表 11-2）施設内会議

会議名	内容	開催回数
総括会議	事業報告、事業計画	年１回
運営会議	施設運営	月１回
職員会議	事業全般	週１回
リーダー会議	グループ間協力体制等の検討	月１回
部内会議	作業部内の課題等の検討	年６回
個別支援会議	個別支援計画	年２回 (利用者１名につき)
給食会議	給食サービス全般	年６回

（２）委員会

（かみよん 表 12）各種委員会

委員会名	内容	開催回数
サービス向上委員会	サービス全般	年３回
安全対策委員会	事故ヒヤリハット事例の確認	月１回
虐待防止委員会	虐待防止策の検討	月１回
身体拘束適正化委員会	身体拘束の問題意識の共有	年１回
給食委員会	給食サービス意見要望の確認	月１回

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に参加し、職員の資質の向上に努めました。
また、職場内研修も随時実施しました。

(かみよん 表 13-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
食品衛生責任者養成講習会	東京都食品衛生協会	1
気になる児童の行動とそのつまづき	府中市特別支援教室ひばり	1
高齢知的障害者の認知症とその支援	東京都社会福祉協議会	1
働きながら描く、自分らしい自立	目黒障害者就労支援センター	2

(かみよん 表 13-2) 法人研修(再掲)

研修名	参加人数
新任職員研修	1
サービス専門職 A 2 年目研修	1
サービス専門職 A 7 年目研修	1

(かみよん 表 13-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
新任職員 OJT 研修	チーフリーダー	2
人権擁護研修	大学講師	10
感染症防止研修	大学講師	10
食中毒対策研修	栄養士	10
身体拘束適正化委員会勉強会	チーフリーダー	6

(4) 苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知するとともに、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

(かみよん 表 14) 苦情件数

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
苦情件数	0	0	0
要望件数	0	0	0

(5) 事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策マニュアル等を活用し、サービス提供時における事故防止に努めました。

また、安全対策シートやヒヤリハットシートを活用して随時事例検証を行うほか、毎月、安全対策委員会を開催して、事故の再発防止対策に取り組みました。

(かみよん 表 15) 事故・ヒヤリハット件数

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
事故件数	6 (0)	6 (4)	14 (1)
ヒヤリハット件数	2	1	0

注 1) () 内は事故総数のうち医療機関受診に至った事故

注 2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(6) 防災対策

消防計画に基づき、年間 4 回の通報、避難、消火等の訓練及び総合訓練を行いました。

(7) 防犯対策

不審物・不審者対策として、「不審物・不審者対応マニュアル」を作成するとともに、年1回警察署の協力を得て職員を対象とした防犯訓練（12月）を実施しました。

(8) 利用者・家族の声を反映

利用者ご家族との緊密な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を開催しました。

また、利用者の状況に応じ、個別面談、家庭訪問等を適宜行うとともに、日常的に必要な応じて電話連絡等で情報交換に努めました。

さらに、サービス向上委員会を開催し、利用者、家族、施設の代表者が集まり、サービスの質の向上を目的に検討を行いました。

(9) 地域との連携

毎日玄関店舗で地域のお客様と交流しています。

また、地元企業からの作業受注、パン製品の販売、目黒区からの公園清掃の受託、これら作業活動を通しての地域とのつながりを継続的に構築しています。

(10) ボランティアの受入れ

(かみよん 表 16) ボランティア活動状況（行事での介護人含む）

活動月	内容	人数
7月	かみよんまつり	5
11月	宿泊体験	5
合計		10

(11) 実習生、研修生の受け入れ

(かみよん 表 17) 実習生等の受け入れ状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
日本福祉教育専門学校	社会福祉士資格取得	2	24
東洋英和女学院大学	保育士資格取得	2	16
日本体育大学	教員免許取得	1	5
合計		5	45

(かみよん 表 18) 特別支援学校等施設体験生の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
港特別支援学校（3年生）	進路検討	1	5
在宅利用者	進路検討	1	4
青鳥特別支援学校（2年生）	進路検討	1	5
合計		3	14

(12) 職員の健康管理

職員のメンタル面を含めた健康管理の維持向上に努めるとともに、産業医による個別面談の機会を適宜活用しました。

また、感染症対策として、全職員にマスクの提供とインフルエンザ予防接種を実施しました。

第6 大橋えのき園

18 歳以上の知的障害を有する方に対して、作業活動や生活支援等に関わるサービスを提供し、基本的な生活習慣の確立及び社会生活能力の維持・向上を図る取り組みを実施しました。

新型コロナの感染予防対策は、継続して実施しました。

1 令和7年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 一人ひとりの障害特性を理解し、その人らしさを大切にした支援を行います	- 外部委員を招いての権利擁護・利用者支援研究会を毎月1回開催、個々の利用者支援方法を振り返り、適切な不安のない利用者支援の研究・方法を考案し、虐待予防や利用者個々人の特性に寄り添った支援を考察しました。 - 利用者が積極的に活動へ参加するために、利用者個々人の能力や選択する活動に参加できるよう活動支援を行いました。 - ご家族や利用者に関りのある事業所との連絡を密に行い 支援方法を共有しました。
(2) 安定した工賃支給に取り組みます	- 毎週木曜日の施設前で自主生産品販売を継続しました。販売をととして、利用者は積極的に常連客の方と接し、地域の方から注文も増えてきました。 - 区役所販売、地域のお祭り、学園祭で自主生産品の販売を行い、販売を通して幅広い世代の方々へ紹介する機会が持てました。販売会場にはリピート客もみられ、作品販売の売上も好調でした。 - 販売促進につなげるため、「めぐろデジタル商品券」取扱店舗の登録とキャッシュレス決済（PayPay）を導入しました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
よりわかりやすい情報提供に努めます	ご家族が抱く不満・要望などの意見を、施設外の外部機関に相談できることその仕組みについて家族懇談会で定期的に周知しました。

3 サービス内容

(1) 生活介護

① 利用者数

(えのき 表1) 利用状況 定員：57人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
提供日数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242
契約者数	38	38	38	37	37	36	36	36	36	36	36	35	
内訳	男	28	28	28	27	27	26	26	26	26	26	25	
	女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
延利用者数	687	654	691	704	612	600	625	532	632	565	544	611	7,457
1日平均利用者数	32.7	32.7	32.9	32.0	30.6	30.0	28.4	29.6	31.6	29.7	30.2	29.1	30.8

(えのき 表2) 利用者年齢構成 (令和8年3月31日現在)

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	2	4	2	1	5	2	3	4	1	1	19	62	38.0
女	0	1	1	0	1	2	3	0	0	2	23	62	45.0

② サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業活動及びグループ別活動を通じて、個々の利用者の特性に応じた支援を行いました。

③ プログラム内容

ア 日々の基本的な活動単位となるグループについて、多様化したニーズに応えるため5グループに分けて、各グループの特性に合わせた作業・グループ活動を実施しました。

イ 商品は区内工房・地域のイベント等で販売しました。

なお、売上金は利用者全員に還元することとしています。

ウ グループ活動では各利用者の特性を踏まえ柔軟な活動を行いました。

（ えのき 表 3 ） 作業・生産活動

作業名	内容
食品	ピクルス、パスタソース、レトルトカレー、ハンバーグの製造を行いました。
紙漉き	ポチ袋、タグなどを作りました。また、材料の牛乳パックの回収作業を通して、地域交流を図りました。
ガラス	箸置き、アクセサリなどを作りました。
美術	絵画を中心に取り組みました。外部専門家の協力を得て実施しました。
書道	月1回、書道の先生を招いて実施しました。
音楽・身体表現	月1回、音楽専門家を招いて実施しました。
太極拳	月1回、太極拳の先生を招いて実施しました。
その他	必要に応じて個別の取り組みを行いました。

（ えのき 表 4 ） グループ活動

活動名	内容
散歩	体力・脚力に応じたグループ分けにより、個々の利用者に適した運動量を保障し、心身のリフレッシュを図りました。また、安全把握に充分配慮し実施しました。
バスハイク	通所バスを利用し、近隣の公園等を目的地として、より範囲の広い屋外活動を実施しました。気分転換を図り、新しい物の発見に繋がりました。
体験	近隣の商店を活用し、食品（ドリンク、菓子）を中心とした買物体験を行う活動として実施しました。また、同時に地域社会との交流を図りました。
カルチャー	四季を感じ自然に親しむ文化的な活動を目指して、園芸、かかし創作、などを実施しました。
室内運動	風船バレー、館内歩行など室内で体を動かす取り組みを行い、運動量の保障を図りました。
OT レク	作業療法士の指導のもと、椅子ストレッチや椅子エアロビクスなどを行いました。

④ 日常生活動作支援

日常生活習慣の確立や生活動作の維持向上に向けて、食事・排泄・更衣・移動・その他の生活場面において必要な支援を行いました。

⑤ 各種行事

(えのき 表 5) 主な実施工事

月	行事名	行事の内容等
4		
5	施設見学週間	ご家族等の活動見学週間
6	一日芸術 DAY① 一日外出 (前期) ふれあい広場①	時間を区切らず自由に作品制作する 江戸東京たてもの園・KTTE (東京駅)・夢の島熱帯植物 館・スモールワールド東京、日比谷松本楼 駒場体育館にて運動交流会
7		
8	和太鼓交流会①	駒場太鼓の会との交流会
9	一日芸術 DAY②	
10	こまばのまつり えのき祭 みんなでダンス	かかしコンクール 駒場体育館にてダンス交流会
11	ふれあい広場② ワークショップ 宿泊体験①、②	ガラス作品作りワークショップ ヒルトン東京ベイ
12	一日芸術 DAY③ お囃子会・あゆみ園交流会	お囃子を楽しみ、地域とのつながりを持つ・あゆみ園と の利用者交流会
1	一日外出 (後期) 和太鼓交流会②	行船公園自然動物園・NEWoMan 高輪・羽田空港第二タ ーミナル・東京ダイバーシティ
2		
3	ふれあい広場③ 一日芸術 DAY④	

⑥ 食事サービス

栄養バランスに留意して季節感のある食事の提供をし、行事食やメニューのリクエスト等に対応しました。栄養相談は随時行いました。

また、食事委員会を定期的に実施し、利用者の状況に応じた食形態・姿勢・補助食器等の検討をしました。

⑦ 健康管理

利用者の健康に配慮して、年 2 回の定期健康診断、毎月の体重測定、月 2 回の精神科医によるカウンセリングを実施しました。

⑧ 利用前の事前説明、個人面談

利用の開始にあたり、施設が提供できるサービス内容や利用料金等の重要事項について説明を行い、利用者からの同意を得ました。

また、個別支援計画の作成に伴い、2～3 月かけて施設内又は家庭訪問による個別面談を行いました。

⑨ 利用時間外受入れ

(えのき 表 6) 時間外受入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者延数	2	3	2	4	8	4	3	2	2	1	1	4	36
利用時間数	3.0	4.5	3.0	6.0	1.25	4.0	3.5	2.5	1.5	2.0	1.5	4.5	37.25

(2) 利用時間外活動支援事業（日中一時支援）

障害者通所支援事業終了後における障害者の活動の場を提供するとともに、共働きやひとり親等の障害者世帯の就労を支援することを目的として実施しました。

① 活動支援

本人状況及び要望等を把握し、利用者の意向を踏まえたうえで各種の活動を提供しました。

② 日常生活動作支援

日常生活習慣の確立や生活動作の維持向上に向けて、食事・排泄・更衣・移動その他の必要な支援を行いました。

（えのき 表 7）利用状況 定員：10 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	
内訳	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
延利用者数	19	17	19	18	16	16	14	16	20	19	17	0	191

4 運営管理

(1) 会議

職員相互の理解と協力による施設運営と利用者支援を円滑に行うため、各種会議及び委員会を行いました。

（えのき 表 8-1）障害 5 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 5 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

（えのき 表 8-2）施設内会議

会議名	内容	開催回数
運営会議	運営管理、運営方針の検討	月 1 回
職員会議	運営管理、業務全般、各種報告	週 1 回
年度末総括会議	事業報告、事業計画の作成、検討	2 月及び 3 月
ケース会議	個別支援計画の確認、報告	各利用者年 2 回以上
グループ会議	個別支援計画の検討、グループ運営	ケース会議時期、随時
リハ担当者会議	リハビリテーション計画の確認	年 6 回
給食会議	給食サービスにかかる検討・調整	年 6 回
バス担当者会議	送迎サービスにかかる検討・調整	月 1 回

(2) 委員会

（えのき 表 9）各種委員会

委員会名	内容	開催回数
安全対策委員会	安全対策全般	月 1 回
権利擁護・利用者支援研究会	利用者支援の向上による虐待防止に関する取り組み、研修	月 1 回
身体拘束廃止委員会	身体拘束廃止に向けた検証	月 1 回

委員会名	内容	開催回数
食事委員会	利用者の状況等による環境整備など	年 6 回
各種業務担当会議	各種業務の企画、運営	随時

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会等参加し、また、現状の現場の問題解決に即した実践研修を実施しました。他に事業団内の職層等研修、施設内の新規職員を対象とした OJT 研修や全職員を対象に安全衛生・自己啓発等の研修を実施しました。

(えのき 表 10-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
令和 7 年度強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	東京都保健福祉財団	4
利用者の高齢化－認知症について－	東社協知的発達障害部会	1
東京都障害者通所活動施設職員研修会 第 1 回合同学習会「医療と支援」	東社協知的発達障害部会	1
てんかん基礎講座（オンライン研修）	日本てんかん協会	2
社会福祉士実習指導者講習会	アルファ医療福祉専門学校	1
自閉症体験型研修	東社協知的発達障害部会	1
「知的障害者の医療場面での意思決定支援」 ～福祉現場でできる工夫と支援のあり方～	東社協知的発達障害部会	1
自衛隊から学ぶ災害時の行動と備え	東社協知的発達障害部会	1
東京都サービス管理責任者・児童発達支援 管理責任者（実践研修）	総合健康推進財団	1

(えのき 表 10-2) 法人研修(再掲)

研修名	内容	対象	参加人数
入社 2 年目研修	被考課者研修・マナー研修	採用後 2 年目職員	2
指導職 1 級 3 年目研修	現場マネージャー研修	指導職 1 級 3 年目職員	1
指導職 2 級 昇格者研修	OJT 研修～部下・後輩指導の 基本スキルを習得する	指導職 2 級 昇格者職員	1
新人職員研修	福祉の理念、事業計画	入社 1 年目職員	1

(えのき 表 10-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
強度行動障害への対応を知ってお互いに安全に	外部講師 権利擁護委員会	21
応急救護訓練（心肺蘇生法・AED の使い方）	目黒消防署	13
障害のある方の歯と口の健康を守ろう	東京都立心身障害者 口腔保健センター	16
第 47 回てんかん基礎講座（伝達研修）	えのき職員 2 名	16
手洗い～自分の手洗いの癖を知ろう～	えのき看護師	21
嘔吐物の処理方法	えのき看護師	19
身体拘束廃止に向けた職場内研修	身体拘束廃止委員会	21

研修名	講師	参加人数
虐待防止チェックリストと障害者虐待防止法の理解と対応読み合わせについて	権利擁護委員会	21
虐待に繋がる「小さな出来事」を共有し支援を見直そう①	外部講師 権利擁護委員会	20
虐待に繋がる「小さな出来事」を共有し支援を見直そう②	外部講師 権利擁護委員会	20
高齢知的障害者の支援のあり方（伝達研修）	えのき職員	16
医療と支援（伝達研修）	えのき職員	10
食中毒（自然毒）の基礎知識について	えのき栄養士	14
知的障害者の医療場面での意思決定支援	えのき看護師	14
自衛隊から学ぶ災害時の行動と備え	えのき職員	16
BCP 防災訓練	えのき職員	23
「トロミ剤を使用して液体にトロミをつけてみよう」	えのき栄養士	16

（４）苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知するとともに、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

（ えのき 表 11 ） 苦情件数

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
苦情件数	2	4	1
要望件数	1	0	0

（５）事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策委員会を中心に、安全対策シート・ヒヤリハットシート等にてサービス提供時における利用者の事故防止に努めました。

また、事故発生の際は敏速に対応できるように研修を行いました。

（ えのき 表 12 ） 事故・ヒヤリハット件数

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
事故件数	0 (0)	2 (1)	1 (1)
ヒヤリハット件数	1	3	1

注 1) () 内は事故総数のうち医療機関受診に至った事故

注 2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

（６）防災対策

消防計画に基づき、隣接の社会福祉法人愛隣会との総合訓練を 4 回実施しました。

（７）防犯対策

不審物・不審者対策として、「不審物・不審者対応マニュアル」を作成するとともに、年 1 回警察署の協力を得て職員を対象とした防犯訓練（3 月）を実施しました。

(8) 利用者・家族の声を反映

家族との緊密な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を定期的に行いました。

また、サービス向上検討委員会を開催し、利用者、家族、施設の代表者が集まり、サービスの質の向上を目的に検討を行いました。

(9) 地域との交流

新型コロナの影響により、例年実施していた地域交流行事のほとんどが中止となりましたが、「駒場かしプロジェクト実行委員会」に感謝のかかしを出展しました。

また、日常活動で買い物体験等を行う中で、近隣商店との関係を深めました。

(10) ボランティアの受入れ

(えのき 表 13) ボランティアの活動状況

月	内容	実人員
6月・1月	一日外出付添い	2
通年	書道指導	1
通年	太極拳・健康体操指導	1
12月	お雛子会（和のつながり Project）	3
8月・1月	和太鼓の会（駒場太鼓の会）	3
延人員		10

(11) 実習生、研修生の受入れ

(えのき 表 14) 実習生等の受入れ状況

実習依頼元	実習目的	実人員	延日数
日本福祉教育専門学校	社会福祉士実習	1	25
アルファ医療福祉専門学校	社会福祉士実習	1	26
日本体育大学	教員免許取得希望者介護等実習	4	20
合計		6	71

(えのき 表 15) 特別支援学校等施設体験生の受入れ状況

施設体験生依頼元	目的	実人員	延日数
田園調布特別支援学校（3年生）	職場体験	1	4
港特別支援学校（3年生）	職場体験	4	17
青島特別支援学校（1年生）	1日職場体験	1	1
合計		6	22

(12) 職員の健康管理

メンタルヘルスに関して、法人内障害部門共通で産業医による講演会・懇談会や個別相談を実施しました。

また、感染症対策として、全職員にマスクの提供とインフルエンザ予防接種を実施しました。

第7 下目黒福祉工房

障害者総合支援法に基づく指定障害者福祉サービス事業所として、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上を目標とした支援を実施しました。

新型コロナの感染予防対策は、継続して実施しました。

1 令和7年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1)自主生産品の拡大と販路拡大にバランス良く取り組みます	【菓子班】 ・原材料費高騰への対応としての価格改定を行いました。 ・年間通した売上維持に向け、近隣カフェでの常設販売、アメージングコーヒーとのコラボ製品開発、売上分析をもとに「夕涼みマルシェ」等、客数に合わせた販売戦略の展開を行いました。
	【印刷班】 ・ソフト活用による利用者のPCスキル向上と分業化により、利用者の対応範囲を拡大。職員の補助業務を削減し、捻出した時間で営業活動や品質向上を推進しました。
	【革・ステッチ班】 ・製品の展示販売の機会不足への対応として、近隣カフェでの展示販売会を実施しました。 ・五百羅漢寺より、受注班が解体した財布を再利用した革製品作りを受注しました。寺印を入れたペンホルダーを作成し五百羅漢寺の式典の記念品として地域の方に喜ばれました。 ・来年度に向け、デザイン封筒を「めぐろ土産」への申請を行い、登録されました。 ・地域のデザイン会社と「制作委託及び著作権利用許諾」契約を締結。障害特性を価値（デザイン）に変える仕事を開拓し、利用者が楽しみながら能力を発揮できる機会を創出しました。
	【受注班】 ・幅広い障害特性の利用者に対し、利用者の潜在能力を伸ばすチャレンジ、障害特性を強みとして活かせる新規作業の開拓等を行いました。また、既存作業の価格交渉も行い、収入アップに結びました。
	【全班共通】 ・販売促進につなげるため、「めぐろデジタル商品券」取扱店舗の登録とキャッシュレス決済（PayPay）を導入しました。 結果、就労支援事業の収入、平均工賃月額とも前年度より向上しました。
(2)プログラムの見直しや、グループの再編成などを行い、より一人ひとりの能力に応じたサービス提供に努めます	・作業班、生活芸術班、クラブ活動班について全利用者へ希望する班のアンケートを行い利用者個々の希望や適性に配慮したグループ編成を行いました。 ・作業班では、共通の方針として、利用者個々の特性を伸ばす作業支援、障害特性を「強み」として活かす職域開拓、工賃アップ、および地域との連携強化を行いました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善事項

事業計画	具体的な取り組みと結果
日中一時支援のサービスについて	当施設以外の施設を利用する利用者の受け入れにあたっては、日中活動状況に関する情報が不足しやすい状況がありました。施設間の状況共有を図り、細やかな体調管理の下での受け入れや各利用者が穏やかに過ごせる環境作りに結びました。（活動室のレイアウト等）

3 サービス内容

(1) 就労継続支援 B 型事業

① 利用者数

(下目 表 1) 利用状況 定員 40 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242
契約者数	36	36	36	36	36	36	35	36	36	36	36	36	
内訳	男	20	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	
	女	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
延利用者数	704	658	697	743	637	650	705	583	666	618	570	654	7,885
1日平均利用者数	33.5	32.9	33.2	33.8	31.9	32.5	32.0	32.4	33.3	32.5	31.7	31.1	32.6

(下目 表 2) 利用者年齢構成 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

	～19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45～ 49 歳	50～ 54 歳	55～ 59 歳	60 歳 以上	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢
男	1	2	2	3	3	2	3	0	1	3	19	67	40.2
女	0	2	0	2	0	0	5	6	0	1	20	63	44.9

② サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業支援、就労支援及び生活支援を通じて、利用者の作業技術の向上と就労に必要な社会性への支援を行いました。計画策定については、「意思決定支援」のプロセスを大切にし、利用者本人の意思をくみ取り計画に反映する仕組みを取り入れました。

③ 作業支援

(下目 表 3) 作業活動内容

作業班名	活動内容
菓子班	シフォンケーキ及びマドレーヌ等の製造・販売を行いました。年間通した売上維持を目指し、近隣カフェでの常設販売、売上分析をもとに「夕涼みマルシェ」等、客数に合わせた販売戦略の展開を行いました。メグロダンスコネクションでは、地域の有名企業「AMAZING COFFEE」とのコラボ製品の開発を行いました。
印刷班	名刺・カレンダー・封筒等の作成を受注しました。また、地域商店街等へ営業活動を行い、地域店舗のショップカードや名刺の受注数拡大、新規顧客開拓につながりました。
革 班 (ステッチ班)	刺繍アート作品や革小物等の製造・販売を行いました。工房祭で、近隣カフェと合同イベントを実施し、製品の展示・販売会を行いました。新規作業（五百羅漢寺の寺院入ペンホルダー作成、デザイン会社への原画提供等）を開拓し、利用者の能力を発揮できる機会を作りました。
受注班	企業から軽作業を積極的に受注し、利用者の特性に合った作業を提供しました。既存作業の価格交渉も行い、収入の向上に繋がりました。

(下目 表 4) 菓子班販売先状況

販売先 / 納品先	販売頻度
工房まるしえ (工房玄関前販売)	毎日(水曜日除く)
アクセリアカフェ	常設
さんまるしえ	委託販売
コハナ	委託販売
区役所販売	月 1～2 回

販売先 / 納品先	販売頻度
アロハクリニック	随時
公益財団法人小原白梅育英基金	随時
ス〜ハ〜マーケット	不定期
NHK／福祉施設のスイーツ特別販売会	年 2 回
メグロダンスコネクション	年 1 回
地域行事イベント販売	随時
その他個人注文	不定期

(下目 表 5) 革(ステッチ)班販売先状況

販売先 / 納品先	販売頻度
さんまるしえ	委託販売
コハナ	委託販売
ス〜ハ〜マーケット	月 1 回
天恩山五百羅漢寺	不定期
アクセリアカフェ	常設
(株) ニューモア (絵画納品)	年 1 回
その他個人注文	不定期

(下目 表 6) 印刷班受託先

受注先	作業内容
目黒区	めぐろ区報デイジー版、名刺、封筒など
国立病院機構東京医療センター	カレンダー
目黒区手をつなぐ親の会	名刺など
ハツ目や にしむら目黒店	名刺、ショップカード、商品説明カード
東京都立青山特別支援学校 PTA	名刺、封筒
その他個人注文	名刺、封筒、ショップカードなど

(下目 表 7) 受注班受託先

受注先企業名	作業内容
さんまるしえ	委託販売
コハナ	委託販売
天恩山五百羅漢寺	財布解体など
株式会社 C.R.F	組立、袋詰など
プリメーラ株式会社	組立、袋詰など
株式会社ササオカヤ	シール貼り、袋詰めなど
株式会社あそ商事	箱の組立、箱詰めなど
有限会社並川平兵衛	和紙のしわ加工など
目黒区	高齢者住宅清掃
株式会社ノバコロナ	シール貼り、袋詰めなど
株式会社モノデポ	シール貼り、袋詰めなど
都営住宅自治会	都営住宅アパート共有部分清掃

(下目 表 8) 工賃支給状況

月	支払総額	最高額	最低額
4 月分	269,150	8,000	3,750
5 月分	260,250	8,000	4,450
6 月分	227,500	7,000	3,450
7 月分	289,650	8,500	4,550
8 月分	270,250	8,000	4,250
9 月分	261,100	8,000	500
10 月分	270,300	8,500	500
11 月分	234,800	7,000	500
12 月分	264,650	8,000	500
1 月分	246,000	7,500	500
2 月分	249,450	7,750	500
3 月分	272,950	8,500	2,000
調整手当	2,391,745	73,672	13,023
合計	5,507,795	平均工賃月額(※)	14,079

※平均工賃月額 算出方法：支給総額計÷1 日平均利用者数(32.6 人)÷12 か月

④ 就労支援

利用者の障害特性やニーズに応じて職場見学などを実施します。本年度は実績がありませんでした。

⑤ 生活支援

生活に身近な園芸や芸術活動などを通じて、その方らしい表現活動を支援しました。

(下目 表 9) 生活芸術活動

クラブ名	内容
アート	絵画や音楽などで個性や感性を表現する活動で、作成した作品を展示、出品するなどして、達成感や社会性の醸成を図りました。
園芸	自然を対象とした意識の醸成を図るため、植物を育てる園芸活動を行いました。
自治会	利用者自らが、工房生活に関することを、企画、立案、実行する活動です。「しもめマルシェ 2025」では、パフォーマーの企画を行いました。

⑥ 余暇支援

クラブや外出活動を通じて、趣味活動の充実と社会経験の拡大に向けた支援を行いました。

(下目 表 10) クラブ活動

クラブ名	内容
カラオケ	リラックスして歌を楽しむ活動
散歩	さまざまな場所に出かけ心身のリラックスを図る活動
スポーツ	ボッチャ・卓球等を楽しみながら体を動かす活動
よりあい	ビデオ鑑賞やパソコン等、興味・関心のあることを通して充実した時間を過ごす活動

(下目 表 11) 主な行事

月	行事名
4	
5	防災訓練、家族懇談会、サービス向上委員会
6	宿泊体験（A 日程、B 日程）
7	健康診断
9	一日外出
10	家族懇談会
11	しもめマルシェ 2025
12	健康診断
1	防災訓練、家族懇談会、給食試食会
2	サービス向上委員会
3	防災訓練

⑦ 食事サービス

栄養士の指導管理の下、調理委託業者と連携を図り実施しました。栄養バランスに留意しながら、季節行事食や利用者の希望による選択食などの提供を行いました。ご家族に対し、給食試食会を行いました。

⑧ 健康管理

利用者の健康に配慮して、定期健康診断の他、月 1 回の精神科医及び整形外科によるカウンセリングを実施しました。

⑨ 送迎サービス

送迎バスにて自宅等から工房までの送迎を行いました。

(2) 利用時間外活動支援事業（日中一時支援事業）

障害者通所支援事業終了後における障害者の活動の場を提供するとともに、共働きやひとり親等の障害者世帯の就労を支援することを目的として実施しました。

① 活動支援

本人状況及び要望等を把握し、利用者の意向を踏まえたうえで各種活動を提供しました。

② 日常生活動作支援

日常生活習慣の確立や生活動作の維持向上に向けて、食事・排泄・更衣・移動・その他の必要な支援を行いました。

(下目 表 12) 利用状況 定員：10 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242
契約者数	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	
内訳													
男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
女	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
延利用者数	59	54	61	58	49	43	48	35	41	49	42	53	592
1日平均利用者数	2.8	2.7	2.9	2.6	2.5	2.2	2.2	1.9	2.1	2.6	2.3	2.5	2.4

4 運営管理

(1) 会議

施設の意思決定機関として運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当学会議を設置し、計画的に業務を進めました。

(下目 表 13-1) 障害 5 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 5 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

(下目 表 13-2) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
総括会議	事業全体、作業活動の総括	年 1 回
運営会議	施設運営	月 1 回
商品開発等会議	工房の商品開発等の計画	随時
職員会議	事業全般	隔週 1 回
ケース会議	個別支援計画	各利用者年 2 回
給食会議	給食サービス全般	隔月
バス担当者会議	バス運行に関する全般	月 1 回

(2) 委員会

(下目 表 14) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
サービス向上委員会	サービス全般	年 2 回
安全対策委員会	事故ヒヤリハット事例の確認	月 1 回
虐待防止委員会	虐待防止対策の確認	月 1 回
身体拘束適正化委員会	身体拘束の問題意識の共有	年 2 回

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に参加し、職員の資質の向上に努めました。
また、職場内研修も随時実施しました。

(下目 表 15-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
はじめて学ぶ摂食嚥下機能障害研修会	東京都立心身障害者口腔保健センター	2
困る行動への理解と対応	公益社団法人 発達協会	1
特定給食管理講習会	目黒区保健所	3

(下目 表 15-2) 法人研修(再掲)

研修名	参加人数
サービス専門職 A4 年目研修	1
サービス専門職 A9 年目研修	1
指導職 2 級昇格者研修	1
指導職 2 級 5 年目研修	1

(下目 表 15-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
新任職員オリエンテーション、OJT 研修	施設長、チーフリーダー、リーダー他	4
菓子班 OJT 研修	菓子班職員	5
感染症・食中毒対策研修	大学講師	20
虐待防止・権利擁護研修	大学講師	20

(4) 苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知するとともに、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

(下目 表 16) 苦情件数

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
苦情件数	0	0	0
要望件数	0	1	2

(5) 事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策マニュアル等を活用し、サービス提供時における事故防止に努めました。また、安全対策シートやヒヤリハットシートを活用して随時事例検証を行うほか、毎月、安全対策委員会を開催して、事故の再発防止対策に取り組みました。

(下目 表 17) 事故・安全対策・ヒヤリハット件数

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
事故件数	3 (0)	6 (2)	13 (0)
ヒヤリハット件数	1	0	3

注 1) () 内は事故総数のうち医療機関受診に至った事故

注 2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(6) 防災対策

消防計画に基づき、年間 4 回の通報、避難、消火等の訓練及び総合訓練を行いました。

(7) 防犯対策

不審物・不審者対策として、「不審物・不審者対応マニュアル」を作成するとともに、年 1 回警察署の協力を得て職員を対象とした防犯訓練（1 月）を実施しました。

(8) 利用者・家族等の声を反映

利用者家族等との適切な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を開催しました。

また、利用者の状況に応じ、個別面談、家庭訪問等を適宜行うとともに、日常的に電話連絡等で情報交換に努めました。サービス向上委員会では利用者代表と意見交換を行いました。

(9) 地域との連携

工房前での販売活動（水曜日除く平日）が定着し、地域における施設の活動の認知度が高まりました。

(10) ボランティアの受入

(下目 表 18) ボランティア活動状況

活動月	内容	人数
随時	印刷班作業活動補助	43
11月	工房まつり	6

(11) 実習生、研修生の受入

(下目 表 19) 実習生等の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
日本体育大学	保育実習	2	22
武蔵野大学	社会福祉士現場実習	1	8
東京都社会福祉協議会	お仕事体験	2	2
玉川聖学院	お仕事体験	5	10
合計		10	42

(下目 表 20) 特別支援学校等施設体験生の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
港特別支援学校（3年生）	進路検討に向けた実習	2	9
都立深沢高校（3年生）	進路検討に向けた実習	1	5
その他（他事業所・在宅）	進路検討に向けた実習	2	10
合計		5	24

(12) 職員の健康管理

職員のメンタル面を含めた健康管理の維持向上に努めるとともに、産業医による個別面談の機会を適宜活用しました。

また、感染症対策として、全職員にマスクの提供とインフルエンザ予防接種を実施しました。

第8 のぞみ寮

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業所として、利用者が地域において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて入浴、排せつ並びに食事の介助、相談その他の日常生活上の支援を行いました。

新型コロナの感染予防対策は、継続して実施しました。

1 令和7年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 一人ひとりの障害特性を理解し、その人らしさを大切にしたい支援を行います。	利用者一人ひとりが自分らしい生活を継続できるよう、これまでの生活習慣を尊重しつつ必要な支援を行いました。
(2) 高齢化に対応した支援を行うため、支援の知識・技術を高めます	外部研修やOJTを活用し、障害特性に応じた支援の知識・技術を高めるとともに、個別のアセスメントを適切に行い、高齢化に対応した支援を行いました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善事項

事業計画	具体的な取り組みと結果
短期入所の利用率向上を図ります。	関係機関への働きかけを強化することにより、利用率が大幅に伸びました（前年度比300%以上）。

3 サービス内容

(1) 共同生活援助事業

① 利用者数

（のぞみ表1）利用状況数 定員6人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
内訳	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
新規利用者数		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退所者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理由	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（のぞみ表2）利用者年齢構成（令和8年3月31日現在）

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
女	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	51	63	57.1

② サービス提供計画

利用者本人及び家族の要望などを把握し、その意向を踏まえた個別支援計画を作成し、支援の内容や方法を明確にして充実したサービス提供に努めました。

③ 支援内容

利用者が日常生活または社会生活を送るうえで必要な下記の支援を行いました。

ア 掃除・洗濯

居室の清掃・整理および衣類の洗濯・整理などの支援を行いました。

イ 健康管理

健康診断、主治医との連携、食事制限のある利用者への支援計画の作成、利用者の通院同行、病気の際の支援などを行いました。

ウ 服薬管理

服薬が必要な利用者への支援計画の作成、処方箋の確認、薬の保管・管理および医療機関との連携を行いました。

エ 食事援助

栄養バランスのとれた食事の提供、献立づくり等を行いました。また、月 1 回（原則第 4 水曜日）行事メニューを提供しました。

オ 関係機関との連絡調整

行政、通所先、相談支援事業所、病院、保護者等との情報の共有および利用者の課題や状況の把握などを行いました。

カ 相談援助

日常生活・社会生活上の相談・援助を行いました。

（のぞみ 表 3）主な行事

月	行事名
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	1 日外出行事（山梨ブドウ狩りツアー）
11	
12	合同防災訓練、クリスマスメニュー
1	地域連携推進会議、お正月メニュー
2	
3	家族懇談会

（2）短期入所事業

自宅で介護する人が病気等緊急の事情などで一時的に保護が必要なときや自立のための生活体験を希望する方に対して、宿泊を伴う介助・支援を行いました。

（のぞみ 表 4）利用状況 定員：1 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数	3	2	2	3	2	3	4	3	1	2	0	1	
内訳	男	2	2	2	3	2	3	3	1	2	0	1	
	女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
延利用者数	20	21	15	23	12	15	23	13	2	19	0	2	165

4 運営管理

(1) 会議

職員相互の理解と協力による施設運営と利用者支援を円滑に行うため、各種会議及び委員会を行いました。

(のぞみ 表 5-1) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
職員会議	事業全般	月 1 回
ケース会議	個別支援計画	各利用者年 1 回

(2) 委員会

(のぞみ 表 5-2) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
安全対策委員会	事故・ヒヤリハット事例の分析、再発防止策の検討	月 1 回
虐待防止委員会	利用者の人権擁護対策の検討・実施	年 2 回
身体拘束適正化委員会	身体拘束等の適正化に取り組むため、事例の報告・適正化策の検討及び従業員への周知	年 1 回

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。

また、職場内研修も随時実施しました。

(のぞみ 表 6-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
令和 7 年度第 1 回合同学習会「医療と支援」	東社協知的発達障害部会通所施設分科会・東京都障害者通所活動施設職員研修会	1
高齢知的障害者の認知症とその支援	東京都福祉人材センター	1
【支援記録】これだけは知っておきたい支援記録の不適切語・要注意語	東社協身体障害者福祉部会従事者会	1

(のぞみ 表 6-2) 法人研修(再掲)

研修名	参加人数
入社 2 年目研修	1
サービス専門職 A 7 年目研修	3
総合職転換者研修	1
指導職 2 級昇格者研修	2

(のぞみ 表 6-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
障害者虐待防止研修	生活支援員（伝達研修）	全職員

(4) 苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知するとともに、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

(のぞみ 表 7) 苦情・要望件数

	令和7年度	令和6年度
苦情件数	0	0
要望件数	0	0

(5) 事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策マニュアル等を活用し、サービス提供時における事故防止に努めました。また、安全対策シートやヒヤリハットシートを活用して随時事例検証を行うほか、毎月、安全対策委員会を開催して、事故の再発防止対策に取り組みました。

(のぞみ 表 8) 事故・ヒヤリハット件数

	令和7年度	令和6年度
事故件数	0 (0)	4 (2)
ヒヤリハット件数	0	0

注1) () 内は事故総数のうち医療機関受診に至った事故

注2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(6) 防災対策

消防計画に基づき、年間2回の通報、避難、消火等の訓練及び総合訓練を行いました。

(7) 防犯対策

不審物・不審者対策として、「不審物・不審者対応マニュアル」を作成するとともに、年1回警察署の協力を得て職員を対象とした防犯訓練を実施しました。

(8) 利用者・家族等の声を反映

利用者家族等との適切な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を開催しました。

また、利用者の状況に応じ、日常的に電話連絡等で情報交換に努めました。

(9) 地域との交流

利用者と地域との関係づくり、地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進、サービスの透明性・質の確保及び利用者の権利擁護を目的として、地域の関係者を含む外部の目を入れた「地域連携推進会議」を開催しました。なお、議事録はホームページ上に公開しました。

また、併設されている保育園と避難訓練を通じて交流を図ったほか、地元町会の活動に参加しました。

(10) 職員の健康管理

職員の健康管理の維持向上に努めるとともに、メンタルヘルスに関しては産業医による個別面談を実施しました。

また、感染症対策として、全職員にマスクの提供とインフルエンザ予防接種を実施しました。

第9 みどりハイム

みどりハイムは、児童福祉法に基づく母子生活支援施設として以下の事業を行いました。
新型コロナの感染予防対策は継続して実施しました。

1 令和7年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的取り組みと結果
(1) 関係機関と連携した支援の強化を図ります	・母子保護の決定を行う子ども家庭支援センターとの情報共有や相談を適宜行いました。（主に、電話・月例報告） ・その他の関係機関（保育園・学校・児相・放課後等デイサービス等）とも、連携を図りました。世帯数の増加に伴い、改めて連携の難しさに直面することが多く、今後の課題となっています。 ・アフターケアについては、退所後数年経ってからの相談も多く、退所先自治体との連携の在り方について課題が残りました。
(2) 各職種に必要な研修の実施並びに研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります	・職場内研修では、支援力アップ講座（全6回）を実施しました。トラウマインフォームドケアを軸に、事例検討を行い、職員チームとして支援上の改善点や振り返りにも触れ、今後の支援に活かせる検討となりました。 ・他の母子生活支援施設を見学し、他施設での支援や行事について学びました。参考になった取り組みについては、今後の施設運営に活かしていく予定です。
(3) サービス提供や支援の中で、虐待を予防・防止する取り組みを推進します	・親子活動（調理・音楽・運動）や親子行事・親子セラピーを計画的に実施し、その中で垣間見える親子の様子を、日常の支援に活かすことができました。 ・「母の会」を2か月に一度のペースで実施しました。子育てや生活に関する情報交換や悩みを、母同士で共有する機会となりました。
(4) 母子生活支援施設の入所者への支援にとどまらず、地域で生活するひとり親家庭への支援を推進します	・退所世帯へのアフターケアについては、各種相談に加え、行事への招待や食支援を行いました。 ・地域で子育て中の母親を対象に、「ママのためのヨガ教室」を特別養護老人ホーム中目黒の地域交流スペースで、主任児童委員の協力を得て実施しました。 また、みどりキッズクラブ（子どもの居場所）、食支援など、地域の関係団体のご協力を得ながら進めました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
行事等を実施する際に子どもたちが主体的に関われるように工夫していきます	毎月の夕食会のメニューを子ども会議で話し合うことが定着しました。また、中学生支援の活動内容については、企画の段階から話し合いを重ね、参加児童にとって有意義な経験となりました。

3 母子生活支援施設の支援

利用者個々と自立支援面談を行い、職員と利用者が共同で「自立支援計画」を作成し、それに沿っての自立支援を実施しました。計画作成後は適宜見直し面談も行い、計画の進捗確認を実施しました。また、退所後も、必要な支援（相談・訪問など）を実施しました。

(母子 表 1-1) 入退所状況 定員：20 世帯

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入 所		0	0	2	0	0	0	2	1	0	1	0	0	6
退 所		2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
月初	世帯数	16	14	14	14	14	14	14	16	17	17	18	18	
	利用者数	39	36	36	36	36	36	36	42	44	44	46	45	
月末	世帯数	14	14	14	14	14	14	16	17	17	18	18	18	
	利用者数	36	36	36	36	36	36	42	44	44	46	46	45	
	うち児童数	22	22	22	22	22	22	26	27	27	28	28	27	
	(男)	(12)	(12)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	
	(女)	(10)	(10)	(9)	(9)	(9)	(9)	(13)	(14)	(14)	(15)	(15)	(14)	

(母子 表 1-2) 児童の内訳 (月末)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳 幼 児	7	7	9	9	9	9	11	12	12	12	12	11
小 学 生	12	12	10	10	10	10	12	12	12	12	12	12
中 学 生	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4
高 校 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(1) 相談支援

子育て、健康、就労、そのほか生活全般における様々な相談を受け、必要に応じて支援を行いました。

(2) 子育て支援

① 補助保育

母親の就労時間中や体調不良時等に補助保育を実施しました。また、乳幼児の体調不良時に、母親が外出しなければならない時には病児保育を実施しました。

(母子 表 2) 幼児補助保育・病児保育実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
補助保育	16	27	36	42	48	59	69	66	59	69	63	52	606
病児保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

② 保育ルーム

乳幼児の交流と家事援助を目的として、週 1 回、夕食準備時間に乳幼児を対象に保育ルームを開催しました。

(3) 児童への支援

下校後及び土曜日の遊び、学習の場として学習室を開放し、職員がともに過ごしました。季節に合わせた行事を実施し、児童同士が協力し合う経験の場、達成感を味わえる場としました。

平日の 17 時から 18 時は、学習の時間としました。また、児童による子ども会議及び夕食会を毎月開催し、施設内での生活などについてみんなで考える機会をつくりました。

さらに、「話意話意の会」（個別面談）を行い、個別の意向や希望の聞き取りを行ったうえで、児童自立支援計画書の作成に反映させました。

（４）生活への支援

緊急時の家庭用品の貸し出し、居室片付け手伝い、不在時の荷物預かりや代引き受け取り、買物の代行、家計管理、諸手続き支援など、個々の状況に応じて支援しました。

また、必要に応じて関係機関及び医療機関と連携、連絡調整を行い支援につなげました。

（５）健康とこころへの支援

月１回程度、嘱託医による健康相談を実施しました。利用者健康診断については、年２回（春は外部医療機関、秋は嘱託医）実施しました。

また、専用の面談室において、心理療法担当職員による心理療法、遊戯療法、親子セラピー等を実施しました。

（６）食支援

エコライフめぐろ推進協会とフードバンク目黒のご協力を得て、利用者・退所者・ひとり親学習支援事業参加児童世帯を対象に、毎週木曜日等に食品、菓子類等を配付する「ミニミニパントリー」を開催するとともに、月１、２回程度の生鮮食品配付を行いました。

（７）就労支援

母親の就労に向け、履歴書、職務経歴書の作成指導、ハローワークの求人情報等の提供及び就労に関しての相談等を実施しました。

ボランティア講師によるパソコン教室を実施しました。（全６回、延べ１２名参加）

（８）退所後のアフターケア

退所面談の際に退所後の連絡を取ることにについて事前確認のうえ、アフターケアを実施しました。

主に手紙や電話などを利用し、就労や母子の健康、児童の様子などを聞き、相談を受けました。

（母子表３）アフターケアの件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	13	19	31	52	13	20	19	17	11	14	12	19	240

（母子表４）主な支援内容及び支援方法

主な支援内容	主な支援方法
〔母親への支援〕 メンタルサポート、病院同行、引っ越し後の整理等、 各種生活相談、関係機関調整等 〔児童への支援〕 学習支援、放課後活動等、行事招待、心理療法、遊戯療法	・ 電話 ・ 訪問（同行） ・ 来所

（９）みどりハイム便り

広報誌として「みどりハイム便り」を毎月１回発行し、月間予定や前月の行事等の報告、その他連絡事項の広報に努め、子ども達の関係機関や法人内の各施設に配布しました。

（１０）利用者懇談会

４月と１０月に開催。利用者と職員はもとより、利用者同士の交流の機会としました。

利用者、職員ともに自由に意見が言えるような雰囲気作りに努めました。

(11) 合同研修会

外部講師を招き、「心もすっきり！お片付け講座」を開催し、利用者と職員と一緒に収納について学びました。

4 各種行事等の実施

年間計画に沿って、対象者ごとの行事を実施しました。

(母子表5) 主な実施行事

月	行事名	行事の内容等
4	進学・進級おめでとう会	小学生以上・キッズクラブ児童：林試の森公園
5	親子 DE リトミック	乳幼児の親子対象：外部講師を招いて親子リトミック
6	学習室お泊まり会	小学生以上・キッズクラブ児童：学習室に宿泊。夏キャンプ事前行事
7	七夕飾り	全利用者：七夕飾り
	納涼会	全利用者・退所者：縁日(ゲーム、かき氷、焼きそば)
	児童キャンプ(1泊2日)	小学生以上・退所児童・キッズクラブ児童：雨天プログラム
8	夏休み児童活動(工作)	小学生以上・退所児童・キッズクラブ児童：マーブルリング・スライム
9	地域祭り参加	全利用者：町会の子ども神輿に参加
	親子 DE クッキング	全利用者親子対象：ロコモコ、デザート作り
10	ハロウィン	全利用者・退所者・キッズクラブ児童：お菓子配付・写真撮影
11	親子遠足	全利用者対象：清水公園BBQ
12	お楽しみ会	全利用者：フラダンスショー・ビンゴゲーム
	子ども大掃除&忘年会	小学生・キッズクラブ児童：学習室の大掃除・昼食・林試の森公園
1	親子 DE 体操	全利用者親子対象：外部講師を招いて親子体操
3	中学生行事	中学生：個別行事(トランポリン)

注1) キッズクラブ児童：みどりキッズクラブに参加している児童。

注2) 銭湯行事(男子小学生対象)は、4月～11月まで3回実施。(延べ参加者数3名)

注3) 子ども会議夕食会(小学生以上・キッズ対象)は、全10回実施。(延べ参加者数106名)

5 緊急一時保護(1室)

今年度は6件、121日間の受入れを実施しました。

(母子表6) 緊急一時保護世帯数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	6
退所	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	5
世帯数(月末)	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	
延利用日数(月末)	0	8	24	7	26	14	23	0	0	0	0	19	121

6 運営管理

(1) 会議・委員会

職員相互の理解と協力により利用者のニーズに応えるとともに、合理的な施設運営を図るための意見交換並びに検討の場として各種会議・委員会を開催しました。

(母子 表 7) 各種会議・委員会

会議名	内容	開催日
運営会議	施設運営方針・事業計画等の進捗管理 施設全体に係るケース検討 自立支援計画・行事等の進捗管理	毎月1回
職員会議	運営・業務全般に関する事項の検討、事業計画等の進捗状況確認、月間予定、経営・運営会議等報告	毎月4回
個別ケース会議	全ケースの状況確認、具体的な支援内容の確認	週1回
調整会議	ケースの月例報告及び所管との連絡調整	毎月1回
利用者支援調整会議	全ケースのケース検討	年2回
感染対策会議	感染症発生時の対策を検討・実施、感染予防研修の開催	適宜
人権・苦情解決委員会	苦情・要望の検討・解決、人権研修開催	年4回
防災委員会	訓練内容の検討・訓練を実施	年4回
事故防止委員会	ヒヤリハットの検討等	年4回
研修委員会	施設内外研修の企画・運営	毎月1回

(2) 研修

東京都、東京都社会福祉協議会、その他の関係団体が実施する研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。また、平成 22 年度後期から実施している、同一講師によるスーパーバイズを受けました。

(母子 表 8-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
東京プレイセラピーセンター第3回大会	東京プレイセラピーセンター	1
令和7年度 被措置児童等の権利擁護に関する説明会	株式会社トライ	1
第46回 全国母子生活支援施設職員研修会	全国母子生活支援施設協議会	1
母子生活支援施設指導者研修参集コース	子どもの虹情報研修センター	1
第64回 関東ブロック母子生活線施設研究協議会	関東ブロック母子生活支援施設協議会	1
第68回 全国母子生活支援施設研究大会	全国母子生活支援施設協議会	1
子どもの育ちをつなぐ	国立武蔵野学院	1

(母子 表 8-2) 法人研修(再掲)

研修名	参加人数
職層研修 新人研修	1
職層研修 中堅研修	1

(母子 表 8-3) 施設内研修

研修名	主催者	参加人数
スーパービジョン（6回）	立正大学大学院心理学研究科 片岡 玲子 氏	各回7～8
職場内研修（支援力アップ講座 全6回）	みどりハイム 各職員	各回8
他施設見学	みどりハイム 各職員	2
防犯研修	防災担当職員	8
人権研修	少年指導員	9
システム・セキュリティ研修	システム担当職員	9
感染症研修	衛生管理担当職員	9

(3) 苦情・要望

苦情の窓口及び責任者を設置し、申し出があった場合、調査のうえ苦情解決委員会等で検討し、苦情対応規程に基づき対応し、その内容を施設内に掲示することとしています。

苦情処理の手続きについては、利用者へは懇談会及び掲示、職員へは苦情解決委員会にて周知を図りました。

苦情解決第三者委員の活用については、委員の定期訪問と年間苦情情報の報告をしました。

(母子 表 9) 苦情・要望の件数

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
苦情件数	1	0	0
処理件数	1	0	0
要望件数	12	6	3

(4) 事故防止と事故発生時の緊急対応

事故防止委員会を中心に、ヒヤリハット等にて支援時における利用者の事故防止に努めました。

(母子 表 10) 事故の件数

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
事故件数	0	0	0
ヒヤリハット件数	28	30	16

注1) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(5) 個人情報保護

事業団における個人情報保護規程に基づいて個人情報の利用目的を明示し、個人情報を取り扱いました。新入所者にあたっては、個人情報使用の同意を取りました。

個人情報の開示請求について、今年度申請はありませんでした。

(6) 防災・防犯対策

防災対策面では、消防計画に基づき、避難、消火等訓練及び夜間(想定)訓練を毎月実施するとともに、消防設備点検を6か月毎に実施し、法令遵守に努めました。

防犯対策面では、DV 加害者の追跡を想定した訓練を実施し、対策の強化を図りました。

(母子 表 11) 防災・防犯訓練実施状況

訓練内容	回数
避難訓練	12
消火訓練	12
通報訓練	1
地震訓練	2
継走訓練(メール等)	2
夜間(想定)訓練	4
大規模災害想定訓練	1
DV加害者追跡対策訓練	1

(7) ボランティアの受入

パソコン教室を開催する際、ボランティア講師を受け入れました。また、児童行事開催時には、主に学生の方々をボランティアとして受け入れました。

(8) 実習生の受け入れ

地域貢献及び福祉人材育成の一環として、各種実習生を受け入れました。

(母子 表 12) 実習生受入状況

実 習 依 頼 校	実 習 目 的	実人員	延日数
昭和女子大学	社会福祉士	2	33
学芸大学	社会福祉士	1	23
品川区社会福祉協議会	社会福祉士	2	16
高崎医療カレッジ	社会福祉士	1	8
聖徳大学通信教育部	社会福祉士	1	11
	保育士	1	11
日本女子大学	保育士	1	12
こども教育宝仙大学	保育士	1	12
日本体育大学	保育士	1	11
立正大学短期大学部	保育士	1	12
鶴見大学短期大学部	保育士	1	11
聖徳大学短期大学部	保育士	1	11
聖徳大学幼児教育専門学校	保育士	2	22
日本児童教育専門学校	保育士	1	12
羽田幼児教育専門学校	保育士	1	11
明治学院大学	公認心理師	4	1
合 計		22	217

(9) 目黒区ひとり親家庭学習支援事業

地域貢献の一環として、目黒区ひとり親家庭学習支援事業の小学校高学年の会場として、集会室の貸し出しを行いました。令和7年7月から令和8年3月までの間に、全40回実施し、登録児童数は10名でした。

(10) 地域貢献事業

地域のひとり親家庭の児童の放課後支援の場として、「みどりキッズクラブ」を実施しました。開始10年目を迎え、在所児童・キッズクラブ児童の双方にとって有意義な活動となりました。
(登録児童数 年間3名)

区内在住の1歳6か月未満児の母親を対象として、保育付きの「ママのためのヨガ教室」を区内主任児童委員の協力を得て、なかめぐろホームの地域交流スペースにて2回開催し、延べ15組の母子の参加がありました。

第10 西部包括支援センター

介護保険法に基づく包括的支援事業及び指定介護予防支援事業を行いました。また、地域住民の最も身近な保健福祉の相談窓口であるとの認識のもと、広く地域住民の生活課題を拾い上げることに努めました。

令和7年度も、感染対策を継続した上で通常業務を行い、地区における各研修会や住民懇談会及び計画的な実態把握（アウトリーチ）を実施しました。また、対人援助のスキルアップを図り円滑な地域包括支援センター運営を実施しました。

1 令和7年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的取り組みと結果
(1) 区の方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に取り組みます	・計画的な実態把握訪問（アウトリーチ）を実施し、課題を抱えた方々の早期発見に努めました。（緑ヶ丘2丁目、八雲3丁目、平町2丁目 計731名） ・多職種連携会議を年度内3回開催し、幅広いネットワークの構築に努めました。 ・在宅療養、認知症支援、介護予防、権利擁護等、テーマ別の研修会、講座を計画的に企画し開催しました。
(2) 地域ケア会議の充実に取り組みます	・各専門職である検討委員と自立支援や地域課題、問題を整理・明確化する為、地域ケア個別会議を年度内2回開催し、区が主催する地域ケア推進会議開催に協力しました。
(3) 誰もが気軽に相談し利用できる地域包括支援センターを目指し、取り組みを継続します	・マンション・集合住宅懇談会の定期開催に努めました。 ・認知症支援に係る住民懇談会、研修会を開催し、住民に寄添った支援体制を構築しました。 ・当センター独自のリーフレットを作成・配布し、当センターの認知度向上に努めました。 ・住民主体の地域活動への後方支援にも努めました。
(4) 各職種に必要な研修の実施並びに研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります	・外部研修(都・区・その他)、法人研修、所内職員向け研修と体系別に年間計画を設定し、専門職としての知識と技術を高め、専門職の資質向上に努めました。

2 サービス内容（包括的支援事業）

総合相談支援事業

高齢者、障害をもつ人、子ども、生活困窮者等、全ての人々が、住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続できるよう、関係機関・団体との連携を活かし、当事者に寄添った伴走型支援に取り組みました。

下記の業務を区の方針及び事業計画に基づき実施しました。

(1) 総合相談業務

(西部 表 1-1)

総合相談種別

種別	件数
新規相談	972
継続相談	6,012
口頭相談	1,711
合計	8,695

(西部 表 1-2)

総合相談方法

方法	件数
来所	1,979
電話	5,152
訪問	1,266
その他	298
合計	8,695

(西部 表 1-3)

総合相談の新規相談者(重複計上)

相談者	件数	相談者	件数
本人	349	近隣・知人	26
家族・親族	523	医療機関	47
民生委員	20	C. S. W.	2
ケアマネジャー	75	その他	65
		合計	1,107

(西部 表 1-4) 相談内容(重複計上)

大分類	小分類	件数
I 総合相談 (各種相談)	在宅介護等の相談	3,015
	施設入所	608
	疾病・医療	1,275
	訪問保健相談	15
	ひとりぐらし相談	291
	経済的相談	163
	家庭関係	326
	住宅	108
	介護保険	3,204
	見守り・安否確認	660
	行政サービス等	98
	実態把握訪問	563
	公的サービス外の案内	36
	日常的な生活相談	886
	認知症に関わる生活相談	291
	ひきこもり	1
	その他	103
	小計	11,643
II 権利擁護	高齢者虐待	110
	消費者被害	12
	成年後見・日常生活自立支援	237
	老人福祉法に基づく措置	3
	相続・遺言	34
	その他	138
	小計	534
III 介護予防・ 日常生活支援 総合事業	一般介護予防	96
	予防給付、サービス事業対象	220
	小計	316
合計		12,493

(西部 表 1-5) 出張相談

会場	開催日
東根住区センター	毎月第3火曜日午後
大岡山西住区センター	毎月第3火曜日午後
自由ヶ丘住区センター	毎月第2水曜日午後

(2) 実態把握業務（アウトリーチ）

民生児童委員、近隣住民や各店舗等から「気になる方々」として連絡をいただいた際には、当センター職員が自宅訪問を行い生活課題がある場合には、関係所管とも連携し、課題解決に努めました。また緑ヶ丘二丁目、八雲三丁目、平町二丁目（計 731 名）を対象に、事前に訪問する旨の手紙を配布し、計画的に訪問を実施して実態把握を行いました。終了後には各町会において町会長、民生児童委員等地域の関係者を交え、情報共有と地域課題についての意見交換懇談会を開催しました。

(3) 地域におけるネットワーク構築業務

年度内 3 回、多職種連携会議を開催し、介護、医療、金融機関、店舗等、地域に存在する関係者と意見交換の機会をもち、日々の連携と協働力の強化に努め、また、目黒消防署の方々から各家庭での「防災診断実施の為の同行訪問」の説明を受け、次年度への取組み課題としました。

令和 7 年度は「見守りボランティア」の方々にも加わって頂き、地域のマンション、集合住宅住民との懇談会を 2 回開催しました。参加者同士で、「災害時の対応、孤立死防止、認知症の方への対応、消費者被害、ゴミ問題など」について有益な意見交換となりました。また、介護予防に係る住民主体活動（ウォーキンググループ）の立上げ支援にも取組み、次年度の活動につなげることが可能となりました。

(4) 認知症総合支援事業（サポーター養成講座等）

令和 7 年度は中根住区センターの会議室や庁舎の大会議室を活用した、認知症サポーター養成講座の開催や、東京医療保健大学の学生や東根小学校 5 年生を対象とした養成講座を開催する事ができました。また、恒例となっています、東京医療センターの総合内科医、医療相談員などの協力を得、小地域ごとに認知症への対応と理解について一般区民向けの勉強会を開催しました。

3 高齢者虐待防止・早期発見等権利擁護事業

- ・ 通報及び届け出の受理・確認
- ・ 関係機関等との連携・協力
- ・ 養護者に対する相談、指導及び助言
- ・ 高齢者虐待防止等の啓発
- ・ その他（成年後見・任意後見制度、相続、債務整理、遺言、遺族年金手続きなど）

上記のほか、高齢者虐待防止等の啓発活動の一環として、令和 7 年度は地区の介護事業者を対象とし、夜間帯の地区虐待対応研修を開催しました。

（西部 表 2）権利擁護事業処理件数

区分		件数
高齢者虐待	相談・支援シート作成	14
	コアメンバーミーティング、個別ケース会議	29
消費者被害	消費者生活センター	0
成年後見・日常生活自立支援事業	権利擁護センター	7
	区長申し立て	0
老人福祉法上の措置	やむを得ない事由による措置	0
	養護老人ホーム入所措置	1

4 包括的・継続的ケアマネジメント事業

総合相談支援に係る個々の状況に応じた生活課題について、包括的・継続的なケアマネジメントと地区内の介護支援専門員からの支援方法等に対する相談に対して個別支援に努めました。

また、地域住民も含めた多職種間での研修会の開催や金融機関や商店、各専門職種での多職種連携会議の開催と、「心身障害者センターあいアイ館」連携支援会議に毎月出席し、情報交換・共有と連携強化に努めました。

- ・ 地域包括支援ネットワークの構築
- ・ 介護支援専門員に対する個別支援
- ・ 地域ケア個別会議の開催及び区主催する地域ケア推進会議への協力

(西部 表 3-1) 個別支援相談件数 (西部 表 3-2) 個別支援相談方法

種別	件数
新規相談	6
継続相談	167
口頭相談	30
合計	203

方法	件数
来所	27
電話	167
訪問	6
その他	3
合計	203

(西部 表 3-3) 個別支援相談内容 (重複計上)

内容	件数
担当ケースの支援方法に関すること	181
介護保険の制度・運用に関すること	10
地域資源に関すること	5
職場・服務に関すること	2
在宅療養に関すること	2
その他	9
合計	209

(西部 表 3-4)

地区研修会等開催状況

開催回数	参加延人数
27	843

5 地域ケア個別会議

事例提供者（地域の居宅介護支援事業所、ケアマネジャー）、医師、他の専門職である検討委員はオンラインにての参加方式による地域ケア個別会議を開催し、「その人がいつまでも、そこに住み続けるためには」という視点で個別事例から地域での普遍的な生活課題、個別課題解決、地域支援ネットワークの構築、ケアマネジメント質の向上、地域課題の発見に取り組みました。

(※事例検討は毎回2事例実施)

また、上記内容を整理し、区が主催する地域ケア推進会議に協力をしました。

(西部 表 4) 地域ケア会議開催件数

個別会議	推進会議
2	1

6 介護予防ケアマネジメント

フレイル予防が必要な方々や各介護予防教室（手ぬぐい体操等）への参加に意欲のある方々に各介護予防に係る活動への参加を促し、示された手順により各事業への参加申し込みを行いました。

また、各教室終了後のフォローとして、住民主体の介護予防活動や自主活動グループ化への後方支援に努めるとともに、既存の各自主グループ活動同士の交流会も企画し、相互の情報交換や運営改善の支援をしました。

予防給付及び平成 28 年度から実施された介護予防・日常生活支援総合事業（サービス事業対象者、要支援 1、2 対象）利用者に対し、適正な介護予防ケアマネジメントを提供しました。

利用者アンケートを実施し、利用者とその家族の意見、要望、思いを把握しサービス提供の改善に努めました。

（西部 表 5） 短期集中予防サービス参加申し込み取扱い件数（延べ）

短期集中予防サービス	件数
訪問型・通所型（グループ型・個別方）	14

（西部 表 6） 介護予防ケアプラン作成件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合	162	163	173	167	169	169	174	177	177	183	176	176	2,066
予防	273	277	276	280	284	295	293	296	303	302	296	305	3,480
委託	134	134	134	134	142	141	147	155	148	151	144	144	1,708

注 1) 総合：介護予防・日常生活支援総合事業（第 1 号介護予防支援事業）

注 2) 予防：予防給付（指定介護予防支援事業）

注 3) 委託：委託作成分

7 介護保険認定申請の受付等の業務

総合相談業務と連携させて、認定申請等（新規申請、更新申請、区分変更申請）の受付業務を行いました。医療機関からの相談も多く、新規認定申請等が増加しました。

8 高齢者の保健福祉サービスの受付等の業務

総合相談業務と連携させて、一人暮らし登録、訪問食事サービス・食事サービス（訪問調査、安否確認を含む）、オムツ現物支給（オムツ代金含む）障害支援に係る受付業務等を実施しました。

（西部 表 7） 介護保険認定申請・高齢者保健福祉サービスの受付数

分類	申請書の種類	件数
要介護認定	要介護認定申請書	1,892
	介護保険認定申請取下届	23
	介護保険被保険者証等再交付	2
	介護サービス計画作成のための資料の提供申請書	1,361
	その他（転入継続 等）	227
介護保険給付	居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	447
	小規模多機能・看護小規模多機能サービス計画作成依頼	6
	介護保険住宅改修	4
	介護保険福祉用具購入費支給申請書	1
	高額介護（予防）サービス費支給申請書	0
	福祉用具貸与確認依頼兼確認書	18
	介護保険負担限度額認定申請書	18
	介護保険居宅サービス等利用者負担軽減認定申請書	22
	居宅サービス計画自己作成届出書	7

分類	申請書の種類	件数
介護保険給付	介護予防ケアマネジメント依頼(変更)届出書	233
	基本チェックリスト	24
	総合事業 要介護認定申請状況確認票	29
	介護保険負担割合証再交付申請書	30
介護保険資格	介護保険住所地特例適用・変更・終了届	22
	介護保険被保険者証等再交付申請書	17
介護保険苦情	介護保険苦情対応連絡票	1
	介護保険苦情届	0
介護保険合計		4,384
高齢福祉	高齢者在宅支援ヘルパー派遣事業利用申請書兼同意書	0
	ねたきり高齢者理美容サービス申請書	123
	ねたきり高齢者等寝具乾燥消毒サービス申請書	10
	高齢者紙おむつ支給申請書	242
	高齢者おむつ代支給申請書	131
	認知症はいかい高齢者等位置情報確認サービス利用申請書	0
	ひとりぐらし等高齢者登録申請書兼登録台帳	204
	目黒区高齢者病院内介助助成金交付申請	16
	電話訪問（さわやかコール）新規・変更申請書	1
高齢福祉	目黒区訪問食事サービス事業利用申請書	68
	目黒区ひとりぐらし高齢者等食事サービス受給申請書	8
	高齢者火災安全機器設置事業利用申請書	4
	非常通報システム利用申請書	42
	高齢者福祉電話貸与申請書	0
	高齢者家具転倒防止器具取付申請書	1
	高齢者自立支援住宅改修給付申請書	0
	特別養護老人ホーム入所申込書	85
	登録内容変更等異動連絡票	4
	目黒区会食サービス事業利用申請書	1
	目黒区栄養改善配食事業利用申請書	0
福祉総合	高齢者見守り訪問事業申請書等	2
	訪問保健相談申請書	0
	その他の申請書等	0
健康福祉計画	避難行動要支援者名簿登載希望申請書	0
障害者支援	都営交通無料乗車発行申請書兼更新確認等	21
	有料道路障害者割引申請書兼ETC利用申請書等	2
保健福祉サービス合計		965
合計		5,349

9 保健福祉の総合相談支援の業務

保健福祉に係わる多様な相談等に対応するため、すべての区民を対象として、次の業務を行いました。障害福祉、生活福祉、保健、子育て支援、住まい等については、区の対象別の相談支援体制を前提とし、各所管との連携の下に実施しました。

(1) 総合案内

パンフレットなどによる一般的な情報提供、相談を受けてのサービス・制度説明や分を超えた内容についても、内容を把握した上で支援に係る担当所管への取り次ぎを行いました。

(2) 総合支援

個人又は世帯で複数の問題、課題を抱えた方に対してワンストップで受け止め、必要に応じて関係各機関や団体と連携、協働を図り解決に向けた支援を行いました。

アウトリーチ（実態把握）活動や民生児童委員からの情報提供を基に「制度の狭間などの多くの課題をもつ人々、リスクの高い人々」の早期発見に努め、速やかな対応、支援を実施しました。

また、多職種協働が必要なケースの支援や通報による安否確認については、福祉総合課ふくしの相談係と連携し、迅速に対応を行い課題解決に努めました。

(3) 地域のネットワーク作り

高齢者分野に限らず他分野の専門職、多方面の関係者に参加を呼びかけ「多職種連携会議」を開催し、相互に相談することにより課題の整理や解決へ向け協働での取り組みを行い、更なるネットワーク強化に努めました。

また、多職種連携会議や多くの研修会を通して、地域住民も含めた医療と介護との連携を促進していくための環境と体制作りを行いました。

令和 7 年度は、新たに「心身障害者センターあいアイ館」の相談担当課職員が主催する、西部地区支援会議にコミュニティソーシャルワーカー、地域の訪問看護師、訪問介護員など支援関係者と共に毎月出席し、事例をとして、意見交換と情報共有に努め、多職種多機関の連携強化に努めました。

【高齢者以外】

(西部 表 8-1)

総合相談種別

種別	件数
新規相談	1
継続相談	8
口頭相談	158
合計	167

(西部 表 8-2)

総合相談方法

方法	件数
来所	34
電話	119
訪問	10
その他	4
合計	167

(西部 表 8-3)

総合相談の新規相談者（重複計上）

相談者	件数	相談者	件数
本人	0	近隣・知人	0
家族・親族	0	C. S. W.	0
民生委員	0	その他	0
ケアマネジャー	1	合計	1

(西部 表 8-4) 総合相談内容 (重複計上)

分類	件数	分類	件数
障害者	50	住宅	14
子供	4	消費者被害等	0
ひとり親家庭・女性	5	見守り・安否確認	11
経済的相談	18	疾病・医療	47
医療保険年金等	12	在宅療養	1
健康相談 (母子)	7	ひきこもり	6
しごと	8	その他	41
		合計	224

10 在宅療養支援窓口相談

医療機関から連絡、相談があった際には医療ソーシャルワーカーと情報共有を図り、担当医も含めた退院前カンファレンスにおいて、支援内容を検討後、医療を含めた在宅生活が可能になるよう努めました。認知症相談に対しては「物忘れ連絡票」を適宜活用し受診、診断が円滑に行えるよう努めました。

(西部 表 9-1) 疾病・医療の相談の内訳 (重複計上)

区分	相談者	
	高齢者	高齢以外
退院支援Ⅰー退院カンファレンス関係	49	1
退院支援Ⅱー他職種・家族に連絡	163	
退院支援Ⅲー病院関係者との連絡・面会	62	
医療処置	4	3
訪問看護・リハビリ	63	14
緩和ケア・ターミナルケア	17	0
かかりつけ医や訪問診療・往診	224	9
入院支援	123	0
転院、施設入所	72	0
介護者支援、家族親族支援	108	6
通院支援(定期・通院手段・初診同行等)	37	0
セルフケア支援	299	15
その他	197	14
合計	1,418	62

(西部 表 9-2) 疾患 (重複計上)

区分	相談者	
	高齢者	高齢以外
がん	112	1
脳血管疾患・神経難病	177	2
内科疾患	356	3
整形外科疾患	146	0
認知症	362	0
若年性認知症	3	0

区分	相談者	
	高齢者	高齢以外
その他精神疾患	186	44
その他・不明	176	3
合計	1,518	53

11 運営管理

(1) 会議

地域包括支援センター間等で円滑な運営を行うため、区内地域包括支援センターの所長が出席する「5 包括所長会」を以下のとおり開催しました。

区の福祉総合課（地域ケア推進係）主催の地域包括運営連絡会が開催され、5 つのセンターの所長が出席し、運営に係る細かな事柄について検討を行いました。

(西部 表 10-1) 区内包括会議

会議名	内容	開催回数
包括運営連絡会	地域包括支援センター運営全般に関する検討・調整・連絡確認	月 1 回
5 包括所長会	個々のセンター運営に関する検討・調整・情報共有	月 1 回
苦情対応委員会	介護保険等に係る苦情について検討・情報共有	年 5 回
住民主体型介護予防推進チーム会議	介護予防事業業務に関する検討・調整	年 3 回
社会福祉士実務者連絡会	総合相談支援業務、権利擁護業務に関する検討・調整	年 4 回
主任ケアマネ実務者連絡会	包括的・継続的ケアマネジメント業務に関する検討・調整	年 5 回
区事業者連絡会役員会（オブザーバー）	区内各介護事業所役員が集い、研修計画や情報交換を行う	年 6 回

(西部 表 10-2) 所内職種リーダー会議

会議名	内容	開催回数
リーダー会議	センター事業運営全般の進捗状況確認・検討・調整・決定 センター内の危機管理に関すること（危機管理委員会） センター内の苦情に関すること（苦情処理委員会） センター内の虐待防止に関すること（虐待防止検討委員会）	月 1 回

(2) 研修

東京都主催の地域包括支援センター職員研修や介護支援専門員研修等、関係団体が実施する各種研修・講演会等を積極的に受講し、職員の資質の向上を図りました。

(西部 表 11-1) 外部研修

区分	主な研修名
運営全般	都・管理者向けケアマネジメント研修、都・地域包括支援センター職員研修（初任者）区・地域包括支援センター職員スキルアップ研修、情報セキュリティ研修、感染症対策研修、ハラスメント研修等
総合相談支援関連	区及び都が主催する健康福祉部合同研修、精神保健福祉、ひきこもり研修等
介護予防関連	介護予防ケアマネジメントに関する実務者研修、介護予防指導者研修等
権利擁護関連	高齢者虐待対応研修（基礎・応用）、高齢者虐待対応職員研修、人権研修、ヤングケアラー支援者向け研修等

区分	主な研修名
包括的継続的ケア マネジメント関連	目黒区主任介護支援専門員研修、ケアマネ分科会多職種研修、保険者機能強化市町村研修等
認知症関連	都・チームオレンジコーディネーター、認知症地域支援推進委員研修、認知症対応力向上研修、松沢病院主催「地域連携を支える人材育成研修」、若年性認知症相談支援研修等
在宅療養関連	都・入退院支援研修、区主催オンライン研修、区西南部リハビリテーション研修（対面式事例検討会）、医療と介護の多職種研修等
介護支援専門員 関連	都・介護支援専門員法定研修（専門Ⅱ）、主任介護支援専門員更新研修、主任介護支援専門員研修

（西部 表 11-2）内部研修

主な研修内容	講師・担当者	対象
個人情報保護及び情報セキュリティ 研修	介護支援専門員	職員全員
人権研修	職員交代制	職員全員
所内 虐待防止・感染症対策	社会福祉士、看護師	職員全員

（３）苦情・要望

（西部 表 12）苦情・要望件数

処理・対応		件数
地域包括支援センター委託業務に関する苦情処理	即時対応	1
	連絡表作成	1
介護保険に関する苦情処理	即時対応	3
	連絡表作成	0

（４）実習生・研修生等の受け入れ

（西部 表 13）実習生受入状況

実習依頼校□	実習目的	実人員	延日数
東京医療保健大学	看護師	2	2
武蔵野大学	社会福祉士	1	8
首都医校	社会福祉士	2	33
合計		5	43

別 紙

事業報告の附属明細書について

令和 7 年度事業報告には、社会福祉法施行規則第 2 条の 25 第 3 項に規定する「事業報告に内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

令和 8 年 5 月

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団